
第3次魚沼市男女共同参画推進計画
実施事業進捗管理表

魚 沼 市

記載内容について

男女共同参画に関わる事業の実施状況については、これまで各年度ごとに管理していた表(事業実施計画、実施結果)を、平成30年12月から経年で管理する表(進捗状況管理表)に変更しました。

表の記載内容については、様式の変更のタイミングに併せて平成29年度計画から、第3次魚沼市男女共同参画推進計画実施期間の終期の令和2年度末までとします。

本表に掲載されている事業については、本市会計上の予算事業単位に掲載しています。そのため、1つの事業の中には、様々な取組が行われており、同じ事業名であっても異なる取組を行っている場合もあります。

そのため、本書においては、事業名・取組内容が同じ場合には、事業名の脇に【再掲】と表示しています。

ただし、取組内容が同じであっても、男女共同参画の視点の違いで取組が一部異なることもありますので、そうした場合は、記載内容のうち該当箇所を下線で表示していますのでご注意ください。

例

No15 男女共同参画事業

講演会の開催



同じ事業名でも取組内容が異なる場合
そのままの事業名を記載

No31 男女共同参画事業

就業環境の改善を目指す啓発活動

No28 男女共同参画事業

ワーク・ライフ・バランスに対する意識啓発



同じ事業名で取組内容が類似する
場合、事業名の後ろに【再掲】を
記載

No31 男女共同参画事業

【再掲】(事業No28と同じ)
就業環境の改善を目指す啓発活動

魚沼市男女共同参画推進委員からのご意見 (全体的なもの)

平成30年第2回男女共同参画推進委員会以降（様式変更後）に出た委員のご意見を以下のとおりまとめました。
なお、各事業に関するご意見は、各事業のシートの右上の指標の下側に記載しました。

平成30年度 第2回 (2018.12.03)	<ul style="list-style-type: none">・男性の参加数や全体の割合が何パーセントだったのか等の情報をできる限り詳しく明示していくこと。・「再掲」となっている事業については一つに統合して、課題番号をそれぞれふる等し、より見やすくなるよう検討すること。・行政が頑張った取組について示しPRすることも重要。・それぞれの事業を担当する職員も年々変わっていくので、本進行管理表にそれまでの事業の経緯等の詳細をしっかりとめることで、「引継ぎ書」のような使い方をして、それまでのマインドが繋がっていくよう活用して欲しい。・事業番号05家族介護支援事業は、男性の参加を促進する手法としては参考となるので、他の事業でも参考にしてもらいたい。・具体的な対策を政策レベルで行う方法をこの委員会で話し合えればと考える。・会議の進行について、その日の会議の流れがどのように進められるかイメージできるような案内が事前にあると良い。
令和元年度 第2回 (2019.9.19)	<ul style="list-style-type: none">・魚沼市の各事業が男女共同参画推進計画と繋がっていることを一般のほとんどの人は知らないと思う。・進捗管理表等の資料では、全体像が分かりにくいように思う。・男女共同参画推進委員会の委員だけで討論するよりも、できればもっと多くの方の参加で話し合いが出来たらベストだと思う。例えば、子育て中の方、学校の先生、子ども達など交えられれば、色々な意見が出てくると思う。

男女共同参画推進計画体系図

基本目標	重点目標	施策の方針	施策の展開	No.	事業	推進課	
基本目標 1 男女平等を推進する意識づくり	1 家庭における男女平等の意識づくり	1 家庭における男女平等についての理解を深めるための広報・啓発活動の推進	1 男性も参加しやすい家事・育児・介護等に関する各種講習会を開催し、男性の意識づくりをすすめる活動に取り組みます。	01	地区公民館講座教室事業	生涯学習課	
				02	家庭教育事業		
				03	図書館管理運営事業		
				04	母子健康相談・教育事業	子ども課	
				05	家族介護支援事業	介護福祉課	
			06	(全課)			
	2 地域における慣習を改善する意識づくり	1 地域における男女平等の意識づくりをすすめるための広報・啓発活動の推進	1 男女平等の視点に立った地域活動を支援するなど、意識啓発、女性の参画をすすめます。	07	コミュニティ活動支援事業	地域創生課	
				08	企業人材確保・育成支援事業	商工観光課	
	3 働く場における男女平等の意識づくり	1 働く場における男女平等の広報・啓発活動の推進	1 働く女性が男性と均等な扱いを受け、その能力を十分発揮し、幅広い分野で活躍することができるよう、「男女雇用機会均等法」の周知・啓発を行います。	09	各学校教育振興事業	学校教育課	
				10	各学校教育振興事業		
				11	総合学習支援事業		
				12	学級づくり支援事業		
	4 学びの場における男女平等の意識づくり	1 学校教育の場における男女平等の意識づくりをすすめるための教育の充実	1 人権学習を基礎とした男女平等意識を育む教育を推進します。	09	各学校教育振興事業	学校教育課	
				2	社会状況と発達段階に応じた性教育を実施します。		
				3	多様な進路選択を支援する職場体験やインターンシップの実施を推進します。		
				4	男女平等意識の醸成や男女共同参画の促進を図るための教職員研修を充実します。		
		2 生涯学習の場における男女平等の意識づくり	1 公民館等において、男女共同参画社会への意識づくりと実践を促す各種講座（男性も参加しやすい家事・育児等に関する各種講習会等）を開催します。	1	13	家庭教育事業（再掲）	生涯学習課
					14	地区公民館講座教室事業（再掲）	
					15	男女共同参画事業	企画政策課
2	2 生涯学習情報提供システム（ラ・ラ・ネット）や情報誌等を通じて、いきいき県民カレッジや各地で開催されている男女共同参画に関する学級・講座などの学習情報を提供します。	2	16	地区公民館講座教室事業（再掲）	生涯学習課		
			17	図書館管理運営事業			
			18	企業人材確保・育成支援事業		商工観光課	
5 女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた意識づくり	1 女性に対する暴力の根絶に向けた広報・啓発活動の推進	1 職場におけるセクシャル・ハラスメント等の防止に向け、企業等に対する周知啓発を行います。	18	企業人材確保・育成支援事業	商工観光課		
			2	加害予防の広報・啓発活動や講演会等を実施します。	19	社会福祉管理事業	福祉支援課

男女共同参画推進計画体系図

基本目標	重点目標	施策の方針	施策の展開	No.	事業	推進課	
基本目標 2 男女がともに活躍できる環境づくり	1 女性が参画しやすい環境づくり	1 市の政策・方針決定過程への女性の参画促進	1 市の各種審議会等委員への女性の積極的な登用を推進します。	20	(全課)		
		2 企業、団体、地域等あらゆる場における方針決定過程への女性の参画促進	1 あらゆる機会を通じて企業、団体等に対し、積極的改善措置（ポジティブアクション）に関する情報等を提供し、女性の登用等を促進します。	21	企業人材確保・育成支援事業（再掲）	商工課	
			2 地域づくりにおける女性の参画を促進します。	22	コミュニティ活動支援事業（再掲）	地域創生課	
		3 女性の能力向上やチャレンジの支援	2 新規起業支援事業	23	市民協働推進事業		
			1 女性の起業を支援するため、情報や研修などの機会を提供します。	24	新規起業支援事業	商工課	
			2 企業等において、事業所内教育が実施されるよう啓発を行います。	25	企業人材確保・育成支援事業		
		3 女性の積極的活用と雇用分野の拡大を促進するため、事業主に対する啓発を行います。	26	企業人材確保・育成支援事業（再掲）			
		2 仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり	1 仕事と生活の調和のとれた就業環境づくり	1 すべての労働者が仕事と生活の調和が実現できるよう、働き方の見直しについて、労使の理解を促します。	27	企業人材確保・育成支援事業（再掲）	企画政策課
				2 仕事と生活の両立を推進するとともに、男女の働き方の見直しを進めるため広く意識の啓発を図ります。	28	男女共同参画事業	
	2 仕事と子育てや介護との両立のための制度の普及と利用の促進		1 育児・介護休業等の制度を定着化させ、男女を問わず取得しやすい就業環境づくりを推進します。	29	企業人材確保・育成支援事業（再掲）	商工課	
			2 出産・育児・介護等で休業した労働者の円滑な職場復帰や、再雇用制度の導入について事業主に対し啓発を行います。	30	企業人材確保・育成支援事業（再掲）	企画政策課	
				31	男女共同参画事業（再掲）		
	3 男性の立場からの男女共同参画の促進		1 男性が参加しやすい各種研修会や講習会を実施します。	32	雇用対策事業	商工課	
				33	男女共同参画事業（再掲）	企画政策課	
			2 家事・育児・介護等への参画が可能となるよう、男性の働き方の見直しを進める情報提供等を行います。	34	地区公民館講座教室事業（再掲）	生涯学習課	
				35	家庭教育事業（再掲）		
				36	図書館管理運営事業（再掲）		
				37	企業人材確保・育成支援事業（再掲）	商工課	
				38	市民相談事業	市民課	
	39	男女共同参画事業	企画政策課				
	3 男女が互いの力を合わせて地域社会を活性化する環境づくり	1 農林業・商工業等自営業における女性の参画促進	1 商工業等自営業の事業主に対して、女性の労働・生活環境の見直しを働きかけます。	40	企業人材確保・育成支援事業	商工課	
			2 農林業、商工業等に従事する女性への活動支援を通じて、女性が活躍しやすい環境づくりを推進します。	41			
			3 女性が能力を十分に発揮し、経営者の1人として適正に評価されるよう、家族経営協定の締結を推進します。	42		農政課	
		2 地域や防災、環境などにおける男女共同参画促進	1 女性が能力を十分に発揮し、経営者の1人として適正に評価されるよう、家族経営協定の締結を推進します。	43	農業委員会運営事業	農業委員会	
1 地域づくりにおける女性の参画を促進します。（再掲）			44	コミュニティ活動支援事業（再掲）	地域創生課		
3 高齢者、障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備		2 市民協働推進事業（再掲）	45	市民協働推進事業（再掲）			
		1 障害者が地域で暮らし、社会参加する力の向上を支援します。	46	地域生活支援事業	福祉支援課		
		2 高齢者の社会参加を支援します。	47	シルバー人材センター助成事業	介護福祉課		
48		市民相談事業	市民課				

男女共同参画推進計画体系図

基本目標	重点目標	施策の方針	施策の展開	No.	事業	推進課
基本目標3 男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	1 生涯にわたる男女の健康保持のための環境づくり	1 女性の生涯を通じた健康の維持・増進のための施策の推進	1 生涯にわたり女性が自ら健康管理できるよう、思春期からの健康教育等の活動に取り組みます。	49	母子健康相談・教育事業	子ども課 健康増進課
			2 各種健康診査や検診を受けやすい体制整備を促進し、女性の健康づくりを支援します。	50	男女共同参画事業	企画政策課
		2 性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライフ)についての知識の普及	1 生涯にわたって自分の健康を主体的に決定できるよう、性と生殖に関する健康と権利についての健康教育等の活動に取り組みます。	51	がん検診事業	健康増進課
			1 高齢者等が安心して暮らせる環境づくり	52	母子健康相談・教育事業(再掲)	子ども課 健康増進課
		3 高齢者等が安心して暮らせる環境づくり	1 高齢者の自立を支援するため、介護予防を地域で実施します。	53	各学校教育振興事業(再掲)	学校教育課
				54	普及啓発型筋力向上トレーニング事業	介護福祉課
	2 子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり	1 妊娠・出産における経済的負担の軽減と支援体制の充実	1 不妊治療や不育症治療の費用に対し、経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。	55	妊産婦医療費助成事業	子ども課
				56	不妊治療費助成事業	
		2 公的支援制度や施設、保育施設等の整備・充実	1 子育て中の保護者の経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。	57	保育園管理事業	子ども課
				58	学童保育管理事業	
				59	私立幼稚園教育支援事業	
				60	子ども医療費助成事業	
				61	養育医療費助成事業	
				62	ひとり親家庭等医療費助成事業	
		2 安心して利用でき、多様なニーズに対応した保育施設等の環境整備をすすめます。	2 安心して利用でき、多様なニーズに対応した保育施設等の環境整備をすすめます。	63	公立保育園等整備事業	
				64	保育園管理事業	
		3 地域における子育て環境の整備・充実	1 育て中の保護者同士が交流、情報交換を行うサークルなどの活動を支援します。	65	親子ふれあい支援事業	
			2 子育て関連の情報提供と育児相談等を実施し、子育ての孤立感、負担感の解消を図ります。	66	子育て支援センター管理運営事業	
		4 ひとり親家庭への支援体制の充実	1 ひとり親家庭を支援するため、就業支援、相談等の施策の充実を図ります。	67	次世代育成支援対策事業	
				68	次世代育成支援対策事業	
	69			次世代育成支援対策事業		
	70			雇用対策事業	商工課	
	3 生涯支え合う環境づくり	1 高齢者が安心して暮らせる介護体制の整備	1 高齢者を介護している家族等在宅での介護負担を軽減するサービスを充実させます。	71	家族介護支援事業	介護福祉課
			2 介護休業制度の定着と男女を問わず取得しやすい就業環境づくりを推進します。	72	企業人材確保・育成支援事業(再掲)	商工課
			73	男女共同参画事業(再掲)	企画政策課	
	4 女性の人権を守る環境づくり	1 暴力等による被害者の相談・支援体制の充実	1 職場におけるセクシャル・ハラスメント等の防止に向け、企業等に対する周知啓発を行います。(再掲)	74	企業人材確保・育成支援事業(再掲)	商工課
			2 相談窓口を設置し、被害女性の相談や保護・支援を行います。	75	社会福祉管理事業	福祉支援課
76			市民相談事業	市民課		
3 関係機関、近隣市町村等と連携し、被害者支援を充実します。			77	社会福祉管理事業	福祉支援課	

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	延べ男性参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	家庭における男女平等の意識づくり			21/20	22/25	20/30	15 /35	0/40
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	家庭における男女平等についての理解を深めるための広報・啓発活動の推進	【実績に基づく数値】 H28実績 4講座 延べ21回 参加者283人 (うち男性21人) H29実績 4講座 延べ18回 参加者261人 (うち男性22人) H30実績 5講座 延べ22回 参加者267人 (うち男性20人) 2019実績 5講座 延べ16回 参加者174人 (うち男性15人) 2020実績 新型コロナウイルスの影響により実施講座なし	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための取り組み)	(1)	男性も参加しやすい家事・育児・介護等に関する各種講習会を開催し、男性の意識づくりをすすめる活動に取り組みます。							
01	予算事業名	地区公民館講座教室事業							
事業概要	地域の身近な学習拠点として、住民の教養の向上、生活文化の振興を図る。								
男女共同参画での視点	家事・育児に関する地区公民館講座教室の開催することで、男性の男女平等意識づくりを進めます。		男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課 (室)	生涯学習課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 家事・育児に関する地区公民館講座教室を開催し、男性の参加を促すことで、男性の男女平等意識づくりを進めます。 また、親子で参加できる講座を開催することで、夫婦での情報の共有を図るとともに、家事・育児における男性の役割の重要性を実感してもらいます。 <p>【料理教室】4回 9時30分～ 会場：広神農村環境改善センター 定員：20人 日付・内容： 6月10日(土)和暦からみる季節の養生ご飯 7月 8日(土)笹団子と山菜汁 10月14日(土)簡単料理、和菓子 12月 9日(土)野菜のおもてなし料理</p> <p>【ぬか床教室】3回 9時30分～ 会場：広神コミュニティセンター 定員：10人 日付：7月3日(月)・7月5日(水)・7月18日(火)</p> <p>【米粉クッキング教室】4回 10時～ 会場：小出北部公民館 定員：13人 日付・内容： 11月2日(木)簡単スポンジケーキ作り 12月7日(木)米粉ピザと鶏肉の米粉シチュ 会場：ポランティアセンター 日付・内容： 2月1日(木)米粉のチョコレートケーキ等 3月1日(木)米粉・米ぬかのクッキー等</p> <p>【子育てパパママ応援します】7回 10時～ 会場：子育て支援センター 定員：なし 日付：6月20日(火)・7月18日(火)・8月19日(土) ・9月19日(火)・10月17日(火)・11月18日(土)・3月10日(土) 内容：親子で絵本・紙芝居・わらべ歌・親子遊び等</p>	講座開催経費	247	<ul style="list-style-type: none"> 男性が参加しやすいように、土日の開催を増やしたところ、参加者数の増加につながりました。 反面、平日開催の料理教室については、土日開催と比較して男性の参加者が少ない結果となりました。 <p>【料理教室】 参加者数78名 うち男性5人 (新規事業)</p> <p>【ぬか床教室】 参加者数28名 うち男性2人 (新規事業)</p> <p>【米粉クッキング教室】 参加者数53名 うち男性0人(前年1名)</p> <p>【子育てパパママ応援します】 参加者数121名 うち男性15人(前年12名)</p>	212	<ul style="list-style-type: none"> 土日開催の講座と、親子で参加できる講座について、実質、男性参加数の増加につながることができました。 男性にとっては、休日開催や親子向けの内容のものが、参加し易さの要因の一つであることが分かりました。 <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、男性が興味を持ち、且つ、参加しやすい講座にするため、休日の開催や親子向けの取組を進めて行きます。 また、親子での参加は、父親だけに限らず、子どもに対しても、父親が家事育児に取組む姿を見せることにつながります。 今後、親子で参加できる講座を増やしながら、親と子がともに学べる場をつくっていくことが必要だと考えます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<p>・前年度の結果を踏まえて、親子で参加できる教室の開催数を増やしました。</p> <p>【料理教室】4回 9時30分～ 会場：広神農業改善環境センター 定員：20人 日付・内容： 6月30日(土) 笹団子、山賊汁 12月5日(水) 郷土料理（きっこうし漬け等） 2月8日(金)未定、3月8日(金)未定</p> <p>【目からウロコの簡単和食】4回 10時～ 会場：小出北部公民館 定員：13人 日付・内容： 4月26日(木) 春のちらし寿司・鯛の昆布ダマ等 8月30日(木) おだしを味わう 10月25日(木) なんちゃって松茸ごはん等 12月20日(木) 京風お雑煮、おせち料理</p> <p>【子育て教室】4回 10時～ 会場：広神コミセン 定員：10人 日付・内容： 7月4日(水) 自然なおむつはずし 7月11日(水) 足育、7月18日 発育発達 7月25日(水) 虫よけスプレーと顔のリンパ流し</p> <p>【親子で一緒】3回 9時30分～ 会場：堀之内公民館 定員：各親子8組 日付・内容： 6月30日(土) 男性保育士2名から親子遊びを学ぶ 7月21日(土) 親子で「お茶」の初歩を学ぶ 会場：堀之内公民館 定員：親子5組 日付・内容： 8月4日(土) 親子で電動糸鋸を使い置物を作る</p> <p>【子育てパパママ教室】7回 10時～ 会場：子育て支援センター 定員：なし 日付：6月2日(土)・7月5日(木)・8月2日(木)・ 9月1日(土)・10月4日(木)・11月1日(木)・ 3月9日(土)</p> <p>内容：親子で絵本・紙芝居・わらべ歌・親子遊び等</p>	講座開催 経費	173	<p>・男性が参加しやすいように土曜の開催を多くしました。</p> <p>【料理教室】 参加者数64人 うち男性3人（前年5人）</p> <p>【目からウロコの簡単和食】 参加者数53人 うち男性0人（前年0人）</p> <p>【子育て教室】 参加者数31人 うち男性1人（新規事業）</p> <p>【親子で一緒】 参加者数20人 うち男性9人（新規事業）</p> <p>【子育てパパママ教室応援します】 参加者数99人 うち男性7人（前年15人）</p>	121	<p>・土曜日開催の講座を多く実施しました。前年と比較し、男性の参加数は減少しました。</p> <p>・減少の理由として、男性の参加を積極的に促すような周知内容が少なかったためと思われます。</p>
						<p>今後の対策・取組の方向等</p>
						<p>・講座の開催曜日や内容について、男性が取り組みやすいものを考えていきます。</p> <p>・料理や子育て講座の周知の際は、男性の参加を歓迎し、促すような内容にする必要があると考えます。</p>

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2019年度	<p>・家庭における男性の家事、育児への参加を推進するため、料理教室、子育て講座を実施します。</p> <p>【親子で一緒に親子で遊ぼう】6月22日 9時30分～ 会場：堀之内公民館 大ホール 定員：15組 内容：親子遊びを学ぶ</p> <p>【目からウロコの簡単和食】4回 10時～ 会場：小出北部公民館 定員：12人 日付・内容： 5月23日(木) さつき寿司、茶わん蒸し等 8月29日(木) ごま味噌素麺、揚げナスの茸あん等 10月31日(木) 大根菜飯、煮干しだしの味噌汁等 12月19日(木) 白がゆ、お正月の椀盛り等</p> <p>【子育てパパママ応援します！】7回 10時～ 会場：子育て支援センター 定員：なし 日付：6月1日(土)・7月4日(木)・8月8日(木)・ 9月7日(土)・10月3日(木)・11月7日(木)・ 3月7日(土) 内容：親子で絵本・紙芝居・わらべ歌・親子遊び等</p> <p>【料理教室】3回 9時30分～ 会場：伊米ヶ崎公民館 定員：10人</p> <p>【キッズクッキング&パパママのリフレッシュ講座】 10:00～ 会場：湯之谷世代間交流施設 日付：2月2日(日)</p> <p>【子育て教室】3回 会場：広神コミュニティセンター 定員：なし 日付・内容 9月28日(土) 自己肯定感 11月16日(土) 親子で楽しくおやつ作り 12月22日(日) 子育て講座（冬の親子遊び）</p>	講座開催 経費	215	<p>・料理教室、子育てに関する講座を開催しました。</p> <p>【親子で一緒に親子で遊ぼう】 講座の開催下限人数に達しなかったため中止</p> <p>【目からウロコの簡単和食】 延べ参加者57人 うち男性7人（前年0人）</p> <p>【子育てパパママ応援します！】 参加者（親）48人 うち男性1人（前年7人）</p> <p>【料理教室】 参加者17人 うち男性0人（前年3人）</p> <p>【キッズクッキング&パパママリフレッシュ講座】 参加者数（親）7人 うち男性2人（新規事業）</p> <p>【子育て教室】 参加者（親）45人 うち男性5人（前年1人）</p>	214	<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした講座もあり、前年と比較して参加者数自体が減少しています。</p> <p>・男性の参加者数も前年と比較して減少していますが、参加者数の減少によるものと思われる。</p>
						今後の対策・取組の方向等
						<p>・引き続き、講座の開催曜日や内容について、男性が取り組みやすいものを考えていきます。</p> <p>・料理や子育て講座の周知の際は、男性の参加を歓迎し、促すような内容にする必要があると考えます。</p>
2020年度	<p>・親子での参加となる講座と料理講座をとおして、男性の育児、家事への参加促進を目指します。</p> <p>【親子茶道教室】全1回 6月予定 会場：堀之内公民館 内容：親子で茶道の初歩を学ぶ</p> <p>【目からウロコの簡単和食】全3回 会場：小出北部公民館 日付・内容： 5月28日(木) ぬか床 9月24日(木) 塩こうじ 12月23日(木) 味噌づくり</p> <p>【小北メンズクッキング】全2回 時期未定 会場：小出北部公民館 内容：男性向けの料理教室</p> <p>【キッズクッキング&パパママのリフレッシュ講座】全1回 2月予定 会場：湯之谷公民館 内容：子どもは料理教室。親はリフレッシュ体操教室。終了後、子どもの手作り料理を食べる。</p>	講座開催 経費	157	<p>・いずれの事業も、新型コロナウイルスの影響により実施できませんでした。</p>	0	<p>・計画していた事業はいずれも飲食を伴うものであり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とせざるを得ませんでした。</p>
						今後の対策・取組の方向等
						<p>・引き続き、講座の開催曜日や内容について、男性が取り組みやすいものと考えていきます。</p> <p>・料理や子育て講座の周知の際は、男性の参加を歓迎し、促すような内容にする必要があると考えます。</p>

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	家庭教育等に関する講座等の延べ男性参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	家庭における男女平等の意識づくり			-/-	124	99/40	133/125	7/130
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	家庭における男女平等についての理解を深めるための広報・啓発活動の推進	【実績に基づく数値】 H28実績 9回 参加者1,063人 H29実績 8回 参加者1,007人 (うち男性124人) H30実績 14回 参加者1,367人 (うち男性99人) R1実績 17回 参加者880人 (うち男性133人) R2実績 2回 参加者290人 (うち男性7人)	【目標値の根拠】 ・H29から男性参加者数の把握を開始しましたので、実績値が確定した後に目標値を設定しました。 ・H30日本PTA全国研究大会新潟大会の実施に伴い、男性参加者が多く見込める市PTA連絡協議会講演会が行えず、市外で行われる講演会に参加することとなったため、参加人数の把握が困難なことから、その分の目標値を下げています。					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	男性も参加しやすい家事・育児・介護等に関する各種講習会を開催し、男性の意識づくりをすすめる活動に取り組みます。							
02	予算事業名	家庭教育事業							
事業概要	家庭教育等に関する講座や学習会等の開催及び支援		男女共同参画推進委員会からのご意見	平成30年第2回目事前協議 目標値を下げることは継続性に問題がある。					
男女共同参画での視点	親子で参加できる講座を開催及び支援による家庭での男女平等についての理解を深める啓発活動につなげます。								
推進課 (室)	生涯学習課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育等に関する講座や学習会等の開催及び支援を行います。 【ぶち♪トトくらぶ】1回 開催：10月 対象：未就園児とその親 (定員50人) 内容：芋ほり (親子で自然に触れ合う体験) 【子ども育み講座事業】4回 (予定) 対象：市内小中学校PTA、子育て支援団体 内容：主催団体と連携し、講演会や学習会等の支援を行う。 【市立幼稚園・保育園PTA保護者会学習支援事業】5回 (予定) 対象：市内幼稚園・保育園PTA保護者会 内容：主催団体と連携し、講座や学習会等の支援を行う。 	講座開催経費	221	<p>【ぶち♪トトくらぶ】 天候不良により中止</p> <p>【子ども育み講座事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚沼市PTA連絡協議会講演会 演題：子ども可能性を未来へ繋げる生きる力の作り方 日時：H29.7.1 会場：小出郷文化会館 参加：240人 (うち男性96人) 須原小学校PTA文化部人形劇公演 日時：H29.7.4 会場：須原小学校 参加：140人 (うち男性5人) 堀之内中学校PTAふれあい音楽教室 日時：H29.9.29 会場：堀之内公民館 参加：240人 (うち男性0人) 小出小学校PTA保護者学習会 日時：H29.10.20 会場：小出小学校 参加：68人 (うち男性3人) <p>【市立幼稚園・保育園PTA保護者会学習活動支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふたば東保育園親子教室 日時：H29.6.3 会場：ふたば東保育園 参加：137人 (うち男性12人) ふたば西保育園親子教室 日時：H29.6.10 会場：ふたば西保育園 参加：65人 (うち男性3人) 佐梨保育園保護者会研修会 日時：H29.6.10 会場：小出第2体育館 参加：65人 (うち男性4人) すもんこども園親子遊び 日時：H29.11.2 会場：すもんこども園 参加：52人 (うち男性1人) 伊米ヶ崎保育園親子運動遊び インフルエンザ流行により中止 	186	<ul style="list-style-type: none"> 講座の内容や開催方法を工夫し、家庭における男女平等についての理解を深める啓発活動につなげました。 H29は台風やインフルエンザによる講座等の中止が2回あり、参加者総数は前年度より少なくなりました。
				今後の対策・取組の方向等		<ul style="list-style-type: none"> 男性の参加を促すため、親子や夫婦など家庭全体で参加しやすい講座等を企画し、男女平等の意識を啓発していきます。 次年度は日程・会場の都合により男性参加者が多く見込める講座の一つを実施できませんが、男性でも安心して子育てや家庭教育を行えるような新規事業の検討を行います。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 （千円）	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 （千円）	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、家庭教育等に関する講座や学習会等の開催及び支援を行います。 P T A事業の支援に当たっては、男女共同参画に資する要素を取入れてもらうよう働きかけていきます。 今年度より新規に家庭教育講座を実施し、家庭における男女平等について理解を深める啓発活動の幅を広げます。 <p>【ぶち♪トトくらぶ】1回 開催：10月 対象：未就学児とその親（定員50人） 内容：芋ほり（親子で自然に触れ合う体験）</p> <p>【子ども育み講座事業】6回 対象：市内小中学校P T A、子育て支援団体内 内容：主催団体と連携し、講演会や学習会等の支援を行う。</p> <p>【市立幼稚園・保育園P T A保護者会学習支援事業】4回 対象：市内幼稚園・保育園P T A保護者会 内容：主催団体と連携し、講座や学習会等の支援を行う。</p> <p>【家庭教育講座】全3回…《新規》 開催：7月～9月 対象：市内の保護者向け（定員30人） 内容：親が安心して子育てや家庭教育を行えるよう支援する講座を実施</p>	講座開催 経費	458	<p>【ぶち♪トトくらぶ】 日時：10月15日（月） 会場：魚沼更生福祉会六花園園場 参加：21人（うち男性3人）</p> <p>【子ども育み講座事業】 ・広神地区P T A講演会 演題：～子どものやる気と自立～育てるコツを教えます 日時：H30. 5. 18 会場：広神中学校 参加：262人（うち男性20人） ・入広瀬地区P T A講演会 内容：食育に関する講演会 日時：H30. 10. 17 会場：入広瀬中学校 参加：77人（うち男性0人） ・小出小学校P T A保護者学習会 日時：H30. 10. 29 会場：小出小学校 参加：57人（うち男性3人） ・堀之内中学校P T A講演会 演題：成長するための思春期の過ごし方 日時：H30. 12. 17 会場：堀之内中学校 参加：230人（うち男性5人） ・とんとんお話の部屋人形劇 内容：ひとみ座人形劇 日時：H31. 3. 2 会場：小出ボランティアセンター 参加：306人（うち男性25人） ・絵本の家ゆきぼうし家庭教育講座 演題：絵本のよるこびをわかちあう 日時：H31. 3. 17 会場：広神コミュニティセンター 参加：38人（うち男性3人）</p> <p>【市立幼稚園・保育園P T A保護者会学習支援事業】 ・ふたば東保育園親子おたのしみ会 日時：H30. 6. 9 会場：ふたば東保育園 参加：110人（うち男性7人） ・ふたば西保育園親子教室 日時：H30. 6. 16 会場：ふたば西保育園 参加：81人（うち男性8人） ・すもんこども園親子遊び 日時：H30. 9. 4 会場：すもんこども園 参加：95人（うち男性10人） ・伊米ヶ崎保育園親子運動教室 日時：H30. 9. 8 会場：伊米ヶ崎小学校 参加：63人（うち男性9人）</p> <p>【家庭教育講座】全3回…《新規》 日時：H30. 7. 21、H30. 8. 11、H30. 9. 1 会場：堀之内公民館 参加：27人（うち男性6人）</p>	322	<ul style="list-style-type: none"> 講座の内容や開催方法を工夫し、家庭における男女平等についての理解を深める啓発活動につなげました。 H30は予定より多くの講座を実施できた事業があったこと、また新規の講座事業を実施したことにより、参加者総数は前年度より多くなりました。
				今後の対策・取組の方向等		
				<ul style="list-style-type: none"> 男性の参加を促すため、親子や夫婦など家庭全体で参加しやすい講座等を企画し、男女平等の意識を啓発していきます。 		

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 （千円）	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 （千円）	評価（成果等）・増減等の理由
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、家庭教育等に関する講座や学習会等の開催及び支援を行います。 P T A事業の支援に当たっては、男女共同参画に資する要素を取入れてもらうよう働きかけていきます。 昨年度実施した家庭教育講座を継続実施し、また、今年度より新規で家庭教育支援チームと連携した講座を開催することで、家庭における男女平等について、理解を深める啓発活動の幅を広げます。 <p>【ぶち♪トトくらぶ】1回 開催：10月 対象：未就学児とその親（定員50人） 内容：芋ほり（親子で自然に触れ合う体験）</p> <p>【子ども育み講座事業】4回 対象：市内小中学校P T A、子育て支援団体 内容：主催団体と連携し、講演会や学習会等の支援を行う。</p> <p>【市立幼稚園・保育園P T A保護者会学習支援事業】3回 対象：市内幼稚園・保育園P T A保護者会 内容：主催団体と連携し、講座や学習会等の支援を行う。</p> <p>【家庭教育講座】全3回 開催：8月～10月 対象：市内の保護者向け（定員30人） 内容：親が安心して子育てや家庭教育を行えるよう支援する講座を実施</p> <p>【家庭教育支援チーム連携講座】全6回 …《新規》 開催：6～7月 対象：市内の保護者向け（定員10人） 内容：子育てレッスン</p>	講座開催 経費	571	<p>【ぶち♪トトくらぶ】※クマの出没により中止 日時：10月19日（土） 会場：魚沼更生福祉会六花園園場</p> <p>【子ども育み講座事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚沼市P T A連絡協議会研修大会 演題：肯定から始まる笑い前向きに生きるヒント 日時：R1. 6. 8 会場：小出郷文化会館 参加：300人（うち男性100人） 小出小学校P T A保護者学習会 内容：家庭教育に関する講座 日時：R1. 10. 31 会場：小出小学校 参加：76人（うち男性7人） 堀之内中学校P T A講演会 演題：山脇充の人生いっすねー！ 日時：R1. 11. 20 会場：堀之内中学校 参加：230人（うち男性3人） とんとんお話の部屋人形劇 内容：ひとみ座人形劇 日時：R2. 3. 7 会場：小出郷文化会館 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>【市立幼稚園・保育園P T A保護者会学習支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐梨保育園保護者会研修会 日時：R1. 6. 1 会場：小出小学校第2体育館 参加：53人（うち男性3人） ふたば西保育園親子運動教室 日時：R1. 6. 15 会場：ふたば西保育園 参加：58人（うち男性6人） すもんども園親子運動遊び 日時：R1. 11. 8 会場：須原第1体育館 参加：99人（うち男性11人） <p>【家庭教育講座】全3回 日時：R1. 8/31・9/14・10/12 会場：堀之内公民館研修室 参加（全3回計）：39人（うち男性3人）</p> <p>【家庭教育支援チーム連携講座】全7回…《新規》 日時：R1. 6/11・18・25・7/2・9・23・10/15 会場：小出郷福祉センター 参加（全7回計）：延べ25人（うち男性0人）</p>	401	<ul style="list-style-type: none"> 講座の内容や開催方法を工夫し、家庭における男女平等についての理解を深める啓発活動につなげました。 R1は市内での熊の出没や新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していたイベント等を中止したことにより、参加者総数は前年度より大きく減少しましたが、男性の参加し易い内容だったからか、男性参加者数は目標値を上回ることができました。
				<p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 男性の参加を促すため、親子や夫婦など家庭全体で参加しやすい講座等を企画し、男女平等の意識を啓発していきます。 		

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2020年度	<p>・引き続き、家庭教育等に関する講座や学習会等の開催及び支援を行います。</p> <p>・PTA事業の支援に当たっては、男女共同参画に資する要素を取入れてもらうよう働きかけて行きます。</p> <p>・家庭教育講座についても継続実施とし、また、昨年度、新規で家庭教育支援チームと連携した講座を開催することで、家庭における男女平等について、理解を深める啓発活動の幅を広げます。</p> <p>【ぶち♪トトくらぶ】1回 開催：10月 対象：未就学児とその親（定員50人） 内容：芋ほり（親子で自然に触れ合う体験）</p> <p>【子ども育み講座事業】6回（予定） 対象：市内小中学校PTA、子育て支援団体 内容：主催団体と連携し、講演会や学習会等の支援を行う。</p> <p>【市立幼稚園・保育園PTA保護者会学習支援事業】4回（予定） 対象：市内幼稚園・保育園PTA保護者会 内容：主催団体と連携し、講座や学習会等の支援を行う。</p> <p>【家庭教育講座】全3回 開催：夏頃（7月～9月） 対象：市内の保護者向け（定員30人） 内容：親が安心して子育てや家庭教育を行えるよう支援する講座を実施</p> <p>【家庭教育支援チーム連携講座】全7回 開催：6～9月 対象：市内の保護者向け（定員10人） 内容：子育てレッスン</p>	講座開催 経費	701	<p>【ぶち♪トトくらぶ】</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度計画なし。</p> <p>【子ども育み講座事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚沼市PTA連絡協議会研修大会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 小出小学校PTA保護者学習会 内容：家庭教育に関する講座 日時：R2.10.29 会場：小出小学校 参加：70人（うち男性5人） 堀之内中学校PTA講演会 演題：「世界一周旅日記」 日時：R2.10.29 会場：堀之内中学校 参加：220人（うち男性2人） とんとんお話の部屋人形劇 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>【市立幼稚園・保育園PTA保護者会学習支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふたば東保育園親子お楽しみ会 日時：R2.6.13 会場：ふたば東保育園 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ふたば西保育園親子運動教室 日時：R2.6.20 会場：ふたば西保育園 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 <p>【家庭教育講座】</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度計画中止</p> <p>【家庭教育支援チーム連携講座】</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度計画中止</p>	234	<p>・講座の内容や開催方法を工夫し、家庭における男女平等についての理解を深める啓発活動につなげました。</p> <p>・R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していた講座事業等の多くを中止したことにより、参加者総数は前年度より大きく減少しました。</p>
				<p>今後の対策・取組の方向等</p> <p>・男性の参加を促すため、親子や夫婦など家庭全体で参加しやすい講座等を企画し、男女平等の意識を啓発していきます。</p>		

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	ブックスタート当日男性参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	家庭における男女平等の意識づくり			-/-	28/-	22/30	17/32	16/34
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	家庭における男女平等についての理解を深めるための広報・啓発活動の推進	【目標値の根拠】	【実績に基づく数値】 総数24回 H28参加者数 185人 H29参加者数 206人 (うち男性28人) H30参加者数 156人 (うち男性22人) R1参加者数 117人 (うち男性17人) R2参加者数 153人 (うち男性16人) ※R2は、4～5月中止のため、開催数20回 ※R1は、3月中止のため、開催数22回 ※H29から男性参加者数の把握を開始しましたので、H28実績値はありません。					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	男性も参加しやすい家事・育児・介護等に関する各種講習会を開催し、男性の意識づくりをすすめる活動に取り組みます。							
03	予算事業名	図書館管理運営事業							
事業概要	市民の教育、文化の発展に寄与するため小出郷、広神図書館及び公民館図書室の管理運営を行う。								
男女共同参画での視点	男女が協力しあって子育てを行うよう、ブックスタート事業に取り組みます。(10ヶ月児及びその母父、家族を対象に絵本の読み聞かせの実施と絵本の贈呈)		男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課 (室)	生涯学習課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート事業の実施 (10ヶ月児及びその母親や父親、家族を対象に絵本の読み聞かせの実施と絵本の贈呈) 子どもへの読み聞かせをとおして、男女が協力しあって子育てを行うきっかけづくりにします。 男性参加者が、読み聞かせボランティアから絵本の読み方を習うことで、育児参加に対する意識づくりを行います。 <p>会場:子育て支援センターびびぶ 日程:毎月第3水曜日 13時～14時30分 会場:広神図書館 日程:毎月第4土曜日 10時～11時30分</p>	ブックスタート経費	311	<p>対象者合計238人</p> <p>参加者合計206人 (うち男性28人) 会場:子育て支援センター 日程・参加者数: 4月19日 6人 (うち男性1人) 5月17日 9人 (うち男性0人) 6月21日 10人 (うち男性1人) 7月19日 5人 (うち男性0人) 8月16日 8人 (うち男性2人) 9月16日 4人 (うち男性0人) 10月18日 11人 (うち男性3人) 11月15日 10人 (うち男性2人) 12月16日 10人 (うち男性2人) 1月17日 10人 (うち男性1人) 2月21日 10人 (うち男性0人) 3月14日 12人 (うち男性1人)</p> <p>会場:広神図書館 日程・参加人数: 4月22日 5人 (うち男性2人) 5月17日 6人 (うち男性0人) 6月24日 4人 (うち男性2人) 7月22日 3人 (うち男性1人) 8月26日 8人 (うち男性1人) 9月20日 9人 (うち男性1人) 10月28日 3人 (うち男性0人) 11月25日 9人 (うち男性0人) 12月20日 3人 (うち男性0人) 1月27日 3人 (うち男性0人) 2月24日 6人 (うち男性3人) 3月24日 7人 (うち男性5人)</p> <p>ブックスタート当日以外引渡者35人</p>	305	<ul style="list-style-type: none"> 男性参加者が、読み聞かせボランティアから絵本の読み方を習うことで、育児参加に対する意識づくりを行いました。 <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 本を通じて男性の育児参画を呼びかけるためには、図書館職員やボランティアスタッフが男女共同参画の立場から男性の子育て意識の向上を呼びかけられるよう、意識を持つことが重要です。 次年度は、そうした点も意識しながら取組を進めていきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<p>・引き続き、子どもへの読み聞かせをおして、男女が協力しあって子育てを行うきっかけづくりにします。</p> <p>・図書館職員やボランティアスタッフが男女共同参画の立場から男性の子育て意識の向上を呼びかけられるよう、意識付けを行うよう努めます。</p> <p>会場：子育て支援センターぱびぷ 日程：毎月第3水曜日 13時～14時30分</p> <p>会場：広神図書館 日程：毎月第4土曜日 10時～11時30分</p>	ブックスタート経費	347	<p>3月末現在での実績は次のとおりです。</p> <p>対象者合計206人 参加者合計184人（うち男性22人）</p> <p>会場：子育て支援センター 日程・参加者数：</p> <p>4月18日 2人（うち男性0人） 5月16日 7人（うち男性1人） 6月20日 11人（うち男性1人） 7月18日 12人（うち男性1人） 8月 8日 7人（うち男性0人） 9月19日 8人（うち男性0人） 10月17日 9人（うち男性1人） 11月21日 14人（うち男性1人） 12月19日 7人（うち男性0人） 1月23日 9人（うち男性1人） 2月20日 10人（うち男性1人） 3月 6日 17人（うち男性1人）</p> <p>会場：広神図書館 日程・参加者数：</p> <p>4月28日 3人（うち男性1人） 5月26日 2人（うち男性1人） 6月23日 5人（うち男性1人） 7月28日 6人（うち男性0人） 8月25日 4人（うち男性1人） 9月22日 2人（うち男性0人） 10月27日 5人（うち男性2人） 11月24日 3人（うち男性1人） 12月22日 5人（うち男性4人） 1月26日 3人（うち男性1人） 2月16日 3人（うち男性1人） 3月23日 2人（うち男性1人）</p> <p>ブックスタート当日以外引渡者28人</p>	330	<p>・ブックスタート事業の男性参加者は22人となり、目標値を下回りました。また、ブックスタート対象者、当日参加者共に減少しました。</p> <p>参加した男性参加者は、読み聞かせボランティアから絵本の読み方や家族で絵本を読む楽しさを学ぶことで、男女が協力し合って育児をする意識が高まると思います。</p>
				<p>今後の対策・取組の方向等</p> <p>・本を通じて男女協力した育児参画を呼びかけるためには、図書館職員や読み聞かせボランティアスタッフが男女共同参画の立場から男性の子育て意識の向上を呼びかけられるよう、意識を持つことが重要です。今後のブックスタート事業の際には、男性の積極的な育児参加の働きかけを行います。</p> <p>・次年度も、引き続きそうした点も意識しながら取組を進めていきます。</p>		

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2019年度	<p>・引き続き、子どもへの読み聞かせをとおして、男女が協力しあって子育てを行うきっかけづくりにします。</p> <p>・図書館職員やボランティアスタッフが男女共同参画の立場から男性の子育て意識の向上を呼びかけられるよう、意識付けを行うように努めます。</p> <p>会場：子育て支援センターばびぷ 日程：毎月第3水曜日 13時～14時30分</p> <p>会場：広神図書館 日程：毎月第4土曜日 10時～11時30分</p>	ブックス スタート経 費	347	<p>3月末現在での実績は次のとおりです。 対象者合計180人 参加者合計160人（うち男性17人）</p> <p>会場：子育て支援センター 日程・参加者数：</p> <p>4月17日 6人（うち男性 0人） 5月15日 6人（うち男性 0人） 6月19日 7人（うち男性 0人） 7月17日 7人（うち男性 1人） 8月21日 6人（うち男性 1人） 9月18日 8人（うち男性 0人） 10月16日 9人（うち男性 1人） 11月20日 4人（うち男性 0人） 12月18日 11人（うち男性 0人） 1月22日 5人（うち男性 0人） 2月19日 7人（うち男性 0人） 3月25日 中止</p> <p>会場：広神図書館 日程・参加人数：</p> <p>4月27日 6人（うち男性 1人） 5月25日 2人（うち男性 2人） 6月22日 4人（うち男性 1人） 7月27日 4人（うち男性 1人） 8月24日 4人（うち男性 3人） 9月28日 4人（うち男性 1人） 10月26日 3人（うち男性 1人） 11月16日 5人（うち男性 1人） 12月21日 4人（うち男性 2人） 1月25日 2人（うち男性 0人） 2月15日 3人（うち男性 1人） 3月28日 中止</p> <p>ブックススタート当日以外引渡者 43人</p>	327	<p>・ブックスタート事業の男性参加者は17人となり、目標値を下回りました。また、ブックスタート対象者、当日参加者共に減少しました。</p> <p>今年度は、R2年3月開催分が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2開場とも中止となり、開催数も減ったことも、参加者数の減少の一因として考えられます。</p> <p>・参加した男性参加者は、読み聞かせボランティアから絵本の読み方や家族で絵本を読む楽しさを学ぶことで、男女が協力し合って育児をする意識が高まると思います。</p>
				今後の対策・取組の方向等		<p>・本を通じて男女協力した育児参画を呼びかけるためには、図書館職員や読み聞かせボランティアスタッフが男女共同参画の立場から男性の子育て意識の向上を呼びかけられるよう、意識を持つことが重要です。今後のブックスタート事業の際には、男性の積極的な育児参加の働きかけを行います。また、男性も参加しやすい内容となるように工夫していきたいと思います。</p>

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子どもへの読み聞かせをおして、男女が協力しあって子育てを行うきっかけづくりにします。 図書館職員やボランティアスタッフが男女共同参画の立場から男性の子育て意識の向上を呼びかけられるよう、意識付けを行うように努めます。 <p>会場：小出郷図書館 日程：毎月第3水曜日 13時～14時30分</p> <p>会場：広神図書館 日程：毎月第4土曜日 10時～11時30分</p>	ブックスタート経費	347	<p>3月末現在での実績は次のとおりです。 対象者（10ヵ月児）合計216人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10ヵ月児参加数合計137人 ・保護者参加数合計153人（うち男性16人） <p>会場：小出郷図書館 日程・10ヵ月児／保護者参加数： 4～5月 中止 6月17日 13人／13人（うち男性 0人） 7月15日 12人／13人（うち男性 1人） 8月19日 13人／12人（うち男性 0人） 9月16日 10人／10人（うち男性 1人） 10月21日 8人／8人（うち男性 0人） 11月18日 2人／2人（うち男性 0人） 12月16日 2人／2人（うち男性 1人） 1月20日 10人／10人（うち男性 1人） 2月17日 9人／12人（うち男性 0人） 3月17日 12人／12人（うち男性 0人）</p> <p>会場：広神図書館 日程・10ヵ月児／保護者参加数： 4～5月 中止 6月27日 6人／7人（うち男性 1人） 7月25日 5人／7人（うち男性 2人） 8月22日 5人／8人（うち男性 3人） 9月26日 1人／2人（うち男性 1人） 10月24日 4人／4人（うち男性 1人） 11月28日 9人／10人（うち男性 2人） 12月26日 2人／2人（うち男性 0人） 1月23日 3人／4人（うち男性 0人） 2月20日 4人／6人（うち男性 1人） 3月27日 7人／9人（うち男性 2人）</p> <p>ブックスタート当日以外引渡者 67人</p>	322	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業の男性参加者は16人となり、目標値を下回りました。また、ブックスタート対象者、当日参加者共に減少しました。 ・今年度は、4～5月開催分が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2開場とも中止となり、開催数も減ったことも、参加者数の減少の一因として考えられます。 ・参加した男性参加者は、読み聞かせボランティアから絵本の読み方や家族で絵本を読む楽しさを学ぶことで、男女が協力し合って育児をする意識が高まると思います。
				今後の対策・取組の方向等		<ul style="list-style-type: none"> ・本を通じて男女協力した育児参画を呼びかけるためには、図書館職員や読み聞かせボランティアスタッフが男女共同参画の立場から男性の子育て意識の向上を呼びかけられるよう、意識を持つことが重要です。今後のブックスタート事業の際には、男性の積極的な育児参加の働きかけを行います。また、男性も参加しやすい内容となるように工夫していきたいと思います。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	延べ男性参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	家庭における男女平等の意識づくり			28/-	31/-	24/36	44/41	43/41
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	家庭における男女平等についての理解を深めるための広報・啓発活動の推進	【実績に基づく数値】 H28参加組数 35組 H29参加組数 44組 H30男性参加者数 36人 2019男性参加者数 44人 2020男性参加者数 43人 ・計画策定当初は、年間の参加組数を指標としていましたが、H30から男性参加者数に改めたため、H28、H29の目標値はありません。						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	男性も参加しやすい家事・育児・介護等に関する各種講習会を開催し、男性の意識づくりをすすめる活動に取り組みます。							
04	予算事業名	母子健康相談・教育事業	【目標値の根拠】						
事業概要	育児に関する講演会等の開催								
男女共同参画での視点	夫婦そろって育児に参画できるよう、育児に関する教室や講演会を開催します。		男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課 (室)	子ども課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 男性も参加しやすい子育てに関する教室や講演会を開催します。 <p>パパママ準備教室 年4回 内容：市の制度紹介、マタニティリラクゼーション及び体操、擬似妊婦体験、座談会</p> <p>ニコニコ・ハッピー子育て講演会 年1回 内容：仕事と家庭の両立や育児制度、妊娠中と乳児の栄養の話、赤ちゃんとの関わり方や予防接種等について (小児科医師や言語聴覚士の話)</p>	教室講演会開催経費	115	<p>パパママ準備教室 年4回 会場：子育て支援センター 参加者数：64人(うち男性29名) 日程：5月13日(土) 9人(うち男性 3人) 8月19日(土) 15人(うち男性 7人) 11月11日(土) 14人(うち男性 6人) 2月24日(土) 26人(うち男性13人)</p> <p>ニコニコ・ハッピー子育て講演会 年1回 会場：子育て支援センター 参加者数：13人(うち男性2名) 日程：9月30日(土)</p>	70	<ul style="list-style-type: none"> 胎児の時から言語発達、予防接種のこと、医師による母子の医療知識の向上等、男女が共に育児を行う意識の向上を図りました。 男性の参加が増えており、出産や育児への関心が高くなっていると考えられます。 <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 夫婦での参加を勧めながら、育児に参加していく意識を高めていきます。
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と事業内容は変わりませんが、現在の支援体制を強化し、内容の充実を図ることで、男女が協力して育児に参画していく意識を高めていきます。 <p>パパママ準備教室 年4回 内容：市の制度紹介、マタニティリラクゼーション及び体操、擬似妊婦体験、座談会、(新規)育児教材の配布</p> <p>ニコニコ・ハッピー子育て講演会 年1回 内容：仕事と家庭の両立や育児制度、妊娠中と乳児の栄養の話、赤ちゃんとの関わり方や予防接種等について (小児科医師や言語聴覚士の話)</p>	教室講演会開催経費	187	<p>パパママ準備教室 年4回 会場：子育て支援センター 参加者数：64人(うち男性30名) 日程：5月12日(土) 19人(うち男性9人) 8月18日(土) 18人(うち男性9人) 11月10日(土) 7人(うち男性4人) 2月23日(土) 20人(うち男性8人)</p> <p>ニコニコ・ハッピー子育て講演会 年2回 会場：子育て支援センター 参加者数：33人(うち男性6名) 日程：9月29日(土)16人(うち男性3名) 3月16日(土)17人(うち男性3名)</p>	155	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの健やかな成長発達のために親としての心構えを持ち、男女協力して主体的に出産育児に取り組むことができるよう、育児に関する知識の普及を図りました。 応募人数が確保されたことで講演会は2回開催ができました。教室の男性参加率も維持されており、出産や育児の関心が高くなっていると感じています。 <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も、家族で協力して安心した子育てができるよう関係機関と協力しながら意識啓発を図ります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2019年度	<p>・前年度と事業回数等は変わりませんが、支援体制の強化及び内容を充実することで、出産や育児に対する不安軽減や男女が協力して育児に参画していく意識向上を図ります。</p> <p>パパママ準備教室 年4回 内容：市の制度紹介、マタニティリラクゼーション及び体操、擬似妊婦体験、座談会、(H30～)育児用品の配布</p> <p>ニコニコ・ハッピー子育て講演会 年2回 内容：ことばを育てる赤ちゃんとの関わり方 妊娠中と赤ちゃん期のお口のケア 病気時の時の食事等について等（言語聴覚士や歯科衛生士、管理栄養士）</p>	教室講演会開催経費	306	<p>会場：子育て支援センター 参加者数：54人（うち男性27名） 日程：5月11日（土）23人（うち男性11人） 8月24日（土）8人（うち男性4人） 11月9日（土）8人（うち男性4人） 2月29日（土）15人（うち男性8人）</p> <p>ニコニコ・ハッピー子育て講演会 年2回 会場：子育て支援センター 参加者数：49人（うち男性17名） 日程：7月6日（土）22人（うち男性7名） 1月25日（土）27人（うち男性10名）</p>	186	<p>・講演会、教室の男性参加率も維持されており、出産や育児の関心が高くなっていると感じています。男女が協力して主体的に出産育児に取り組むことにつながるものと考えます。</p>
				<p>今後の対策・取組の方向等</p> <p>・今後も、家族で協力して安心した子育てができるよう関係機関と協力しながら意識啓発を図ります。</p>		
2020年度	<p>・前年度と事業回数等は変わりませんが、支援体制の強化及び内容を充実することで、出産や育児に対する不安軽減や男女が協力して育児に参画していく意識向上を図ります。</p> <p>パパママ準備教室 年4回 内容：市の制度紹介、マタニティリラクゼーション及び体操、擬似妊婦体験、座談会、育児用品の配布</p> <p>ニコニコ・ハッピー子育て講演会 年2回 内容：ことばを育てる赤ちゃんとの関わり方 妊娠中と赤ちゃん期のお口のケア 病気時の時の食事等について等（言語聴覚士や歯科衛生士、管理栄養士）</p>	教室講演会開催経費	331	<p>会場：子育て支援センター 参加者数：66人（うち男性32名） 日程：7月4日（土）24人（うち男性12人） 8月22日（土）12人（うち男性6人） 11月14日（土）2人（うち男性1人） 2月27日（土）28人（うち男性13人）</p> <p>ニコニコ・ハッピー子育て講演会 年2回 会場：子育て支援センター 参加者数：39人（うち男性11名） 日程：10月31日（土）25人（うち男性7名） 3月13日（土）14人（うち男性4名）</p>	220	<p>・新型コロナウイルス感染症により、病院の教室が中止となっているため、市の教室参加が増えています。特にこれから親になる時期は男女が協力して主体的に出産育児に取り組むことにつながるものと考えます</p>
				<p>今後の対策・取組の方向等</p> <p>・今後も、家族で協力して安心した子育てができるよう教室や講演会の場を確保して、意識啓発を図ります。</p>		

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	認知症サポーター養成講座 新規男性参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	家庭における男女平等の意識づくり			78/-	79/-	207/80	63/85	3/90
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	家庭における男女平等についての理解を深めるための広報・啓発活動の推進	【実績に基づく数値】 H25男性参加者 41人 H26男性参加者 38人 H27男性参加者 66人 【目標値の根拠】 ・計画策定当初は、年間の参加人数を指標としていましたが、H30から男性参加者数に改めたため、H28、H29の目標値はありません。						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	男性も参加しやすい家事・育児・介護等に関する各種講習会を開催し、男性の意識づくりをすすめる活動に取り組みます。							
05	予算事業名	家族介護支援事業							
事業概要	在宅介護者の精神的負担軽減と人材の育成								
男女共同参画での視点	女性だけでなく、男性の介護へ参画する意識づくり		男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課 (室)	介護福祉課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 女性だけでなく、男性も認知症の方の介護に参画する意識づくりを進めるため、地区の集まりや学校等での認知症サポーター養成講座を開催します。 養成講座の回数について、市職員が講師となって実施することで、前年度よりも4回増やします。 会場は、申込した団体から希望のあった地区の集会所等を使用します。 開催回数 H29年6月～H30年3月全11回(予定)	リーフレット購入等	90	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座 11回 女性163人、男性79人、合計242人 6月16日(金) 守門中学校 24人 (うち男性7人) 7月3日(月) ボランティアセンター 25人 (うち男性6人) 7月13日(木) うかじ園 32人 (うち男性12人) 7月22日(土) 山田構造改善センター 24人 (うち男性8人) 8月23日(水) 北越銀行小出支店 17人 (うち男性9人) 10月12日(木) 湯之谷中学校 54人 (うち男性24人) 11月10日(金) ケアステーション雲雀ヶ丘 17人 (うち男性6人) 12月11日(月) 池平集落開発センター 9人 (うち男性2人) 1月17日(水) ボランティアセンター 13人 (うち男性2人) 2月16日(金) ウエルシア小出店 11人 (うち男性1人) 3月26日(月) 長島集落センター 16人 (うち男性2人) 	91	<ul style="list-style-type: none"> 参加者数では、H28 181人、H29 225人と伸びました。これは、実施回数を増やしたことや、広報に力を入れて、一般の受講者が増えたことと、介護保険事業者からの協力があつたことなどが原因だと考えられます。 参加者数は増えましたが、男性の参加者数は微増でした。
				今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> 男性参加者を更に増やすため、地域の茶の間等の地区の集まりだけでなく、民生委員協議会や校長会等で認知症サポーター養成講座の周知をします。 講座の講師となるキャラバンメイトを育成し、養成講座の回数を増やします。 		

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の講師となるキャラバンメイトを育成し、養成講座の回数を増やします。 ・養成に当たっては、全国キャラバン・メイト連絡協議会作成の認知症サポーター養成講座標準教材を使用していきます。 ・前年度よりも4回程度講座の回数を増やし実施します。 ・会場は、申込した団体から希望のあった地区の集会所等を使用します。 <p>開催回数 5月～10月 全15回(予定)</p>	リーフレット購入等	70	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座 18回 女性147人、男性207人、合計354人 5月15日(火) 小平尾集会センター 11人(うち男性0人) 5月18日(金) 守門健康センター 10人(うち男性7人) 5月26日(土) 東南地区稲荷コミュニティセンター 12人(うち男性5人) 6月 3日(日) 下新田集落開発センター 33人(うち男性18人) 6月11日(月) 地域振興センター(タクシー協会) 18人(うち男性13人) 6月13日(水) 地域振興センター(タクシー協会) 12人(うち男性12人) 6月19日(火) 地域振興センター(タクシー協会) 16人(うち男性13人) 6月21日(木) 地域振興センター(タクシー協会) 12人(うち男性11人) 6月27日(水) ほこん処(福山体育館) 18人(うち男性5人) 7月22日(日) うかじ園 5人(うち男性3人) 7月29日(日) 新保ふれあいセンター 37人(うち男性23人) 8月29日(水) 小出警察署 22人(うち男性21人) 10月3日(水) 湯之谷中学校(中学生対象) 48人(うち男性28人) 10月15日(月) 堀之内社会福祉センター 21人(うち男性15人) 10月19日(金) ケアステーション雲雀ヶ丘 13人(うち男性2人) 10月21日(日) 羽根川公民館 15人(うち男性8人) 10月28日(日) 立・桜又研修センター 14人(うち男性5人) 3月12日(火) 小出郵便局 37人(うち男性18人) 	34	<ul style="list-style-type: none"> ・男性が出席しやすい地区の集まりや、比較的男性の多い職場(タクシー会社、警察署、郵便局等)に働きかけたことで男性の参加者が増加しました。 ・認知症地域支援推進員が、民生委員協議会や校長会等、あらゆる機会を活用してサポーター養成講座の周知を行ったことが養成講座の開催希望の増加につながりました。
						<p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員協議会や校長会等、あらゆる機会を活用してサポーター養成講座の周知を継続します。 ・引き続き、認知症サポーター養成講座を開催します。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・女性だけでなく、男性も認知症の方の介護に参画する意識づくりを進めるため、地区の集まりや学校等での認知症サポーター養成講座を開催します。 ・養成に当たっては、全国キャラバン・メイト連絡協議会作成の認知症サポーター養成講座標準教材を使用していきます。 ・会場は、申込した団体から希望のあった地区の集会所等を使用します。 	リーフレット購入等	50	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座 9回 女性 63人、男性 63人、合計126人 7月3日(火) サポートセンターまちなかや 28人（うち男性8人） 7月27日(土) うかじ園 9人（うち男性5人） 8月4日(日) 佐梨コミュニティ協議会 7人（うち男性5人） 9月 19日(木) 湯之谷中学校 36人（うち男性24人） 10月8日(火) ケアステーション雲雀ヶ丘 5人（うち男性3人） 10月9日(水) 須原小学校 12人（うち男性6人） 10月26日(土) 立・桜又研修センター（ワーリヤの家） 4人（うち男性1人） 10月27日(日) 羽根川公民館(桜の園) 10人（うち男性3人） 11月9日(土) 越又集落開発センター 15人（うち男性8人） 	39	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度より回数及び受講人数が減少しましたが、2年間の平均受講人数（240人）は第7期介護保険事業計画に掲げる目標人数の200人を超えています。 ・男性が出席しやすい地区の集まりや小中学校での開催で、男性の受講人数が全体の半数となりました。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員協議会や校長会等、あらゆる機会を活用してサポーター養成講座の周知を継続します。 ・引き続き、認知症サポーター養成講座を開催します。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・女性だけでなく、男性も認知症の方の介護に参画する意識づくりを進めるため、地区の集まりや学校等での認知症サポーター養成講座を開催します。 ・ポスター等の掲示だけでなく、民生委員協議会や校長会等、あらゆる機会を活用してサポーター養成講座の周知を継続します。 ・第7期介護保険事業計画では、年間の受講人数の目標値を200人としています。 	リーフレット購入等	25	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座 1回 女性 9人、男性 3人、合計 12人 8月28日（金）守門地区民生・児童委員協議会 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座の開催は1回のみでした。参加者数も減少しました。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p>
						<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であり、多人数での認知症サポーター養成講座の開催が難しい状況であるため、今後は参加人数を少人数に絞り、開催回数を増やしていきます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	-	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	家庭における男女平等の意識づくり			-/-	-/-	-/-	-/-	-/-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	家庭における男女平等についての理解を深めるための広報・啓発活動の推進	【目標値の根拠】						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	市の広報・刊行物等における表現が、性別に基づく固定観念にとらわれないように配慮します。							
06	予算事業名	-	男女共同参画推進委員会からのご意見						
事業概要		市の広報・刊行物における表現の配慮							
男女共同参画での視点		市の広報や刊行物等における性別に基づく固定観念にとらわれない表現	平成30年第2回目事前協議 何か指標とできるか？点検作業の方法を記載してはどうか。						
推進課 (室)		全課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	・市のガイドラインは、内閣府男女共同参画局発行の「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」を基本に、まずは記事等作成担当課、その後に広報担当課において点検・確認を行うこととしており、引き続き対応します。	-	0	・市のガイドラインに従い、点検確認作業を実施しました。	0	<ul style="list-style-type: none"> ・固定的な性別役割分担意識に基づく表現などの改善の観点から、魚沼市ケーブルテレビ放送番組審議会の委員に女性を積極的に登用しています。H29は1名女性が退任しましたが、引き続き女性を登用し人数の維持を図りました。(H29現在、7人中女性3人) <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚沼市ケーブルテレビ放送番組審議会の委員の女性の数を維持できるように努める必要があります。 ・庁内のイントラネット掲示板を活用して、職員の男女共同参画の視点や意識向上のため、男女共同参画に係る情報の共有や意識啓発を図る必要があります。 ・職員間の情報共有により、男女共同参画の更なる醸成につなげます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のガイドラインに基づき、引き続き点検・確認を行うこととします。 ・今年度より、庁内のイントラネット掲示板を活用して、職員向けの男女共同参画情報を発信できるような環境整備を行います。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> ・市のガイドラインに基づいた点検と確認を行いました。 ・チェック体制を強化するため、入稿前の市報原稿を全課等に確認をお願いする作業を追加しました。 ・市と商店街が連携して行ったワーク・ライフ・バランスに関する活動を市報に掲載し、市民へ啓発しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・数値には表せない事業ですが、男女共同参画の意識を形成する大切な事業と捉え、点検と確認を行いました。 ・市民協働で行ったワーク・ライフ・バランスの啓発活動を市報に掲載できたことは成果と言えます。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度が魚沼市ケーブルテレビ放送番組審議会の委員の改選であり、女性の数を維持できるように努めます。 ・2020年は東京オリンピックがあり、「スポーツにおける女性の活躍」を一つのテーマとして考えます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のガイドラインに基づき、引き続き点検・確認を行います。 ・職員向けの男女共同参画情報を発信し、男女共同参画に関する職員の知識を深めます。 ・魚沼市ケーブルテレビ放送番組審議会の委員の選定にあたっては、固定的な性別役割分担意識に基づく表現などの改善の観点から意見できる委員構成とします。 ・社会における女性活躍を加速するための広報を行います。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> ・市のガイドラインに基づき、引き続き点検・確認を行いました。 ・魚沼市ケーブルテレビ放送番組審議会に複数の女性委員を選定し、男女の委員がそれぞれの視点で番組の構成や出演者の所作について意見を出してもらうことができました。 ・市報で父の日のイベントと併せたワーク・ライフ・バランス関連記事や、女性の活躍を取り上げました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・点検と確認を行うことで、適切な市報や刊行物等が発行できました。また、職員の意識づくりにも寄与しました。 ・市報で関連記事を取り上げることにより、性別にかかわらず能力に応じた平等な機会を与えることや、仕事と家庭の両立について、市民の意識の高揚を図ることができました。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き男女共同参画の意識を持ち、点検と確認を行います。 ・広報誌等で広く周知し、市民の男女平等の意識づくりに努めます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のガイドラインに基づき、引き続き点検・確認を行います。 ・適切な情報発信のため、職員向けの男女共同参画情報を発信し、男女共同参画に関する職員の知識を深めます。 ・仕事と生活の調和のとれた社会を実現するため、広報紙・ケーブルテレビ等で広く周知し、市民の意識づくりを図ります。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> ・市のガイドラインに基づき、引き続き点検・確認を行いました。 ・市報でワーク・ライフ・バランス関連記事や市民意識調査結果を公表し、男女共同参画に関する情報を発信しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・点検と確認を行い、適切な表現の市報等を発行することができました。 ・市報で男女共同参画に関する記事を掲載し、市民の意識づくりを図ることができました。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き男女共同参画の視点を意識しながら、点検と確認を行います。 ・適切な情報発信をするため、職員の男女共同参画に関する意識を高めるように努めます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	コミュニティ協議会 役員(三役とその他 役員)の女性の人数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための 重点を置く目標)	2	地域における慣習を改善する意識づくり			4/4	5/6	6/8	8/10	7/12
施策の方針 (上記達成のための 活動の方向づけ)	1	地域における男女平等の意識づくりをすすめるための広報・啓発活動の推進	【実績に基づく数値】 H28 14団体、役員数 56人 H29 15団体、役員数 60人 H30 15団体、役員数 60人 H31 15団体、役員数 60人 R2 15団体、役員数 60人	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための 取組み)	(1)	男女平等の視点に立った地域活動を支援するなど、意識啓発、女性の参画をすすめます。							
07	予算事業名	コミュニティ活動支援事業							
事業概要		コミュニティ協議会の活動の支援							
男女共同参画での視点		コミュニティ協議会の活動における女性の積極的な参加の促進							
推進課(室)		地域創生課							
			男女共同参画推進委員からのご意見						

年度	事業計画(男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果(男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価(成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の役員について、選定時に女性を積極的に選任するように働きかけます。 ・今年度は、新しいコミュニティ協議会の設立が予定されています。そのため、協議会の設立時は、特に女性役員誕生のチャンスと捉え、準備段階から積極的に女性役員の登用を呼びかけていきます。 ・役員だけでなく、コミュニティ協議会の活動において、女性の積極的な参加が図られるよう働きかけを行います。 	コミュニティ活動 助成事業 補助金	17,120	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度は、新たに1団体(伊米ヶ崎共和国)が設立されました。 ・コミュニティ協議会の役員について、準備段階から積極的に女性役員登用を呼びかけましたが、残念ながら新団体の役員に占める女性の人数は0人でした。 ・既存団体では女性役員が1名増えました。 	16,211	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに設立した団体について、女性が登用されなかった理由としては、設立までの準備段階において、女性の関りが無かったものと思われます。 ・既存団体での1名増は、普段からの団体の活動に継続的に関わって来たことが要因だと考えられます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・女性の登用は、いきなり行われるものではなく、日頃からの団体への関りが重要なことが分かったことから、普段の活動に対していかに女性の出番を作り関わってもらうか考え、取組を行います。 ・コミュニティ協議会が一堂に会する連絡協議会の場を活用し、女性役員がいる協議会の活動事例を紹介する等し、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進を図ります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の役員への登用は、日頃からの団体への関りが重要なことから、役員だけでなく、コミュニティ協議会の活動において、女性の積極的な参加が図られるよう働きかけを行います。 ・女性の目線を活かして地域課題の解決につなげられるよう活動を行えるよう団体に働きかけます。 ・これまで団体の活動に関わって来た女性については、積極的に女性役員の登用を呼びかけます。 ・コミュニティ協議会連絡協議会において、女性役員のいる協議会の活動事例を紹介する等、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進を図ります。 	コミュニティ活動 助成事業 補助金	13,665	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の全体会等を通じて、役員について積極的に女性役員登用を呼びかけました。結果、少しずつ女性役員の数も増えてきました。 ・既存団体では女性役員が1名増えました。 ・役員だけではなく、コミュニティ協議会の活動においては、PTAとの連携等により、少しずつではありますが女性の参加が増えてきました。 	15,316	<ul style="list-style-type: none"> ・既存団体での1名増は、普段からの団体の活動に継続的に関わって来たことが要因だと考えられます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・子供会やPTAなどの女性役員への呼びかけや、友人等を誘って複数での活動への参加を呼びかけ、女性が参加しやすい環境づくりを目指します。 ・コミュニティ協議会が一堂に会する連絡協議会の場を活用し、女性役員のいる協議会の活動事例や多くの女性が参加した取り組み事例を紹介し、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進、活動への参加促進を図ります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の役員への登用は、日頃からの団体への関りが重要なことから、役員だけでなく、コミュニティ協議会の活動において、女性の積極的な参加が図られるよう働きかけを行います。 ・女性の目線を活かして地域課題の解決につなげられるよう活動を行えるよう団体に働きかけます。 ・これまで団体の活動に関わって来た女性については、積極的に女性役員の登用を呼びかけます。 ・コミュニティ協議会連絡協議会において、女性役員のいる協議会の活動事例を紹介する等、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進を図ります。 	コミュニティ活動 助成事業 補助金	16,597	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の全体会等を通じて、役員について積極的に女性役員登用を呼びかけました。結果、少しずつ女性役員の数も増え、女性役員は8名となりました。 ・役員だけではなく、コミュニティ協議会の活動においては、PTAとの連携等により、少しずつではありますが女性の参加が増えてきました。結果的にはコミュニティ協議会の委員となっている女性は約85名となりました。 <p>聞こえてきた意見として（参考までに）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果的に少しずつ女性の参加が増えてきておりますが、積極的に会長や副会長として参画していくというよりは、陰で支えるという考えの方が強いようである。（そのような意見がありました） 	14,797	<ul style="list-style-type: none"> ・既存団体で女性役員が8名、委員が85名となりましたが、普段からの団体の活動に女性が継続的に関わって来たことが要因だと考えられます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・引続き子供会やPTAなどの女性役員への呼びかけや、友人等を誘って複数での活動への参加を呼びかけ、女性が参加しやすい環境づくりを目指します。 ・コミュニティ協議会が一堂に会する連絡協議会の場を活用し、女性役員のいる協議会の活動事例や多くの女性が参加した取り組み事例を紹介し、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進、活動への参加促進を図ります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のコミュニティ協議会の活動にとらわれず、コミュニティ協議会間での情報共有が行われ、女性の参加事例等が広く周知されることにより、役員だけでなく女性の積極的な参加が図られるよう働きかけを行います。 ・コミュニティ協議会連絡協議会において、会長等の役員だけでなく、役員以外の女性も参加できるような研修会、意見交換会などを開催する等、コミュニティ協議会の活動に興味を持ってもらえるような働きかけを行います。 ・これまで活動に関わって来た女性については積極的に女性役員への登用を呼びかけるとともに、周囲の女性にも声をかけてもらい、協議会活動に参加しやすい環境づくりを呼びかけます。 	コミュニティ活動 助成事業 補助金	18,667	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で総会の開催が減少し、女性への呼びかけを積極的に行えず、女性役員は1名減の7名となりました。女性委員については、PTAとの連携等により、1名増の86名となりました。 ・女性の参画によって多様な意見が飛び交うことで、地域の問題に対してより広い視野で考えることができるようになってきました。 ・女性委員が女性の知り合いを誘うことで、コミ協の認知度向上につながりました。 	15,349	<ul style="list-style-type: none"> ・役員は微減・委員は微増となりました。女性に向けて参加を促し、実際に関わっていただき理解が進んでいることが要因だと考えます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・引続き子供会やPTAなどの女性役員への呼びかけや、友人等を誘って複数での活動への参加を呼びかけ、女性が参加しやすい環境づくりを目指します。 ・コミュニティ協議会連絡協議会の場を活用し、女性役員のいる協議会の活動事例や、多くの女性が参加した取り組み事例を紹介し、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進と活動への参加促進を図ります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	研修会参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	3	働く場における男女平等の意識づくり			75/100	100/105	92/110	107/115	0/120
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	働く場における男女平等の広報・啓発活動の推進	【目標値の根拠】 総合計画の指標を基に設定。毎年度、5%の参加者数の増加を目指す。 【実績値】 H28 75人、H29 100人、H30 92人、R1 107人、R2 0人 対象:魚沼市内事業所の総務人事担当者、経営者、指導監督者、新入社員及び従業員 ※市内企業総数2,342社 H26経済センサス基礎調査の総事業所数 (不詳含まない数)						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	働く女性が男性と均等な扱いを受け、その能力を十分発揮し、幅広い分野で活躍することができるよう、「男女雇用機会均等法」の周知・啓発を行います。							
08	予算事業名	企業人材確保・育成支援事業 (旧 中小企業人材育成支援事業)			男女共同参画推進委員からのご意見				
	事業概要	企業の新たな人材の確保と社員の能力開発・育成支援							
	男女共同参画での視点	研修会等を通して「男女雇用機会均等法」の周知と男女平等の意識づくり							
	推進課 (室)	商工課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業所合同で新人研修会及び働き方やワークライフバランスの推進などの研修会を開催し、「男女雇用機会均等法」の周知を行い、男女平等の意識づくりを進めます。 【新入社員等合同研修会】 第1回 日時：4月7日 会場：ボランティアセンター 第2回 日時：4月27日 会場：小出郷福祉センター 【若者定着研修会】 日時：3月上中旬 会場：未定 	研修会開催費	650	【新入社員等合同研修会】 市内企業総数2,342社 参加企業数15社 第1回 日 時：4月7日 会 場：ボランティアセンター 参加者数：36人 第2回 日 時：4月27日 場 所：小出郷福祉センター 参加者数：36人 【若者定着研修会】 日 時：3月26日 会 場：ボランティアセンター 参加者数：28人	523	<ul style="list-style-type: none"> 新人合同研修会等において、参加者はグループワークを通じ男女平等の意識づくりを学ぶことができました。
				今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> 新入社員、入社後2～3年の若手社員を対象にしたこの研修会は、社会人として男女平等の意識づくりを啓発するには有効であること、また、一度に複数企業の従業員に対し啓発できることから、引き続き取組を進めます。 		

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<p>・各種研修会を開催し「男女雇用機会均等法」の周知を行うとともに、男女平等の意識に基づいた研修の運営を行います。</p> <p>【新入社員等合同研修会】 第1回 日時：4月6日 会場：ボランティアセンター 第2回 日時：4月25日 会場：ボランティアセンター 【若者定着研修会】 日時：3月上中旬 会場：未定</p>	研修会開催費	650	<p>【新入社員等合同研修会】 市内企業総数2,342社 参加企業数16社 第1回 日 時：4月6日 会 場：ボランティアセンター 参加者数：33人 第2回 日 時：4月25日 場 所：ボランティアセンター 参加者数：26人 【若者定着研修会】 日 時：3月26日 会 場：ボランティアセンター 参加者数：33人</p>	361	・新人合同研修会等において、参加者はグループワークを通じ男女平等の意識づくりを学ぶことができました。
						今後の対策・取組の方向等
						・新入社員、入社後2～3年の若手社員を対象にしたこの研修会は、社会人として男女平等の意識づくりを啓発するには有効であること、また、一度に複数企業の従業員に対し啓発できることから、引き続き取組を進めます。
2019年度	<p>・各種研修会を開催し「男女雇用機会均等法」の周知を行うとともに、男女平等の意識に基づいた研修の運営を行います。</p> <p>【新入社員等合同研修会】 第1回 日時：4月5日 会場：ボランティアセンター 第2回 日時：4月22日 会場：ボランティアセンター 【新入社員等合同研修会（まとめ研修）】 日時：3月 会場：未定</p>	研修会開催費	594	<p>【新入社員等合同研修会】 市内企業総数2,342社 参加企業数29社 第1回 日 時：4月5日 会 場：ボランティアセンター 参加者数：41人 第2回 日 時：4月22日 場 所：ボランティアセンター 参加者数：39人 【採用対策セミナー】 日 時：10月30日 会 場：ボランティアセンター 参加者数：20人 【採用戦略構築セミナー】 日 時：1月23日 会 場：ボランティアセンター 参加者数：7人</p>	982	・これまで行ってきた新人合同研修会だけでなく、採用に係る関係者に対するセミナーも実施することで、男女平等の意識が高い企業の方が求職者が集まることを理解してもらい、社内での男女平等の意識づくりに繋げてもらうことができました。
						今後の対策・取組の方向等
						・企業に対しては、あらゆる角度から男女平等の意識啓発に繋げるとともに、企業にとってのメリットを認識してもらうことで、企業の主体的かつ積極的な活動に繋げてもらえるよう取組を進めます。
2020年度	<p>・各種研修会を開催し「男女雇用機会均等法」の周知を行うとともに、男女平等の意識に基づいた研修の運営を行います。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、大幅なスケジュールの変更となりました。</p> <p>【新入社員等合同研修会】 第1回（ビジネスマナー） 日時：4月上旬 → 開催未定 会場：未定 第2回（タイムマネジメント） 日時：4月下旬 → 開催未定 会場：未定 第3回（フォローアップ） 日時：3月 → 開催未定 会場：未定</p>	研修会開催費	660	・新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。	0	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会受講者の募集まで行いましたが、結果的に中止せざるを得ませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						・研修趣旨からすると対面型が望ましいものの、Zoom等によるオンライン型や併用するハイブリット型も視野に入れつつ開催を目指します。その上で、研修を通じ新入社員等へ機会均等の意識付けができるようなカリキュラム設定に努めることとします。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり		指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	H30～道徳授業及び性指導等における「男女平等・男女共同参画」に関する授業回数	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	4	学びの場における男女平等の意識づくり		—	—	小学校 107/36 中学校 68/34	小学校 112/36 中学校 159/31	小学校 146/36 中学校 203/31
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	学校教育の場における男女平等の意識づくりをすすめるための教育の充実		点	3.5/4	3.5/4	—	—
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	人権学習を基礎とした男女平等意識を育む教育を推進します。	(～H29) 人権教育児童生徒アンケートの平均値 (3以上肯定的回答)					
09	予算事業名	各学校教育振興事業 人権教育総合推進地域事業 (H27～29)		【実績に基づく数値】 ・道徳授業等における男女平等・性差別に関する授業回数 (小学校4年生以上) とする。				
	事業概要	小中学校の道徳授業において「男女平等・性差別」に関係した授業を実施 人権学習の中で性別に関係なく全ての人が平等であるという意識の醸成を図る		【目標値の根拠】				
	男女共同参画での視点	学習指導要領に基づいた男女平等教育の実施		男女共同参画推進 委員からのご意見				
	推進課 (室)	学校教育課						

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	1. 学習指導要領に基づいた男女平等教育の実施 2. 人権研修会等の開催 ・平成27年度から平成29年度の3ヶ年で文部科学省の委託事業として人権教育を行っており、今年度が最終年度です。 ・堀之内中学校区 (3校) を推進地域とし、一人一人を大切に教育を充実させるため、学校・家庭・地域の連携を図りました。 ・学校での人権教室 1回/学校 ・親子人権学習会 1回/学校	講師謝金	626	1. 各学校の教育計画に基づき男女平等教育を実施しました。 2. 人権学習会等の開催 学校での人権教室 3学校各1回 計3回 親子人権教育授業公開 1学校3回 計3回	597	・2年目 (H28) に向上したアンケートの平均値が3年目も維持されました。
						今後の対策・取組の方向等 ・これまでの3年間の取組により、学校教育における人権教育の基盤づくりが進められました。人権教育総合推進事業は今年度で終了しますが、堀之内地区人権宣言の実現に向け学校、保護者、地域が連携して今後も取り組んでいきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由	
2018年度	・小中学校の道徳授業において「男女平等・性差別」に関係した授業を実施します。	各学校予算範囲内で実施	-	男女平等教育等に関係した授業実施時間数（小学校4年生以上）	-	・総時間数から算定した実施率は、小学校2.89時間/学級、中学校2.34時間/学級であった。 ・授業は、道徳授業の他にも保健・社会科・総合学習の授業においても関係した学習が実施しました。	
				小学校 9校（学級数37）		道徳55時間 性指導36時間 総合学習16時間	今後の対策・取組の方向等
				中学校 6校（学級数29）		道徳33時間 性指導16時間 総合学習19時間	・今後も学校教育において、男女平等の意識づくりをするための学習を行います。
2019年度	・小中学校の道徳授業において「男女平等・性差別」に関係した授業を実施します。また、授業実施回数（小学校4年生以上）調査を実施します。	各学校予算範囲内で実施	-	男女平等教育等に関係した授業実施時間数（小学校4年生以上）	-	・総時間数から算定した実施率は、小学校3.61時間/学級、中学校5.80時間/学級であった。 ・授業は、道徳授業の他にも保健・社会科・総合学習の授業においても関係した学習が実施しました。	
				小学校 9校（学級数36）		道徳38時間 性指導34時間 総合学習40時間	今後の対策・取組の方向等
				中学校 6校（学級数31）		道徳44時間 性指導42時間 総合学習73時間	・今後も学校教育において、男女平等の意識づくりをするための学習を行います。
2020年度	・小中学校の道徳授業において「男女平等・性差別」に関係した授業を実施します。また、授業実施回数（小学校4年生以上）調査を実施します。	各学校予算範囲内で実施	-	男女平等教育等に関係した授業実施時間数（小学校4年生以上）	-	・総時間数から算定した実施率は、小学校4.97時間/学級、中学校8.37時間/学級であった。 ・授業は、道徳授業の他にも保健・社会科・家庭科・人権教育などの授業においても関係した学習を実施しました。	
				小学校 9校（学級数37）		道徳 42時間 性指導 43時間 総合学習 61時間 その他 38時間	今後の対策・取組の方向等
				中学校 6校（学級数27）		道徳 39時間 性指導 29時間 総合学習 135時間 その他 23時間	・今後も学校教育において、男女平等の意識づくりをするための学習を行います。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	H30～道徳授業及び性指導等における「男女平等・男女共同参画」に関する授業回数	回	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	4	学びの場における男女平等の意識づくり			-	-	小学校 107/36 中学校 68/34	小学校 112/36 中学校 159/31	小学校 146/36 中学校 203/31
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	学校教育の場における男女平等の意識づくりをすすめるための教育の充実			男女平等教育の授業実施 学校数	校	実態把握	15/15	-
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	社会状況と発達段階に応じた性教育を実施します							
10	予算事業名	各学校教育振興事業	【実績に基づく数値】 ・道徳授業等における男女平等・性差別に関する授業回数（小学校4年生以上）とする。						
	事業概要	小中学校の性指導等において男女平等教育に関係した授業を実施	【目標値の根拠】						
	男女共同参画での視点	学習指導要領に基づいた男女平等教育の実施	男女共同参画推進 委員からのご意見						
	推進課 (室)	学校教育課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	学習指導要領に基づいた男女平等教育の実施	各学校予算範囲内 で実施	-	<ul style="list-style-type: none"> 性に関する学校別・学年別の指導計画を策定し、計画に沿った性教育、指導を実施しました。男女の性差や体のしくみについての正しい理解を進めるとともに、子どもたちが性別に関係なく自分の将来の展望を具体的に考えることができるように支援しました。 生活科、家庭科、体育等各教科の授業や養護教諭を講師としての授業を全児童生徒を対象に行いました。 外部講師を招いての授業を中学3年生を対象に行いました。 	-	各学校が性指導等を行なう中で男女平等教育を実施しました。
						今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> 学校養護教諭が市、保健所と情報共有し、問題点を話し合える機会を持つことで、個別の学校では対応できなかったことにも取り組めるよう、関係機関との連携体制を強化していきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由	
2018年度	・性に関する学校別・学年別の指導計画を策定し、計画に沿った性教育、指導を実施する中で男女平等社会について学習を進め、子どもたちが家庭や社会の一員として適切な判断や意思決定ができる能力や態度を育てます。	各学校予算範囲内で実施	—	男女平等教育等に関係した授業実施時間数（小学校4年生以上）	—	・総時間数から算定した実施率は、小学校2.89時間/学級、中学校2.34時間/学級でした。	
				小学校9校（学級数37）		道徳55時間 性指導36時間 総合学習16時間	・授業は、道徳授業の他にも保健・社会科・総合学習の授業においても関係した学習が実施されました。
				中学校6校（学級数29）		道徳33時間 性指導16時間 総合学習19時間	今後の対策・取組の方向等
						・今後も学校教育において、男女平等の意識づくりをするための学習を行います。	
2019年度	・小中学校の道徳授業において「男女平等・性差別」に関係した授業を実施します。また、授業実施回数（小学校4年生以上）調査を実施します。	各学校予算範囲内で実施	—	男女平等教育等に関係した授業実施時間数（小学校4年生以上）	—	・総時間数から算定した実施率は、小学校3.61時間/学級、中学校5.80時間/学級でした。	
				小学校9校（学級数36）		道徳38時間 性指導34時間 総合学習40時間	・授業は、道徳授業の他にも保健・社会科・総合学習の授業においても関係した学習を実施しました。
				中学校6校（学級数31）		道徳44時間 性指導42時間 総合学習73時間	今後の対策・取組の方向等
						・今後も学校教育において、男女平等の意識づくりをするための学習を行います。	
2020年度	・小中学校の道徳授業において「男女平等・性差別」に関係した授業を実施します。また、授業実施回数（小学校4年生以上）調査を実施します。	各学校予算範囲内で実施	—	男女平等教育等に関係した授業実施時間数（小学校4年生以上）	—	・総時間数から算定した実施率は、小学校4.97時間/学級、中学校8.37時間/学級であった。	
				小学校9校（学級数37）		道徳 42時間 性指導 43時間 総合学習 61時間 その他 38時間	・授業は、道徳授業の他にも保健・社会科・家庭科・人権教育などの授業においても関係した学習を実施しました。
				中学校6校（学級数27）		道徳 39時間 性指導 29時間 総合学習 135時間 その他 23時間	今後の対策・取組の方向等
						・今後も学校教育において、男女平等の意識づくりをするための学習を行います。	

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	キャリア教育実施した授業回数	回	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	4	学びの場における男女平等の意識づくり			-	-	小学校 3/36 中学校 23/34	小学校 14/36 中学校 18/31	小学校 27/35 中学校 20/27
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	学校教育の場における男女平等の意識づくりをすすめるための教育の充実							
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(3)	多様な進路選択を支援する職場体験やインターンシップの実施を推進します。	【実績に基づく数値】 ・平成30年度からはキャリア教育実施した授業回数（小学校4年生以上）とする。※最低でも1クラス1回						
11	予算事業名	総合学習支援事業	【目標値の根拠】						
事業概要		各地域で活躍する方を講師とする授業や職場体験学習の実施							
男女共同参画での視点		職場見学や「名人」などの匠の技に触れさせる等、男女の性別にとらわれない多様な選択ができるようなキャリア教育を行います。	男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課 (室)		学校教育課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の年間指導計画を策定し、職場見学や「名人」などの匠の技に触れさせる等の体験学習等を通して、性別にとらわれない多様な職業選択ができるようなキャリア教育を実施します。 小学校 1校 中学校 1校	各学校予算範囲内で実施	-	<ul style="list-style-type: none"> ・広神東小学校では、全学年を対象に、県教育委員会作成のキャリア教育DVDを使い、性別にとらわれない自由な職業選択など将来について考える機会としました。 また、社会科での職場見学や総合学習での「名人」などの匠の技に触れさせる体験等、学年ごとの学習や活動とも関連付けて取組みました。 ・入広瀬中学校では、MSG「未来を創造(想像)する学習」として1年間を通して様々なキャリア学習を実施しました。体験学習として1年生は職場見学、2年生は3日間の職場体験、3年生は上級学校訪問を行いました。 職場体験では、性別にとらわれず、幅広い職種から自分で体験先を選び実施しました。 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・各校ともに、性別にとらわれず、児童生徒が興味を持つ多様な職業を体験させることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来に対する夢や職業に対する希望を大切に、男女の性別にとらわれない多様な選択ができるように意識しながら引き続きキャリア教育を進めます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 （千円）	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 （千円）	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の年間指導計画を策定し、体験学習等を実施します。 ・児童生徒が多様な人々との関わりや豊かな体験が持てるよう取り組み、性別にとらわれず進路を選択できるよう支援します。 ・性別にとらわれない家庭内での役割分担や地域活動の場でも共同参画の機会が得られるよう、学校での取組を家庭や地域へ発信し、連携していきます。 	各学校予算範囲内で実施	—	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職種の人にふれ、地域で働く人々が工夫していることや大切にしていることを聞き、自分の生き方に生かすことを目的に職場体験学習を実施しました。（伊米小、西小、入小、堀中、小出中、湯中、広中、守中） ・職場体験に先立ち、性別にとらわれない、節度を持った接遇の基礎を学ぶためのビジネスマナー講習会を実施しました。（堀中、広中） 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・取組を実施した学校では、性別にとらわれず、自分の生き方について考え、多様な職業を体験させることができ、また、一部の学校では接遇のマナーを身につけさせることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方について考え、性別に関係なく職業を選択し、夢に向かって努力する子どもたちを育てるため、引き続きキャリア教育を進めます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の年間指導計画を策定し、体験学習等を実施します。 ・児童生徒が多様な人々との関わりや豊かな体験が持てるよう取り組み、性別にとらわれず進路を選択できるよう支援します。 ・性別にとらわれない家庭内での役割分担や地域活動の場でも共同参画の機会が得られるよう、学校での取組を家庭や地域へ発信し、連携していきます。 	各学校予算範囲内で実施	—	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職種の人にふれ、地域で働く人々が工夫していることや大切にしていることを聞き、自分の生き方に生かすことを目的に職場体験学習を実施しました。 各校の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・夢を持って働く人のインタビュー（入小） ・キャリア教育DVD鑑賞（小出小、小出中） ・キャリアカウンセリングシートの作成（小出小） ・地域探検（伊米小ほか） ・市内の様々な職業の見分、将来の職業について考える（伊米小） ・男女平等教育全体計画の策定と取組（堀小） ・職場訪問、職場体験（北中ほか） ・地域の産業調べ（湯中） ・職業講話（小出中ほか） ・起業体験（堀中） 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・取組を実施した学校では、性別にとらわれず、自分の生き方について考え、多様な職業を体験させることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方について考え、性別に関係なく職業を選択し、夢に向かって努力する子どもたちを育てるため、引き続きキャリア教育を進めます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育、外国人留学生との交流などの年間指導計画を策定し、体験学習等を実施します。 ・児童生徒が多様な人々との関わりや豊かな体験が持てるよう取り組み、性別にとらわれず進路を選択できるよう支援します。 ・性別にとらわれない家庭内での役割分担や地域活動の場でも共同参画の機会が得られるよう、学校での取組を家庭や地域へ発信し、連携していきます。 	各学校予算範囲内で実施	—	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職種の人にふれ、地域で働く人々が工夫していることや大切にしていることを聞き、自分の生き方に生かすことを目的に職場体験学習を実施しました。 各校の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・職業調べ、職業人へのインタビュー（入小ほか） ・キャリア教育DVD鑑賞、キャリアカウンセリングシートの作成（小出小ほか） ・将来の職業について考える、田植え・稲刈りの職場体験（伊米小ほか） ・地域の産業調べ、地域の職業講話（堀小ほか） ・新潟の名工を講師とした体験活動と講話、高齢者施設等職場体験（湯小） ・まちの仕事発見塾、上級学校調べ（堀中ほか） ・出張土木講話（湯中） ・職業講話、進路説明会（北中ほか） 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・取組を実施した学校では、性別にとらわれず、自分の生き方について考え、多様な職業を体験させることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方について考え、性別に関係なく職業を選択し、夢に向かって努力する子どもたちを育てるため、引き続きキャリア教育を進めます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	hyper-QU調査の割合が70%以上となる学級の割合	%	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	4	学びの場における男女平等の意識づくり			72/-	76/73	80/74	76/75	68/75
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	学校教育の場における男女平等の意識づくりをすすめるための教育の充実	【実績に基づく数値】 ※H28は実態把握としたため、目標値なし ・H28年度のQ-U調査の割合が70%以上となる学級の割合81.1% ・11人以下の少人数判定の学級を除いた割合 72% ・H29年度のQ-U調査の割合が70%以上となる学級の割合79.6% ・11人以下の少人数判定の学級を除いた割合 76.8% ・H30年度のQ-U調査の割合が70%以上となる学級の割合88.7% ・R1年度のQ-U調査の割合が70%以上となる学級の割合75.8% ・11人以下の少人数判定の学級を除いた割合 75.8% ・R2年度のQ-U調査の割合が70%以上となる学級の割合65.3% ・11人以下の少人数判定の学級を除いた割合 68.1%						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(4)	男女平等意識の醸成や男女共同参画の促進を図るための教職員研修を充実します。							
12	予算事業名	学級づくり支援事業	【目標値の根拠】						
	事業概要	温かい学級づくりのための教職員研修の実施							
	男女共同参画での視点	性別に関係なくお互いを認め合う「親和的な学級」づくりを各学校が着実に実施できるよう、教職員を対象とした教職員全員研修を実施する	男女共同参画推進委員からのご意見						
	推進課 (室)	学校教育課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> お互いを認め合う「親和的な学級」づくりを各学校が着実に実施できるよう、教職員を対象とした教職員全員研修を実施します。 ※「温かい学級」 魚沼市が目指す理想の学級 「親和的な学級」 hyper-QU調査において性別に関係なくお互いを認め合う人間関係が築かれており子どもにとって居心地の良い状態の学級 	研修会経費	160	<ul style="list-style-type: none"> 教職員を対象とした研修として、「温かい学級づくりに関する研修」「授業力向上研修」「課題別研修会」を行いました。 温かい学級づくりに関する研修 4回 授業力向上研修 1回 課題別研修会 2回 「温かい学級づくり自校プラン」実践のため校内チームで協働して取組みました。 中学校区ごとの実践発表会を行い、保護者・地域・関係機関に実践と成果を発信しました。 	263	<ul style="list-style-type: none"> 各校で「温かい学級づくり自校プラン」を作成し、プランに基づく取組を推進するとともに、中学校区単位に実践発表会や研修会を実施しました。その結果、親和的な学級集団の出現率が小学校、中学校ともに良好な数値といわれる70%以上で安定しており、性別に関係なくお互いを認め合う「親和的な学級」づくりが定着してきています。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 各校で「温かい学級づくり自校プラン」を作成し、プランに基づく取組を推進するとともに、中学校区単位に実践発表会や研修会を実施しました。その結果、親和的な学級集団の出現率が小学校、中学校ともに良好な数値といわれる70%以上で安定しており、性別に関係なくお互いを認め合う「親和的な学級」づくりが定着してきています。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・温かい学級づくりは、性別に関係なくお互いを認め合う「親和的な学級」づくりを目指しています。この取組を各学校が着実に実施できるように、教職員を対象とした「温かい学級づくりに関する研修」を実施し、取組の成果を把握するためにhyper-QU調査を実施します。 	研修会 経費	390	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員を対象とした研修として、「温かい学級づくりに関する研修」「授業力向上研修」「課題別研修会」を行いました。温かい学級づくりに関する研修 4回 授業力向上研修 1回 課題別研修会 2回 ・「温かい学級づくり自校プラン」実践のため校内チームで協働して取組みました。 ・全中学校区で、実践発表会、モデル指定校発表会を行い、保護者・地域・関係機関に実践と成果を発信しました。 ・市報で、温かい学級づくりの成果を市民に周知しました。 	370	<ul style="list-style-type: none"> ・各校で「温かい学級づくり自校プラン」を作成し、プランに基づく取組を推進するとともに、中学校区単位に実践発表会や研修会を実施しました。その結果、親和的な学級集団の出現率が小学校、中学校ともに良好な数値といわれる70%以上で安定しており、性別に関係なくお互いを認め合う「親和的な学級」づくりが定着してきています。
						今後の対策・取組の方向等
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「親和的な学級集団」とは、「いじめがなく、すべての児童生徒が学級生活・活動を楽しみ、学級内に親和的で支持的な人間関係が確立している」「すべての児童生徒が意欲的に、自主的に学習や学級の諸々の活動に取り組んでいる」などの状態を言います。したがって、性別に関係なくお互いを認め合い、良好な人間関係を育む「親和的な学級」づくりに継続して取り組めます。取組を各学校が着実に実施できるように、教職員を対象とした「温かい学級づくりに関する研修」を実施し、取組の成果を把握するためにQ-U調査を実施します。 	研修会 経費	370	<ul style="list-style-type: none"> ・教育フォーラム2019を開催し、市民及び県内外の教育関係者に温かい学級づくり支援事業の取組を発信しました。また、「温かい学級づくりに関する研修」「授業力向上研修」「課題別研修会」を行いました。 ・市報で、2019年度の温かい学級づくりの成果を市民に周知しました。 ・性別に関係なく、お互いに認め合い、良好な人間関係を育む「親和的な学級づくり」を目指し、教職員対象に「温かい学級づくりに関する研修」「授業力向上研修」「課題別研修会」を実施しました。 ・「温かい学級づくり自校プラン」をもとに、各校で学級づくりに取り組みました。 ・インターネットを用いて即時に結果が得られるWEBQUに湯之谷小学校で取り組みました。 	370	<ul style="list-style-type: none"> ・教育フォーラム2019には、300人を超える参加があり、9割を超える参加者から肯定的評価を得ました。また、広く市民に周知することができました。 ・親和的な学級集団の出現率は、前年度を10ポイント下回りました。小学校低学年の学級づくりへの手立てが必要であることが明らかになりました。
						今後の対策・取組の方向等
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・温かい学級づくり支援事業で目指している「親和的な学級集団」とは、性別に関係なくお互いに認め合い、良好な人間関係を育む学級集団です。外部評価委員をはじめ市民から継続して取り組んでほしいという要望が上がっています。引き続き、教職員を対象にした温かい学級づくりに関する研修を実施し、取組の成果を把握するためにWEBQU調査を実施します。 	研修会 経費	302	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、研修会を実施できませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症防止のため、県外講師を招聘しての研修会を実施できませんでした。 ・インターネットを用い、即時対応できるWEBQUを全市で実施しました。「親和的な学級集団」の出現率が減少しており、Q-Uの有効活用を図る必要があります。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・リモートを活用した教職員の研修会を実施するとともに、WEBQU調査を実施し即時性を生かした対応により、全学級で「温かい学級づくり」を目指していきます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	家庭教育等に関する講座等の延べ男性参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	4	学びの場における男女平等の意識づくり			-/-	124	99/40	133/125	7/130
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	生涯学習の場における男女平等の意識づくり	【実績に基づく数値】 H28実績 9回 参加者1,063人 H29実績 8回 参加者1,007人 (うち男性124人) H30実績 14回 参加者1,367人 (うち男性99人) R1実績 17回 参加者880人 (うち男性133人) R2実績 2回 参加者290人 (うち男性参加者7人)	【目標値の根拠】 ・H29から男性参加者数の把握を開始しましたので、実績値が確定した後に目標値を設定しました。 ・H30日本PTA全国研究大会新潟大会の実施に伴い、男性参加者が多く見込める市PTA連絡協議会講演会が行えず、市外で行われる講演会に参加することとなったため、参加人数の把握が困難なことから、その分の目標値を下げています。					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	公民館等において、男女共同参画社会への意識づくりと実践を促す各種講座 (男性も参加しやすい家事・育児等に関する各種講習会等) を開催します。							
13	予算事業名	【再掲】家庭教育事業 (事業No02と同じ)							
事業概要	家庭教育等に関する講座や学習会等の開催及び支援								
男女共同参画での視点	家庭における男女平等についての理解を深める講座を開催及び支援することで啓発活動につなげます。		男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課 (室)	生涯学習課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、家庭における男女平等についての理解を深める講座を開催及び支援することで啓発活動につなげます。 PTA事業の支援に当たっては、男女共同参画に資する要素を取入れてもらうよう働きかけて行きます。 今年度より新規に家庭教育講座を実施し、家庭における男女平等について理解を深める啓発活動の幅を広げます。 <p>【ぶちぶつくらぶ】1回 開催：10月 対象：未就学児とその親 (定員50人) 内容：芋ほり (親子で自然に触れ合う体験)</p> <p>【子ども育み講座事業】4回 (予定) 対象：市内小中学校PTA、子育て支援団体 内容：主催団体と連携し、講演会や学習会等の支援を行う。</p> <p>【市立幼稚園・保育園PTA保護者会学習支援事業】4回 (予定) 対象：市内幼稚園・保育園PTA保護者会 内容：主催団体と連携し、講座や学習会等の支援を行う。</p> <p>【家庭教育講座】全3回…《新規》 開催：夏頃 対象：市内の保護者向け (定員30人) 内容：親が安心して子育てや家庭教育を行えるよう支援する講座を実施</p>	講座開催経費	458	<p>【ぶちぶつくらぶ】 ※参加：21人 (うち男性3人)</p> <p>【子ども育み講座事業】 ・広神地区PTA講演会 演題：～子どものやる気と自立～育てるコツを教えます</p> <p>・入広瀬地区PTA講演会 内容：食育に関する講演会</p> <p>・小出小学校PTA保護者学習会</p> <p>・堀之内中学校PTA講演会 演題：成長するための思春期の過ごし方</p> <p>・とんとんお話の部屋人形劇 内容：ひとみ座人形劇</p> <p>・絵本の家ゆきぼうし家庭教育講座 演題：絵本のよここびをわかちあう ※参加：970人 (うち男性56人)</p> <p>【市立幼稚園・保育園PTA保護者会学習支援事業】 ・ふたば東保育園親子おたのしみ会 ・ふたば西保育園親子教室 ・すもんこども園親子遊び ・伊米ヶ崎保育園親子運動教室 ※参加：349人 (うち男性34人)</p> <p>【家庭教育講座】全3回…《新規》 ※参加：27人 (うち男性6人)</p>	322	<ul style="list-style-type: none"> 講座の内容や開催方法を工夫し、家庭における男女平等についての理解を深める啓発活動につなげました。 H30は予定より多くの講座を実施できた事業があったこと、また新規の講座事業を実施したことにより、参加者総数は前年度より多くなりました。 <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 男性の参加を促すため、親子や夫婦など家庭全体で参加しやすい講座等を企画し、男女平等の意識を啓発していきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 （千円）	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 （千円）	評価（成果等）・増減等の理由
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、家庭における男女平等についての理解を深める講座を開催及び支援することで啓発活動につなげます。 P T A事業の支援に当たっては、男女共同参画に資する要素を取入れてもらうよう働きかけて行きます。 昨年度実施した家庭教育講座を継続実施し、また、今年度より新規で家庭教育支援チームと連携した講座を開催することで、家庭における男女平等について、理解を深める啓発活動の幅を広げます。 <p>【ぶち♪トトくらぶ】1回 対象：未就学児とその親（定員50人） 内容：芋ほり（親子で自然に触れ合う体験）</p> <p>【子ども育み講座事業】4回 対象：市内小中学校P T A、子育て支援団体 内容：主催団体と連携し、講演会や学習会等の支援を行う。</p> <p>【市立幼稚園・保育園P T A保護者会学習支援事業】3回 対象：市内幼稚園・保育園P T A保護者会 内容：主催団体と連携し、講座や学習会等の支援を行う。</p> <p>【家庭教育講座】全3回 対象：市内の保護者向け（定員30人） 内容：親が安心して子育てや家庭教育を行えるよう支援する講座を実施</p> <p>【家庭教育支援チーム連携講座】全6回…〈新規〉 対象：市内の保護者向け（定員10人） 内容：子育てレッスン</p>	講座開催 経費	571	<p>【ぶち♪トトくらぶ】 ※クマの出演により中止</p> <p>【子ども育み講座事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚沼市P T A連絡協議会研修大会 演題：肯定から始まる笑い前向きに生きるヒント 小出小学校P T A保護者学習会 内容：家庭教育に関する講座 堀之内中学校P T A講演会 演題：山脇充の人生いっすねー！ ※参加606人（うち男性110人） <p>【市立幼稚園・保育園P T A保護者会学習支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐梨保育園保護者会研修会 ふたば西保育園親子運動教室 すもんこども園親子運動遊び ※参加210人（うち男性20人） <p>【家庭教育講座】全3回 参加（全3回計）：39人（うち男性3人）</p> <p>【家庭教育支援チーム連携講座】全7回…〈新規〉 参加（全7回計）：延べ25人（うち男性0人）</p>	401	<p>・講座の内容や開催方法を工夫し、家庭における男女平等についての理解を深める啓発活動につなげました。</p> <p>・R1は市内での熊の出没や新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していたイベント等を中止したことにより、参加者総数は前年度より大きく減少しましたが、男性の参加し易い内容だったからか、男性参加者数は目標値を上回ることができました。</p>
						今後の対策・取組の方向等
						<p>・男性の参加を促すため、親子や夫婦など家庭全体で参加しやすい講座等を企画し、男女平等の意識を啓発していきます。</p>
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、家庭教育等に関する講座や学習会等の開催及び支援を行います。 P T A事業の支援に当たっては、男女共同参画に資する要素を取入れてもらうよう働きかけて行きます。 家庭教育講座についても継続実施とし、また、昨年度、新規で家庭教育支援チームと連携した講座を開催することで、家庭における男女平等について、理解を深める啓発活動の幅を広げます。 <p>【ぶち♪トトくらぶ】1回 対象：未就学児とその親（定員50人） 内容：芋ほり（親子で自然に触れ合う体験）</p> <p>【子ども育み講座事業】6回（予定） 対象：市内小中学校P T A、子育て支援団体 内容：主催団体と連携し、講演会や学習会等の支援を行う。</p> <p>【市立幼稚園・保育園P T A保護者会学習支援事業】4回（予定） 対象：市内幼稚園・保育園P T A保護者会 内容：主催団体と連携し、講座や学習会等の支援を行う。</p> <p>【家庭教育講座】全3回 対象：市内の保護者向け（定員30人） 内容：親が安心して子育てや家庭教育を行えるよう支援する講座を実施</p> <p>【家庭教育支援チーム連携講座】全7回 対象：市内の保護者向け（定員10人） 内容：子育てレッスン</p>	講座開催 経費	701	<p>【ぶち♪トトくらぶ】 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度計画なし。</p> <p>【子ども育み講座事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚沼市P T A連絡協議会研修大会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 小出小学校P T A保護者学習会 内容：家庭教育に関する講座 日時：R2.10.29 会場：小出小学校 参加：70人（うち男性5人） 堀之内中学校P T A講演会 演題：「世界一周旅日記」 日時：R2.10.29 会場：堀之内中学校 参加：220人（うち男性2人） とんとんお話の部屋人形劇 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>【市立幼稚園・保育園P T A保護者会学習支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふたば東保育園親子お楽しみ会 日時：R2.6.13 会場：ふたば東保育園 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ふたば西保育園親子運動教室 日時：R2.6.20 会場：ふたば西保育園 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 <p>【家庭教育講座】 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度計画中止</p> <p>【家庭教育支援チーム連携講座】 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度計画中止</p>	234	<p>・講座の内容や開催方法を工夫し、家庭における男女平等についての理解を深める啓発活動につなげました。</p> <p>・R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していた講座事業等の多くを中止したことにより、参加者総数は前年度より大きく減少しました。</p>
						今後の対策・取組の方向等
						<p>・男性の参加を促すため、親子や夫婦など家庭全体で参加しやすい講座等を企画し、男女平等の意識を啓発していきます。</p>

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	延べ男性参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	4	学びの場における男女平等の意識づくり			21/20	22/25	20/30	15 /35	0/40
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	生涯学習の場における男女平等の意識づくり	【実績に基づく教値】 H28実績 4講座 延べ21回 参加者283人 (うち男性21人) H29実績 4講座 延べ18回 参加者261人 (うち男性22人) H30実績 5講座 延べ22回 参加者267人 (うち男性20人) 2019実績 5講座 延べ16回 参加者174人 (うち男性15人) 2020実績 新型コロナウイルスの影響により実施講座なし						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	公民館等において、男女共同参画社会への意識づくりと実践を促す各種講座 (男性も参加しやすい家事・育児等に関する各種講習会等) を開催します。							
14	予算事業名	【再掲】地区公民館講座教室事業 (事業No01と同じ)	【目標値の根拠】						
事業概要	地域の身近な学習拠点として、住民の教養の向上、生活文化の振興を図る。		男女共同参画推進委員からのご意見						
男女共同参画での視点	家事・育児に関する地区公民館講座教室の開催することで、男性の男女平等意識づくりを進めます。								
推進課 (室)	生涯学習課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の結果を踏まえて、親子で参加できる教室の開催数を増やしました。 【料理教室】4回 9時30分～ 会場：広神農業改善環境センター 定員：20人 日付・内容： 笹団子、山賊汁、郷土料理 (きっこうし漬け等) 【目からウロコの簡単和食】4回 10時～ 会場：小出北部公民館 定員：13人 日付・内容： 春のちらし寿司・鯛の昆布ダマ等、おだしを味わう なんちゃって松茸ごはん等、京風お雑煮、おせち料理 【子育て教室】4回 10時～ 会場：広神コミセン 定員：10人 内容：自然なおむつはずし、足育、発育発達 虫よけスプレーと顔のリンパ流し 【親子で一緒】3回 9時30分～ 内容：男性保育士2名から親子遊びを学ぶ 親子で「お茶」の初歩を学ぶ 内容：親子で電動糸鋸を使い置物を作る 【子育てパパママ教室】7回 10時～ 内容：親子で絵本・紙芝居・わらべ歌・親子遊び等 	講座開催経費	173	<ul style="list-style-type: none"> 男性が参加しやすいように土曜の開催を多くしました。 【料理教室】 参加者数64人 うち男性3人 (前年5人) 【目からウロコの簡単和食】 参加者数53人 うち男性0人 (前年0人) 【子育て教室】 参加者数31人 うち男性0人 (新規事業) 【親子で一緒】 参加者数38人 うち男性9人 (新規事業) 【子育てパパママ教室応援します】 参加者数99人 うち男性5人 (前年15人) 	121	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日開催の講座を多く実施しました。前年と比較し、男性の参加数は減少しました。 減少の理由として、男性の参加を積極的に促すような周知内容が少なかつたためと思われます。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 講座の開催曜日や内容について、男性が取り組みやすいものを考えていきます。 料理や子育て講座の周知の際は、男性の参加を歓迎し、促すような内容にす必要があると考えます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 （千円）	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 （千円）	評価（成果等）・増減等の理由
2019年度	<p>・家庭における男性の家事、育児への参加を推進するため、料理教室、子育て講座を実施します。</p> <p>【親子で一緒 親子で遊ぼう】 内容：親子遊びを学ぶ</p> <p>【目からウロコの簡単和食】4回 内容：さつき寿司、茶わん蒸し等、ごま味噌素麺、揚げナスの茸あん等、大根菜飯、煮干しだしの味噌汁白がゆ、お正月の栴盛り等</p> <p>【子育てババママ応援します！】7回 内容：親子で絵本・紙芝居・わらべ歌・親子遊び等</p> <p>【料理教室】3回</p> <p>【キッズクッキング&ババママのリフレッシュ講座】</p> <p>【子育て教室】3回 内容：自己肯定感、親子で楽しくおやつ作り 子育て講座（冬の親子遊び）</p>	講座開催経費	215	<p>・料理教室、子育てに関する講座を開催しました。</p> <p>【親子で一緒 親子で遊ぼう】 講座の開催下限人数に達しなかったため中止</p> <p>【目からウロコの簡単和食】 延べ参加者57人 うち男性7人（前年0人）</p> <p>【子育てババママ応援します！】 参加者（親）48人 うち男性1人（前年7人）</p> <p>【料理教室】 参加者17人 うち男性0人（前年3人）</p> <p>【キッズクッキング&ババママリフレッシュ講座】 参加者数（親）7人 うち男性2人（新規事業）</p> <p>【子育て教室】 参加者（親）45人 うち男性5人（前年1人）</p>	214	<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした講座もあり、前年と比較して参加者数自体が減少しています。</p> <p>・男性の参加者数も前年と比較して減少していますが、参加者数の減少によるものと思われます。</p>
						<p>今後の対策・取組の方向等</p> <p>・引き続き、講座の開催曜日や内容について、男性が取り組みやすいものと考えていきます。</p> <p>・料理や子育て講座の周知の際は、男性の参加を歓迎し、促すような内容にする必要があると考えます。</p>
2020年度	<p>・親子での参加となる講座と料理講座をとおして、男性の育児、家事への参加促進を目指します。</p> <p>【親子茶道教室】全1回 6月予定 会場：堀之内公民館 内容：親子で茶道の初歩を学ぶ</p> <p>【目からウロコの簡単和食】全3回 会場：小出北部公民館 日付・内容： 5月28日(木)ぬか床 9月24日(木)塩こうじ 12月23日(木)味噌づくり</p> <p>【小北メンズクッキング】全2回 時期未定 会場：小出北部公民館 内容：男性向けの料理教室</p> <p>【キッズクッキング&ババママのリフレッシュ講座】全1回 2月予定 会場：湯之谷公民館 内容：子どもは料理教室。親はリフレッシュ体操教室。終了後、子どもの手作り料理を食べる。</p>	講座開催経費	157	<p>・いずれの事業も、新型コロナウイルスの影響により実施できませんでした。</p>	0	<p>・計画していた事業はいずれも飲食を伴うものであり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とせざるを得ませんでした。</p>
						<p>今後の対策・取組の方向等</p> <p>・引き続き、講座の開催曜日や内容について、男性が取り組みやすいものと考えていきます。</p> <p>・料理や子育て講座の周知の際は、男性の参加を歓迎し、促すような内容にする必要があると考えます。</p>

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	延べ男性参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	4	学びの場における男女平等の意識づくり			-	-	48/-	99/50	67/55
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	生涯学習の場における男女平等の意識づくり	【実績に基づく数値】 男女共同参画事業としての取組はH30年からのため、H30年の実績に基づき目標値を設定します。 職員の研修を行う場合についても、男性の参加者数をカウントするものとする。						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	公民館等において、男女共同参画社会への意識づくりと実践を促す各種講座を開催します。							
15	予算事業名	男女共同参画事業	【目標値の根拠】						
事業概要		男女共同参画社会の実現に向けた講演会の開催	男女共同参画推進委員からのご意見						
男女共同参画での視点		女性に対する偏見や差別意識を解消し、根強く残る性別役割分担意識を取り除くため、学習の機会を作ります。							
推進課 (室)		企画政策課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 性差による差別や偏見がなく、市民の人権が尊重されるようになるため、職員向けの研修会を開催し、意識啓発を図ります。 女性に対する偏見や差別意識を解消し、根強く残る性別役割分担意識を取り除くため、学習の機会を設けます。 男女共同参画職員向け研修 日 時 平成29年10月 会 場 小出ボランティアセンター テーマ 女性の人権から考える男女共同参画	講演会開催経費	156	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画職員向け研修 日 時 平成29年10月6日(金)15:00~17:15 会 場 小出ボランティアセンター 多目的室 参加者 70人(男性44人) 〈第1部〉 講師 NPO法人 女のスペース・ながおか 代表 荻野茂子 氏 演題 「女性の人権から考える男女共同参画社会」 〈第2部〉 講師 企画政策室 五十嵐係長 内容 「男女共同参画について」 	85	<ul style="list-style-type: none"> 職員の関心度は「大変関心がある」「多少は関心がある」を合わせると100%と高い値となりました。 また、市役所は男性の多い職場であるため、参加者に占める割合を結果として高めることができました。
						今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> これまで、行ってきた講演会等については、同和問題や子どもの人権等に重点が置かれ、男女共同参画との関わりから少し離れているところもあったため、次年度からは、より男女共同参画事業に特化した講座を行います。 職員の関心度をさらに高めていくため、今後も様々な男女共同参画をテーマにした研修を開催する必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<p>・市民課が担当する人権啓発に関する職員向け研修会において、男女共同参画に関連したテーマの講演を行います。</p> <p>男女共同参画職員向け研修 日 時 平成30年5月 会 場 小出ボランティアセンター テーマ L G B T基礎研修</p>	研修会 経費	140	<p>・男女共同参画職員向け研修 日時 平成30年5月29日(火)15:30～17:15 会場 小出ボランティアセンター 多目的室 参加者 96人(男性48人) 〈第1部〉 講師 LGBTにいがたlovepeace 代表 高橋佳生氏 演題「L G B T基礎研修」 〈第2部〉 講師 健康増進室 五十嵐主任保健師 内容「思春期教育について」</p>	0	<p>・市民課が毎年行う職員向け研修会において、L G B Tについての講演や思春期教育（中学3年生の乳児ふれあい体験）についての事業説明を行い、それぞれ理解を深めることができました。</p>
						<p>今後の対策・取組の方向等</p>
						<p>・職員の関心度をさらに高めていくため、今後も男女共同参画に関連したテーマの研修を開催する必要があります。</p>
2019年度	<p>・差別や偏見から市民を守り、その解消に向けて意識啓発を図れるよう、市民課が担当する人権啓発に関する職員向け研修会の他、男女共同参画に関連したテーマについて学習の機会を設けます。</p> <p>職員向け研修 日 時 令和元年11月6日 会 場 小出ボランティアセンター テーマ 「コミュニケーションスキルと人権」 「ハラスメントについて」</p>	-	0	<p>・市民課が担当する人権や男女共同参画に関連した職員向け研修会を実施しました。</p> <p>〈第1回〉 日時 令和元年5月22日 会場 小出ボランティアセンター 参加者 100人（男性61人） 内容 インターネットと人権</p> <p>〈第2回〉 日時 令和元年11月6日 会場 小出ボランティアセンター 参加者 79人（男性38人） 内容 コミュニケーションスキルと人権</p>	0	<p>・市民課が毎年行う職員向け研修会において、インターネット利用の拡大や、コミュニケーション不足によるハラスメントについて説明を行い、理解を深めることができました。</p>
						<p>今後の対策・取組の方向等</p>
						<p>・社会の関心度が高いテーマや過去の実施状況を踏まえ、市民課と連携して内容を検討する必要があります。</p>
2020年度	<p>・差別や偏見から市民を守り、市の職員の人権意識を高めるため、市民課が職員向けの研修を毎年実施しています。男女共同参画に関連したテーマについて、学習の機会が図れるよう市民課と協議します。</p> <p>職員向け研修 開催回数 1回以上 開催時期 令和2年5月下旬又は10月中旬頃予定</p>	-	0	<p>・市民課が担当する人権や男女共同参画に関連した職員向け研修会を実施しました。</p> <p>〈第1回〉 日時 令和2年10月29日 会場 魚沼市役所本庁舎 参加者 71人（男性37人） 内容 いじめあれこれ、差別あれこれ</p> <p>〈第2回〉 日時 令和3年1月22日 会場 魚沼市役所本庁舎 参加者 71人（男性30人） 内容 子どもの人権についての基本的な考え方</p>	0	<p>・市民課が毎年行う職員向け研修会において、「いじめ、差別とは」についてや、子どもの人権について説明を行い、理解を深めることができました。</p>
						<p>今後の対策・取組の方向等</p>
						<p>・社会の関心度が高いテーマや過去の実施状況を踏まえ、男女共同参画に関連したテーマの研修を開催する必要があります。</p>

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	男女共同参画関係講座の情報提供回数	件	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	4	学びの場における男女平等の意識づくり			-	-	315	227 /320	0/325
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	生涯学習の場における男女平等の意識づくり	男女共同参画関係の講座数	回	21/-	18/-	-	-	-
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	生涯学習情報提供システム(ラ・ラ・ネット)や情報誌等を通じて、いきいき県民カレッジや各地で開催されている男女共同参画に関する学級・講座などの学習情報を提供します。							
16	予算事業名	【再掲】地区公民館講座教室事業(事業No01と同じ)			【目標値の根拠】				
事業概要	地域の身近な学習拠点として、住民の教養の向上、生活文化の振興を図る。								
男女共同参画での視点	男女共同参画関係の学習情報の提供								
推進課(室)	生涯学習課								
			男女共同参画推進委員会からのご意見		<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画関係の講座数 H28実績 4講座 延べ21回 H29実績 4講座 延べ18回 H30年度から指標を「事業実施」から「情報提供活動」へ変更しました。H30年度の実績値を次年度以降の目標値として設定しました。 H30実績 情報提供回数 315回 2019年度実績 情報提供回数 227回 2020年度実績 情報提供回数 0回 ※情報提供の種類 チラシ、HP、FM、市報、ラ・ラ・ネット 				

年度	事業計画(男女共同参画関連のみ)	主な予算項目	予算額(千円)	実施結果(男女共同参画関連のみ)	決算額(千円)	評価(成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 家事・育児に関する地区公民館講座教室への参加を促すため、市の情報媒体(HP、FM、市報)を活用し講座の情報を提供します。 【料理教室】 4回 6月～12月(うち土曜3回) 【ぬか床教室】 3回 7月(うち土日0回) 【米粉クッキング教室】 4回 11～3月(うち土日0回) 【子育てパパママ応援します】 親子 7回 6～3月(うち土曜3回) 特に、男性の参加を促すため、休日に開催することや親子での参加もできることに重点を置き情報提供を行う。 	講座開催経費	247	<ul style="list-style-type: none"> 1講座当たりの市の情報媒体での広報結果 ラ・ラ・ネット・市HP1回 FM週1回 市報1回 チラシ70枚(各公民館・保育施設・庁舎) 【料理教室】 参加者数78名 うち男性5人(新規事業) 【ぬか床教室】 参加者数28名 うち男性2人(新規事業) 【米粉クッキング教室】 参加者数53名 うち男性0人(前年1名) 【子育てパパママ応援します】 参加者数121名 うち男性15人(前年12名) 	212	<ul style="list-style-type: none"> 周知の結果、土日開催の講座と、親子で参加できる講座について、男性参加数の増加につなげることができました。 次年度以降も更に男性の参加者が増えるよう、周知方法を検討する必要があります。
	今後の対策・取組の方向等			<ul style="list-style-type: none"> H30年度より、新潟県生涯学習情報提供システム(ラ・ラ・ネット)を通じて広く県内に本市で開催する男女共同参画関係の講座の情報を提供します。 市民からも市外で開催の講座について受講できるようラ・ラ・ネットについて周知するとともに、利用促進を図っていきます。 		

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで講座の情報を掲載します。 (通年) ・FMや市報で学習情報のPRをします。 (月1回以上) ・ラ・ラ・ネットを通じて広く県内に男女共同参画関係の講座の情報を提供します。 ・ラ・ラ・ネットの利用方法について、市民へ周知し利用促進を図ります。 	講座開催経費	173	<ul style="list-style-type: none"> ・1講座当たりの市の情報媒体での広報結果 ラ・ラ・ネット及び市HP掲載 33回 FMうおぬまによる放送 248回 市報 19回 チラシ配布 15回 ・講座実施実績と男性参加者数 【料理教室】 参加者数64人 うち男性3人（前年5人） 【目からウロコの簡単和食】 参加者数53人 うち男性0人（前年0人） 【子育て教室】 参加者数31人 うち男性1人（新規事業） 【親子で一緒】 参加者数20人 うち男性9人（新規事業） 【子育てパパママ教室】 参加者数99人 うち男性7人（前年15人） 	121	<ul style="list-style-type: none"> ・ラ・ラ・ネット及び市HPによる周知を実施しましたが、男性の参加者数としては前値と比較し減少となりました。 ・各講座において男性の参加を積極的に促すような周知内容が少なかったことが原因と思われる。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き様々な情報媒体による情報提供を行い、講座を広く周知します。 ・料理や子育て講座の周知の際は、男性の参加を歓迎し、促すような内容にする必要があると考えます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで講座の情報を掲載します。 ・FMや市報で学習情報のPRをします。 ・ラ・ラ・ネットを通じて広く県内に男女共同参画関係の講座の情報を提供します。 ・ラ・ラ・ネットの利用方法について、市民へ周知し利用促進を図ります。 	講座開催経費	215	<ul style="list-style-type: none"> ・市の情報媒体での広報結果 ラ・ラ・ネット及び市HP掲載 10回 FMうおぬまによる放送 187回 市報 15回 チラシ配布 15回 ・講座実施実績と男性参加者数 【親子で一緒 親子で遊ぼう】 講座の開催下限人数に達しなかったため中止 【目からウロコの簡単和食】 延べ参加者57人 うち男性7人（前年0人） 【子育てパパママ応援します！】 参加者（親）48人 うち男性1人（前年7人） 【料理教室】 参加者17人 うち男性0人（前年3人） 【キッズクッキング&パパママリフレッシュ講座】 参加者数（親）7人 うち男性2人（新規事業） 【子育て教室】 参加者（親）45人 うち男性5人（前年1人） 	214	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信回数は前年と比較し減少していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止等による講座の中止があり、実施回数自体が減少したことが理由です。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き様々な情報媒体による情報提供を行い、講座を広く周知します。 ・料理や子育て講座の周知の際は、男性の参加を歓迎し、促すような内容にする必要があると考えます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで講座の情報を掲載します。 ・FMや市報で学習情報のPRをします。 ・ラ・ラ・ネットを通じて広く県内に男女共同参画関係の講座の情報を提供します。 ・ラ・ラ・ネットの利用方法について、市民へ周知し利用促進を図ります。 	講座開催経費	157	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの事業も、新型コロナウイルスの影響により実施できませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画していた事業はいずれも飲食を伴うものであり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とせざるを得ませんでした。 ・事業の中止に伴い、情報提供回数も実績も0となりました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度男女共同参画関連講座 【親子茶道教室】 1回 【目からウロコの簡単和食】 3回 【小北メンズクッキング】 2回 【キッズクッキング&パパママのリフレッシュ講座】 1回 					<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き様々な情報媒体による情報提供を行い、講座を広く周知します。 ・料理や子育て講座の周知の際は、男性の参加を歓迎し、促すような内容にする必要があると考えます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	男女共同参画関連の蔵書数	冊	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	4	学びの場における男女平等の意識づくり			-	-/277	287/280	263/285	281/290
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	生涯学習の場における男女平等の意識づくり	【実績に基づく数値】 蔵書数(R3.3.31現在) 一般書：100,089点、児童書：57,687点 AV資料：1,209点、雑誌：3,094点 合計：162,079点 男女共同参画関連蔵書数 281冊 男女共同参画：24冊、ジェンダー：26冊、セクハラ：7冊 ワーク・ライフ・バランス：4冊、女性の働き方：16冊 男性の働き方：3冊、女性と防災：2冊、女性と政治：13冊 女性に対する暴力：9冊、家族：119冊、貧困：58冊 ・H28はチラシの配布数を指標としていたため、実績値なし。						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(3)	図書館等に男女共同参画に関する学級・講座などの学習情報を掲示します。							
17	予算事業名	図書館管理運営事業			【目標値の根拠】				
事業概要	市民の教育、文化の発展に寄与するため小出郷、広神図書館及び公民館図書室の管理運営を行う。								
男女共同参画での視点	図書館へ男女共同参画に関する書籍を配架			男女共同参画推進委員からのご意見					
推進課 (室)	生涯学習課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関する書籍を配架します。また、関係図書の増加を図ります。 新潟県や新潟県女性財団等が発行するチラシやポスターを市内図書館・図書室に配置し、情報提供します。 	図書購入費	5,000	<ul style="list-style-type: none"> 書籍の配架 秋枝薫子『後に続く女性たちへ』新潟県県民生活・環境部男女平等社会推進課『第2次新潟県男女共同参画計画 (男女平等推進プラン) 進捗状況 平成29年度版』 チラシ・ポスター等の配置数 チラシ144部 ポスター0部 	4,938	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画関連のチラシ等を設置し、図書館利用者に周知を図りました。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画関連の図書の増加を図ります。また、特集コーナーを設置するなどしてPRします。
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関する書籍を配架します。また、関係図書の増加を図ります。 新潟県や新潟県女性財団等が発行するチラシやポスターを市内図書館・図書室に配置し、情報提供します。 	図書購入費	5,000	<p>○H30予算男女共同参画関係図書購入数 10冊</p> <p>《ジェンダー》 『文系と理系はなぜ分かれたのか』 隠岐さや香/著 『ナタンと呼んで』 カトリーヌ・カストロ/原作 『若冲伝』 佐藤康宏/著 《ワーク・ライフ・バランス》 『パパとママの育児戦略』 フェザーリング・ジャパン/著 『育児は仕事の役に立つ』 浜屋祐子, 中原淳/著 《家族》 『心の傷は遺伝する』 マーク・ウォリン/著 『家族終了』 酒井順子/著 『子の無い人生』 酒井順子/著 『”結婚”をやめたバリジェンヌたち』 酒巻洋子/著 《男女共同参画》 『第3次新潟県男女共同参画計画推進状況 平成30年度版』 新潟県県民生活・環境男女平等社会推進課/編</p> <p>○チラシ・ポスター等の配置しました。ただし、配置部数については集計しませんでした。 ※チラシ等は配置のみ行っていますが、貸出しの際に渡す等の方法を今後検討します。</p>	4,712	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画関連図書を購入し、新刊図書として案内するなど周知を図りました。 男女共同参画関連のチラシ等を設置し、図書館利用者に周知を図りました。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き男女共同参画関連の図書の増加を図ります。男女共同参画関連の図書を増加させることで、図書館利用者の男女共同参画に関する関心を高めまします。また、関連する特集コーナーを設置するなどしてPRします。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関する書籍を配架します。また、男女共同参画関係図書の増加を図ります。 新潟県や新潟県女性財団等が発行するチラシやポスターを市内図書館・図書室に配置し、情報提供します。 	図書購入費	5,000	<p>3月末現在での実績は次のとおりです。</p> <p>○R1予算男女共同参画関係図書購入数 8冊 <ジェンダー> 『いじめ・ジェンダーと道徳教科書』 大和久勝/ほか著 <家族> 『8050問題』 黒川 祥子/著 『なぜか笑顔になれず認知症介護』 奥野修司/著 『「家族の幸せ」の経済学』 山口慎太郎/著 『50代からの人生戦略』 佐藤 優/著 <男女共同参画> 『第3次新潟県男女共同参画計画推進状況 令和元年度版』 新潟県県民生活・環境男女平等社会推進課/編 <貧困> 『母なるひとびと』 アリス・テイラー/著；高橋 歩/訳 『日本への警告』 ジム・ロジャーズ/著；小里 博栄/訳</p> <p>○チラシ・ポスター等の配置しました。ただし、チラシの配布部数については、自由配布として配置しているため、集計していません。</p>	4,796	<ul style="list-style-type: none"> 古くなった書籍を除籍したため、蔵書冊数が目標値を下回りました。 男女共同参画関係図書を購入し、新刊図書として案内するなど周知を図りました。 男女共同参画関連のチラシ等を設置し、図書館利用者に周知を図りました。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き男女共同参画関連の図書の増加を図ります。男女共同参画関連の図書を増加させることで、図書館利用者の男女共同参画に関する関心を高めめます。また、関連する特集コーナーを設置するなどしてPRします。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関する書籍を配架します。また、男女共同参画関係図書の増加を図ります。 新潟県や新潟県女性財団等が発行するチラシやポスターを市内図書館・図書室に配置し、情報提供します。 	図書購入費	6,400	<p>3月末までの実績は以下のとおりです。</p> <p>○R2予算男女共同参画関係図書購入数 18冊 <ジェンダー> 『女の子だから、男の子だからをなくす本』 ユン・ウンジュ/文 『女の子はどう生きるか』 上野千鶴子/著 『これからの男の子たちへ』 太田啓子/著 『すし屋のすてきな春原さん』 戸森しるこ/作 『「男女格差後進国」の衝撃』 治部れんげ/著 <セクシャルハラスメント> 『ハラスメント大全』 野原蓉子/監修 <女性と政治> 『女帝小池百合子』 石井妙子/著 <女性に対する暴力> 『終わらない「アグネス論争」』 アグネス・チャン/著 <家族> 『今ここを生きる勇気』 岸見一郎/著 『死にゆく人にあなたができること』 鈴木秀子/著 『家族のトリセツ』 黒川伊保子/著 『家族に迷惑をかけたくないあなたが認知症になる前に準備しておきたいこと』 海老原佐江子/著 『死ねない老人 続』 杉浦敏之/著 『老後は要領』 和田秀樹/著 『兄の終い』 村井理子/著 <貧困> 『こどもSDGs』 秋山広次郎/監修 『すぐにもらえるお金と使えるサービス』 安田夏菜/作</p> <p>○チラシ・ポスター等の配置しました。ただし、チラシの配布部数については、自由配布として配置しているため、集計していません。</p>	6,025	<ul style="list-style-type: none"> 昨年よりも蔵書数は増加しましたが、除籍した図書もあるため、目標値に達しませんでした。 男女共同参画関係図書を購入し、新刊図書として案内するなど周知を図りました。 男女共同参画関連のチラシ等を設置し、図書館利用者に周知を図りました。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き男女共同参画関連の図書の増加を図ります。男女共同参画関連の図書を増加させることで、図書館利用者の男女共同参画に関する関心を高めめます。また、関連する特集コーナーを設置するなどしてPRします。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	市内事業所訪問数	社	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	5	女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた意識づくり			5/5	8/7	0/10	46/12	50/15
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	女性に対する暴力の根絶に向けた広報・啓発活動の推進	【目標値の根拠】	【実績に基づく数値】 H28年度 5社 H29年度 8社 H30年度 0社 R01年度 46社 R02年度 50社					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	職場におけるセクシャル・ハラスメント等の防止に向け、企業等に対する周知啓発を行います。							
18	予算事業名	企業人材確保・育成支援事業 ※旧 中小企業人材育成支援事業							
事業概要	企業の新たな人材の確保と社員の能力開発・育成支援								
男女共同参画での視点	セクシャル・ハラスメント等の防止に関する啓発活動の実施		男女共同参画推進 委員からのご意見						
推進課 (室)	商工課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 職場におけるセクシャルハラスメント等に関する情報等の提供については、市内事業所を中心に訪問し、直接、啓発資料を渡しながら周知啓発を行います。 訪問企業については、業界団体の協力を得て実施するハッピーパートナー企業登録意向調査に基づいて選定する予定です。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 職場におけるセクシャル・ハラスメント等に関するリーフレット等を各庁舎へ配布するとともに、ハッピー・パートナー登録意向調査で関心を示した企業のうち7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問し、国が発行しているハラスメントに関する「職場でつらい思いしていませんか？」(A4:P8)のリーフレットを配布しました。 市内企業の総数は、2,342社で、今年度は63社に意向調査を実施しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットをただ配布するだけでなく直接企業に説明することにより、より効果的な啓発を行うことができました。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業におけるセクハラ防止の意識を醸成していくには、継続した啓発活動が必要なことから、引き続きリーフレット等の配布とともに、市内企業への訪問により周知啓発を行っていきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 当初、新潟県と合同して制度説明のための企業訪問を実施する予定でしたが、日程調整不足により企業訪問を実施することができませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問を行うことができなかったため啓発を行うことができませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、企画政策課と連携し企業訪問を行い啓発活動を行っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。正会員46社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、商工課単独での取組の実施となったため、次年度は、企画政策課と連携し、更に詳しい内容を取組を深めて行きます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 職場におけるセクシャルハラスメント等に関する情報等の提供について、企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 前年度実施した魚沼ものづくり振興協議会に対する啓発活動を継続的に実施し、前年度よりもさらに一歩踏み込んだ啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。正会員46社・賛助会員4社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 現状、チラシ等の配布に留まっていますが、より効果的で、市内広範囲の事業所に対しての啓発活動を行えるよう検討を進めます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	1	男女平等を推進する意識づくり	ドメスティック・バイオレンスに関する情報提供回数	回	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	5	女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた意識づくり			-	5/2	5/7	4/7	5/7
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	女性に対する暴力の根絶に向けた広報・啓発活動の推進	【実績に基づく数値】 H28は準備期間としたため、目標値・実績値ともありません。 H29年度 5回 市報、ホームページ各2回、啓発冊子1回 H29に目標値を超えたためH30から上方修正しました。	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	加害予防の広報・啓発活動や講演会等を実施します。							
19	予算事業名	社会福祉管理事業							
	事業概要	DV被害者の支援							
	男女共同参画での視点	DVを予防する啓発活動の実施							
	推進課 (室)	福祉支援課	男女共同参画推進委員からのご意見						

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	・新潟県が発行するパンフレットの中で、ドメスティック・バイオレンスに関する相談受付機関、各種手続き、関係法令が掲載されているものを各庁舎、子育て支援センターに設置します。	-	0	計5回の情報提供を行いました。 ・相談窓口の開設について 市報、HP 各1回 ・「女性に対する暴力をなくす運動」 市報、HP 各1回 ・DV予防・啓発冊子 各庁舎等への配置1回	0	・HP、市報に加えて「魚沼市子育て便利帳」に福祉課厚生室が担当であることや電話番号を掲載しました。 今後の対策・取組の方向等 ・被害者が独りで悩まないように相談できる場所を周知していく必要があります。このため、引き続きHPや市報への掲載を行います。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県が発行するパンフレットの中で、ドメスティック・バイオレンスに関する相談受付機関、各種手続き、関係法令が掲載されているものを各庁舎、子育て支援センターに設置します。 	-	0	計5回の情報提供を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 相談窓口の案内について 4回実施（市報、HP、子育て便利帳） DV予防・啓発冊子の配置 1回実施（各庁舎等へ配置） 	0	<ul style="list-style-type: none"> HP、市報に加えて「魚沼市子育て便利帳」に福祉課厚生室が担当であることや電話番号を掲載しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 被害者が独りで悩まないように相談できる場所を周知していく必要があります。このため、引き続きHPや市報への掲載を行います。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県が発行するパンフレットの中で、ドメスティック・バイオレンスに関する相談受付機関、各種手続き、関係法令が掲載されているものを各庁舎、子育て支援センターに設置します。 	-	0	計4回の情報提供を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 相談窓口の案内について 3回実施（市報、HP、子育て便利帳） DV予防・啓発冊子の配置 1回実施（各庁舎等へ配置） 	0	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の予防により、会場等にて実施する相談活動案内を控えため、市報による情報掲載が減少しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今後、感染症等による家庭状況の変化により問題を抱える家庭が増える可能性があります。相談者や被害者が独りで悩まないように相談できる場所を広く周知していく必要があります。このため、周知方法等検討する必要があります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県が発行するパンフレットの中で、ドメスティック・バイオレンスに関する相談受付機関、各種手続き、関係法令が掲載されているものを庁舎、子育て支援センターに設置します。また、市報やHPにも掲載します。 	-	0	計5回の情報提供を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 相談窓口の案内について 4回実施（市報、HP、子育て便利帳） DV予防・啓発冊子の配置 1回実施（各庁舎等へ配置） 	0	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に中止されていた無料相談が本年は開催できるようになり、市報への案内等の掲載回数が増加しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症等による家庭状況の変化により、問題を抱える家庭が増える可能性があります。相談者や被害者が独りで悩まないように相談できる場所を広く周知していく必要があるとともに、周知方法等を見直す必要があります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり		指標	単位	実績値/目標値					
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	市の審議会等への女性の登用率	%	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	女性が参画しやすい環境づくり		20.4 /22.0	20.7 /24.0	21.4 /26.0	23.5 /28.0	23.3 /30.0	
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	市の政策・方針決定過程への女性の参画促進	【目標値の根拠】 【第3次計画の目標】 H17調査時 20.1% H26調査時 20.5% H32計画 30.0%	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	市の各種審議会等委員への女性の積極的な登用を推進します。							
20	予算事業名	—							
事業概要		—							
男女共同参画での視点		各種審議会等委員への女性の積極的な登用推進	男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課 (室)		全課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	・庁内で実施される各種審議会等に対して、委員の改選時期に合わせて、各担当部署に女性の積極的な登用を推進するよう働きかけます。	—	0	・審議会等委員の登用状況は次のとおりです。 平成29年度 審議会等数 33 /在女性 24 委員総数 376人/女性 78人 登用率 20.7%	0	・女性の委員数及び女性の割合が減少した主な理由は、小出郷文化会館の運営委員会が、施設の指定管理への移行により無くなったためのものです。 ・その他、規定の範囲内で委員数を減らす審議会等もあり、委員数の減少に伴い、女性委員も減少しました。
						今後の対策・取組の方向等
						・引き続き、女性委員の登用を各担当課へ呼びかけ続ける必要があります。 ・女性委員がいない審議会等にも改善を求める必要があります。 ・女性委員の登用数の基準が無いことも進まない原因と考えられるため、今後、基準の検討を行う必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内で実施される各種審議会等に対して、引き続き、委員の改選時期に合わせて、各担当部署に女性の積極的な登用を推進するよう働きかけます。 ・女性委員の登用基準が無いことも登用数が増えない原因でもあるため、登用基準の検討を進めます。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等委員の登用状況は次のとおりです。 平成30年度 審議会等数 34 /在女性 23 委員総数 383人/女性 82人 登用率 21.4% 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等の女性の委員数及び女性の割合が、昨年度と同水準であり、目標値に届きませんでした。また、女性委員の登用基準について、検討を進めることができませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・女性委員がいない審議会等があるため、今後、改善方法について検討を行い、各担当課へ継続的に呼びかけを行う必要があります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内で実施される各種審議会等に対して、委員の改選時期に合わせて、関係団体に対しての協力要請や、公募等を活用した幅広い人材の登用等を各担当部署に働きかけます。 ・女性委員の登用基準については、他の自治体等を参考に検討していきます。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等委員の登用状況は次のとおりです。 令和元年度 審議会等数 39 /在女性 29 委員総数 438人/女性 103人 登用率 23.5% 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等の女性の委員数及び女性の割合が、昨年度と同水準であり、目標値に届きませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・女性の参画を推進するため、公募委員を増やす等の検討を行い、各担当課へ継続的に呼びかけを行う必要があります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内で実施される各種審議会等に対して、委員の改選時期に合わせて、関係団体に対して協力要請を行います。また、公募等を活用した所属や肩書、経験年数にとらわれない幅広い人材の登用が図れるよう各担当部署に働きかけます。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等委員の登用状況は次のとおりです。 令和2年度 審議会等数 40 /在女性 28 委員総数 433人/女性 101人 登用率 23.3% 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等の女性の委員数及び女性の割合が、昨年度と同水準であり、目標値に届きませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・女性の参画を推進するため、審議会等委員の女性登用について、各担当課に継続的な呼びかけを行う必要があります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	市内事業所訪問数	社	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	女性が参画しやすい環境づくり			5/5	8/7	0/10	46/12	50/15
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	企業、団体、地域等あらゆる場における方針決定過程への女性の参画促進	【目標値の根拠】	【実績に基づく数値】 H28年度 5社 H29年度 8社 H30年度 0社 R01年度 46社 R02年度 50社					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	あらゆる機会を通じて企業、団体等に対し、積極的改善措置（ポジティブアクション）に関する情報等を提供し、女性の登用等を促進します。							
21	予算事業名	【再掲】企業人材確保・育成支援事業（事業No18と同じ） ※旧 中小企業人材育成支援事業							
事業概要	企業の新たな人材の確保と社員の能力開発・育成支援								
男女共同参画での視点	女性の育成・登用に積極的に取り組む企業の支援		男女共同参画推進 委員からのご意見						
推進課（室）	商工課								

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 積極的改善措置（ポジティブアクション）に関する情報等の提供については、市内事業所を中心に訪問し、直接、啓発資料を渡しながら周知啓発を行います。 訪問企業については、業界団体の協力を得て実施するハッピーパートナー企業登録意向調査に基づいて選定する予定です。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> ポジティブアクションに関する資料を、各庁舎へ配布するとともに、ハッピー・パートナー登録意向調査で関心を示した企業のうち7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問し、国が発行している「女性が輝く社会の実現に向けて」（A4：P8）のリーフレットを配布しました。 市内企業の総数は、2,342社で、今年度は63社に意向調査を実施しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットをただ配布するだけでなく直接企業に説明することにより、より効果的な啓発を行うことができましたが、具体的なアクションを起こすところまでは至りませんでした。
						今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> 女性社員の管理職登用などの把握を検討します。 女性登用等の促進には、継続した啓発活動が必要なことから、引き続きリーフレット等の配布とともに、市内企業への訪問により周知啓発を行っていきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 	—	0	<ul style="list-style-type: none"> 当初、新潟県と合同して制度説明のための企業訪問を実施する予定でしたが、日程調整不足により企業訪問を実施することができませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問を行うことができなかったため啓発を行うことができませんでした。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p>
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、企画政策課と連携し企業訪問を行い啓発活動を行っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 	—	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。 正会員46社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p>
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、商工課単独での取組の実施となったため、次年度は、企画政策課と連携し、更に詳しい内容を取組を深めて行きます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 前年度実施した魚沼ものづくり振興協議会に対する啓発活動を継続的に実施し、前年度よりもさらに一歩踏み込んだ啓発活動を実施します。 	—	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。 正会員46社・賛助会員4社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p>
						<ul style="list-style-type: none"> 現状、チラシ等の配布に留まっていますが、より効果的で、市内広範囲の事業所に対しての啓発活動を行えるよう検討を進めます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	コミュニティ協議会役員 (三役とその他役員) の女性の人数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	女性が参画しやすい環境づくり			4/4	5/6	6/8	8/10	7/12
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	企業、団体、地域等あらゆる場における方針決定過程への女性の参画促進	【実績に基づく数値】 H28 14団体、役員数 56人 H29 15団体、役員数 60人 H30 15団体、役員数 60人 H31 15団体、役員数 60人 R2 15団体、役員数 60人	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	地域づくりにおける女性の参画を促進します。							
22	予算事業名	【再掲】コミュニティ活動支援事業 (事業No07同じ)							
事業概要	コミュニティ協議会の活動の支援								
男女共同参画での視点	コミュニティ協議会の活動における女性の積極的な参加の促進		男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課 (室)	地域創生課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の役員について、選定時に女性を積極的に選任するように働きかけます。 ・今年度は、新しいコミュニティ協議会の設立が予定されています。そのため、協議会の設立時は、特に女性役員誕生のチャンスと捉え、準備段階から積極的に女性役員の登用を呼びかけていきます。 ・役員だけでなく、コミュニティ協議会の活動において、女性の積極的な参加が図られるよう働きかけを行います。 	コミュニティ活動助成事業補助金	17,120	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度は、新たに1団体 (伊米ヶ崎共和国) が設立されました。 ・コミュニティ協議会の役員について、準備段階から積極的に女性役員登用を呼びかけましたが、残念ながら新団体の役員に占める女性の人数は0人でした。 ・既存団体では女性役員が1名増えました。 	16,211	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに設立した団体について、女性が登用されなかった理由としては、設立までの準備段階において、女性の関りが無かったものと思われます。 ・既存団体での1名増は、普段からの団体の活動に継続的に関わって来たことが要因だと考えられます。
						今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> ・女性の登用は、いきなり行われるものではなく、日頃からの団体への関りが重要なことが分かったことから、普段の活動に対していかに女性の出番を作り関わってもらえるかを考え、取組を行います。 ・コミュニティ協議会が一堂に会する連絡協議会の場を活用し、女性役員がいる協議会の活動事例を紹介する等し、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進を図ります。

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の役員への登用は、日頃からの団体への関りが重要なことから、役員だけでなく、コミュニティ協議会の活動において、女性の積極的な参加が図られるよう働きかけを行います。 ・女性の目線を活かして地域課題の解決につなげられるよう活動を行えるよう団体に働きかけます。 ・これまで団体の活動に関わって来た女性については、積極的に女性役員の登用を呼びかけます。 ・コミュニティ協議会連絡協議会において、女性役員のいる協議会の活動事例を紹介する等、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進を図ります。 	コミュニティ活動助成事業補助金	13,665	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の全体会等を通じて、役員について積極的に女性役員登用を呼びかけました。結果、少しずつ女性役員の数も増えてきました。 ・既存団体では女性役員が1名増えました。 ・役員だけではなく、コミュニティ協議会の活動においては、PTAとの連携等により、少しずつではありますが女性の参加が増えてきました。 	15,316	<ul style="list-style-type: none"> ・既存団体での1名増は、普段からの団体の活動に継続的に関わって来たことが要因だと考えられます。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供会やPTAなどの女性役員への呼びかけや、友人等を誘って複数での活動への参加を呼びかけ、女性が参加しやすい環境づくりを目指します。 ・コミュニティ協議会が一堂に会する連絡協議会の場を活用し、女性役員のいる協議会の活動事例や多くの女性が参加した取り組み事例を紹介し、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進、活動への参加促進を図ります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の役員への登用は、日頃からの団体への関りが重要なことから、役員だけでなく、コミュニティ協議会の活動において、女性の積極的な参加が図られるよう働きかけを行います。 ・女性の目線を活かして地域課題の解決につなげられるよう活動を行えるよう団体に働きかけます。 ・これまで団体の活動に関わって来た女性については、積極的に女性役員の登用を呼びかけます。 ・コミュニティ協議会連絡協議会において、女性役員のいる協議会の活動事例を紹介する等、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進を図ります。 	コミュニティ活動助成事業補助金	16,597	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の全体会等を通じて、役員について積極的に女性役員登用を呼びかけました。結果、少しずつ女性役員の数も増え、女性役員は8名となりました。 ・役員だけではなく、コミュニティ協議会の活動においては、PTAとの連携等により、少しずつではありますが女性の参加が増えてきました。結果的にはコミュニティ協議会の委員となっている女性は約85名となりました。 <p>聞かえてきた意見として (参考までに)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果的に少しずつ女性の参加が増えてきておりますが、積極的に会長や副会長として参画していくというよりは、陰で支えるという考え方の方が強いようである。(そのような意見がありました) 	14,797	<ul style="list-style-type: none"> ・既存団体で女性役員が8名、委員が85名となりましたが、普段からの団体の活動に女性が継続的に関わって来たことが要因だと考えられます。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引続き子供会やPTAなどの女性役員への呼びかけや、友人等を誘って複数での活動への参加を呼びかけ、女性が参加しやすい環境づくりを目指します。 ・コミュニティ協議会が一堂に会する連絡協議会の場を活用し、女性役員のいる協議会の活動事例や多くの女性が参加した取り組み事例を紹介し、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進、活動への参加促進を図ります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のコミュニティ協議会の活動にとらわれず、コミュニティ協議会間での情報共有が行われ、女性の参加事例等が広く周知されることにより、役員だけでなく女性の積極的な参加が図られるよう働きかけを行います。 ・コミュニティ協議会連絡協議会において、会長等の役員会だけでなく、役員以外の女性も参加できるような研修会、意見交換会などを開催する等、コミュニティ協議会の活動に興味を持ってもらえるような働きかけを行います。 ・これまで活動に関わって来た女性については積極的に女性役員への登用を呼びかけるとともに、周囲の女性にも声をかけてもらい、協議会活動に参加しやすい環境づくりを呼びかけます。 	コミュニティ活動助成事業補助金	18,667	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で総会の開催が減少し、女性への呼びかけを積極的に行えず、女性役員は1名減の7名となりました。女性委員については、PTAとの連携等により、1名増の86名となりました。 ・女性の参画によって多様な意見が飛び交うことで、地域の問題に対してより広い視野で考えることができるようになってきました。 ・女性委員が女性の知合いを誘うことで、コミ協の認知度向上につながりました。 	15,349	<ul style="list-style-type: none"> ・役員は微減・委員は微増となりました。女性に向けて参加を促し、実際に関わっていただき理解が進んでいることが要因だと考えます。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引続き子供会やPTAなどの女性役員への呼びかけや、友人等を誘って複数での活動への参加を呼びかけ、女性が参加しやすい環境づくりを目指します。 ・コミュニティ協議会連絡協議会の場を活用し、女性役員のいる協議会の活動事例や、多くの女性が参加した取り組み事例を紹介し、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進と活動への参加促進を図ります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	まちづくり委員会の女性委員の割合	%	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	女性が参画しやすい環境づくり			31.3/27	35.7/31	32.5/36	33.3/36	33.3/36
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	企業、団体、地域等あらゆる場における方針決定過程への女性の参画促進	【目標値の根拠】 【実績に基づく数値】 H28 委員総数64人 女性20人 H29 委員総数42人 女性15人 H30 委員総数40人 女性13人 H31 委員総数36人 女性12人 R2 委員総数33人 女性11人 H29より女性委員の割合が下がっているため、H29の数値(35.7%≒36%)を目標に設定しました。						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	地域づくりにおける女性の参画を促進します。							
23	予算事業名	市民協働推進事業							
事業概要		まちづくり委員会(まちづくりを推進する組織)への活動支援							
男女共同参画での視点		積極的な女性委員の募集と登用について組織へ働きかけ		男女共同参画推進委員からのご意見					
推進課(室)		地域創生課							

年度	事業計画(男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果(男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価(成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり委員会(まちづくりを推進する組織)に対して、積極的な女性委員の募集と登用について事務局の立場として組織への働きかけを行います。 また、女性委員が発言しやすい環境となるよう、組織の運営について働きかけます。 	市民協働推進事業	1,223	<ul style="list-style-type: none"> 登録はあるものの出席しない委員に対して意向調査を行い、委員数が大きく減りました。 女性役員数についても横ばいでした。 	1,162	<ul style="list-style-type: none"> 女性委員の割合は増えましたが、全体数が下がったことによるものです。 委員が減少した理由としては、会自体の取組に対する魅力が下がったことにあります。その要因としては、発言力の強い男性により運営方針が決められていることにあります。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性委員の割合を増やす努力も必要ですが、委員全体数を上げて活動を活性化させる努力が必要です。特に、女性目線での活動を増やさなければ、新しい女性会員も入会しないため、活動の方向性を見直すよう働きかける必要があります。 男性の発言力の強さにより会の方向性が決められている状況にあるため、女性役員の積極的な登用とあわせて、女性が発言しやすい環境を整える必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な女性委員の募集と登用を行う前に、まずは、女性目線での活動を増やすことにより、新しい女性会員が増えるような環境が整えられるよう支援します。 また、女性委員が発言しやすい環境となるよう、特に、男性の発言力の強さにより会の方向性が決められている状況にあるため、女性役員の積極的な登用とあわせて、女性が発言しやすい環境を整える必要があります。 	市民協働推進事業	1,306	<ul style="list-style-type: none"> H26から実施してきた花じまんコンテストという活動が終わったことで、残念ながらその活動を主に携わってきた女性委員が1名退会しました。 女性役員数については増減なしでした。 	1,071	<ul style="list-style-type: none"> 女性委員も含めた委員の退会があり、割合も減少しました。他団体と連携した取り組みを増やし活動を活性化させる必要があります。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> （女性）委員が減少した理由としては、男性役員等の発言力が強く、自身の意見が反映されない状況が考えられます。女性役員の積極的な重用とともに女性が発言しやすい環境づくりの支援が必要です。 女性委員が取り組みたいと感じる活動を増やす支援が必要です。 上記を実施した上でコミュニティ協議会等他の地域づくり団体に参加する女性への呼びかけを行い、会員数の増加につなげることが必要です。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 現在いる女性委員からの意見または提案を積極的に吸い上げる環境を整えるよう支援し、女性取り組みたいと思える活動を増やし、新しい女性会員が増えるよう取り組む必要があります。 他の地域づくり団体に参加する女性への呼びかけを行い、会員数の増加につなげることが必要です。 	市民協働推進事業	1,429	<ul style="list-style-type: none"> 花じまんコンテストという活動が終了し、それに変わる、花いっぱい活動を実施しました。木育の推進についても行いました。 女性役員数については1名減でした。 	1,136	<ul style="list-style-type: none"> 全体的な委員の減少となっており、女性委員については1名のみだったため割合は減少しませんでした。会員の減少に伴い、活動規模などが縮小しているため、モチベーションの低下が原因と思われる。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 女性委員だけではなく、委員が減少した理由として、発言力が強い委員が多く、自分の意見が通らずやりたいことができない。 委員数が少ないことにより、活動の規模が限られている状況であるため、委員の募集や女性が活動しやすい環境づくりの支援が必要です。 コミュニティ協議会などの他の団体にも参加している女性もいるため他団体と連携して活動するなど活動規模を広げ、さらに会員数の増加にもつなげることが必要です。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 広く市民の意見を募るためにも、委員の男女や世代間の人数のばらつきを少なくなるよう、新たな委員募集を支援します。 委員全体としても減少傾向にあり、活動の見直しを図ることができていない状態ですが、組織の体制を変更する等して、少ない人数でも持続可能な魅力的な活動を増やし、新しい女性委員の獲得につなげられるよう支援します。 若年層の女性委員がいない状態ですが、コミュニティ協議会や若者会議等に参加している女性委員に声掛けを行い、会員数の増加につなげる取り組みを支援します。 	市民協働推進事業	1,432	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり委員会だよりの発行や、市報への情報掲載により、広く市民に参加の呼びかけを行いました。 	737	<ul style="list-style-type: none"> 全体的な委員の減少となっており、女性委員については1名のみだったため割合は減少しませんでした。会員の減少に伴い、活動規模などが縮小しているため、モチベーションの低下が原因と思われる。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> まちづくり委員会の体制見直しや、組織改革を行い、多くの市民が活動しやすい活動テーマの設定や、他団体との連携を図る必要があります。 女性委員だけでなく全体的な委員の減少となっていることから、公募や声掛け、活動の周知を行い、委員の増加を図る必要があります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	新規起業者の女性の割合	%	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	女性が参画しやすい環境づくり			40/10	20/12	50/25	0/27	100/30
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	女性の能力向上やチャレンジの支援	【実績に基づく数値】 ※全国割合約30% H28 新規起業者10人 (うち女性4人) H29 新規起業者 5人 (うち女性1人) H30 新規起業者 4人 (うち女性2人) R01 新規起業者 3人 (うち女性0人) R02 新規起業者 1人 (うち女性1人) ・市では、H25より幅広い起業の促進と雇用の創出を目的に補助制度を創設しました。(1/2以内、上限50万円) ・その後、空き店舗活用やUIターン者の起業を支援するために、制度を見直し(1/2以内、上限30万円)、UIターン者(60万円)、空き店舗活用(1/3以内、上限3万円)支援しています。						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	女性の起業を支援するため、情報や研修などの機会を提供します。							
24	予算事業名	新規起業支援事業	【目標値の根拠】						
	事業概要	新規創業しようとする個人及び中小企業者の支援	男女共同参画推進委員会からのご意見						
	男女共同参画での視点	女性の起業をサポートするための援助							
	推進課 (室)	商工課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 産業競争力強化法に基づき、H27年5月に国から創業支援事業計画の認定を受け、市と商工会が連携して創業支援の取組を始めました。 起業に興味のある方を対象に創業塾(5回)、個別相談会、創業セミナー(販路開拓セミナー)を開催し創業に向けた支援を行います。 起業家へ初期投資などに係る費用に対し補助金を交付します。 女性の起業をサポートするため、起業後のフォローアップを行います。 	補助金	4,650	創業塾 (全5回) 会場：堀之内公民館 参加者数：4人(うち女性1名) 日程：8月22日(火)、8月29日(火)、 9月5日(火)、9月19日(火)、 9月26日(火) 個別相談会 会場：湯之谷庁舎 参加者数：5人(うち女性1名) 日程：9月8日(金)、12月13日(水)、1月12日(金)、 3月16日(金) 販路開拓セミナー (全2回) 会場：小出ボランティアセンター 参加者数：7人(うち女性2名) 日程：3月5日(月)、3月12日(月)	1,800	<ul style="list-style-type: none"> 創業塾、個別相談会とも女性の参加者は少なかったものの、起業に結びつけることができました。 商工会や銀行などによるチェックや指導があり、今後の営業展開や事業運営などの知識・アドバイスを得ることができ、女性の起業をサポートすることができました。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性の起業をより促進するために、女性に限った創業における障壁などが無いか、今後、検証する必要がある、そうした課題を解決できる支援体制を整えていく必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 起業に興味のある方を対象に創業塾(5回)、個別相談会、セミナーを開催し創業に向けた支援を行います。 昨年同様の実施内容ですが、女性の参加促進を念頭に取組を進めます。 女性の起業支援をより一層、進められるよう、女性が起業するうえで課題となる点について、事業の実施を通して考えていきます。 	補助金	4,650	創業塾（全5回） 会場：堀之内公民館 参加者数：8人（うち女性7名） 日程：8月10日（金）、8月17日（金）、 8月24日（金）、8月31日（金）、 9月14日（金） 個別相談会 会場：湯之谷庁舎 参加者数：10人（うち女性6名） 日程：5月14日（月）、7月20日（金）、 9月28日（金）、1月23日（水）、 3月6日（水） 新規起業等にぎわい創出支援事業補助金 4件（うち女性2件）	1,484	<ul style="list-style-type: none"> 創業塾、個別相談会とも女性の参加者が多く、女性の起業意欲の高さを感じました。創業塾、個別相談会の講師による適格なアドバイスにより、実態にあった事業計画を作成し、起業に結びつけることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 創業塾、個別相談会を開催し女性の起業をサポートできるようアドバイスするとともに、起業後も事業が継続できるようフォローアップを行い支援していきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 起業に興味のある方を対象に創業塾(5回)、個別相談会、セミナーを開催し創業に向けた支援を行います。 昨年同様の実施内容ですが、女性の参加促進を念頭に取組を進めます。 女性の起業支援をより一層、進められるよう、女性が起業するうえで課題となる点について、事業の実施を通して考えていきます。 	補助金	4,000	創業塾（全5回+臨時相談会） 会場：小出ボランティアセンター 湯之谷庁舎（臨時相談会） 参加者数：11人（うち女性5名） 日程：8月2日（金）、8月9日（金）、 8月23日（金）、8月30日（金）、 9月6日（金）、9月25日（水） 個別相談会 会場：湯之谷庁舎 参加者数：11人（うち女性7名） 日程：6月10日（月）、7月12日（金）、 9月13日（金）、11月12日（火）、 1月15日（水） 新規起業等にぎわい創出支援事業補助金 3件（うち女性0件）	1,820	<ul style="list-style-type: none"> 創業塾、個別相談会とも女性の参加率が依然と高く、女性の起業意欲の高さを感じました。 創業塾、個別相談会の講師による適格なアドバイスにより、実態にあった事業計画を作成し、起業に結びつけることができました。また、全5回の創業塾では、女性の出席率も高く、継続して参加しやすい環境づくりができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き創業塾、個別相談会を開催し女性の起業をサポートするとともに、起業後も事業が継続できるようフォローアップを行い支援していきます。 創業塾、個別相談等の開催について引き続き周知していきます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 起業に興味のある方を対象に創業塾(5回)を開催する他、個別相談会を実施し、女性が起業するうえで課題となる点など、個々の状況に応じたきめ細かな相談により支援を行います。 起業後も、個別相談会や中小企業診断士による訪問を通じ、安定した経営に向け支援していきます。 	補助金	4,735	創業塾（全5回） 会場：小出ボランティアセンター 湯之谷庁舎（臨時相談会） 参加者数：8人（うち女性7名） 日程：11月6日（金）、11月13日（金）、 11月20日（金）、11月26日（木）、 12月4日（金） 個別相談会 会場：市役所本庁舎ほか 参加者数：4人（うち女性4名） 日程：5月27日（水）、6月17日（金）、 6月27日（金）、7月3日（火）、 8月8日（水）、7月3日（火）、 8月8日（水） 新規起業等にぎわい創出支援事業補助金 1件（うち女性1件）	799	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、創業塾、個別相談会とも女性の参加率が高く、女性の起業意欲の高さを示しています。 創業塾、個別相談会の参加者はあるものの、新規起業になかなか結びつかない中、実績の1件が女性でありました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 新規起業実績が減少傾向ですが、起業意欲の高い女性を新規起業へ導くために何が不足しているのか原因分析を進めるとともに、起業後のフォローアップを含め支援していきます。 創業塾、個別相談会の開催について、市内商工会など引き続き周知していきます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	研修会実施事業所数	社	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	女性が参画しやすい環境づくり			5/5	8/7	11/9	13/11	6/13
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	女性の能力向上やチャレンジの支援	【目標値の根拠】	【実績に基づく数値】 H28 中小企業大学校等 5社 8講座 8人 H29 中小企業大学校 7社 12講座 14人 H30 中小企業大学校等 10社 12講座 29人 R01 中小企業大学校等 12社 29講座 42人 R02 中小企業大学校等 6社 11講座 22人					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	企業等において、事業所内教育が実施されるよう啓発を行います。							
25	予算事業名	企業人材確保・育成支援事業 (旧 中小企業人材育成支援事業)							
事業概要		企業の新たな人材の確保と社員の能力開発・育成支援							
男女共同参画での視点		女性の能力向上を図る事業所内研修費用の助成等			男女共同参画推進委員からのご意見				
推進課 (室)		商工課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 社員の人材教育と女性の能力向上を進めるため、指定研修機関が実施する研修に参加する市内中小企業等に対して支援します。 自社で研修会を行う中小企業等に対しても、今年度から支援を行います。 	補助金	575	研修会受講企業 企業数：7社 12講座 受講人数：14人 (うち女性4人) 自社研修会実施企業 企業数：1社 受講人数：55人 (うち女性9人)	403	<ul style="list-style-type: none"> 指定研修機関の講座を受講した場合の他、今年度から自社で開催する研修会も助成の対象として制度を拡充しました。 企業側も人材育成の必要性を理解し研修会への参加が増加しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今後も制度の周知を図り、事業所内教育が実施されるよう周知を図っていきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 社員の人材教育と女性の能力向上を進めるため、指定研修機関が実施する研修に参加する市内中小企業等に対して支援します。 自社で研修会を行う中小企業等に対しても、今年度から支援を行います。 前年度と事業内容は一緒ですが、女性の能力向上とチャレンジの機会を増やすため、自社研修会の開催が増えるよう取組を進めます。 	補助金	700	研修会受講企業 企業数：10社 12講座 受講人数：29人（うち女性3人） 自社研修会実施企業 企業数：1社 受講人数：47人（うち女性6人）	652	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業大学のサテライトゼミを本市で開催したことから、研修受講者数は増加しましたが、女性の参加者は前年とほぼ同じ結果になりました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今後も制度の周知を図り、事業所内教育が実施されるよう周知を図っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 社員の人材教育と女性の能力向上を進めるため、指定研修機関が実施する研修に参加する市内中小企業等に対して支援します。 自社で研修会を行う中小企業等に対しても、支援を行い、女性の能力向上とチャレンジの機会を増やす取組を進めます。 	補助金	900	研修会受講企業 企業数：12社 18講座 受講人数：42人（うち女性7人） 自社研修会実施企業 企業数：1社 受講人数：39人（うち女性4人）	956	<ul style="list-style-type: none"> 本制度が定着し、新たな申請企業が少しずつ増えてきていることや、前年度に引き続き、中小企業大学のサテライトゼミを本市で開催したことから、研修受講者数は増加しました。 受講者が増えたことに伴い、女性の参加者も増加しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今後も制度の周知を図り、事業所内教育が実施されるよう周知を図っていきます。また、うおぬまものづくり振興協議会等の業界団体を通し、女性参加者促進が図られるよう働きかけて行きます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 社員の人材教育と女性の能力向上を進めるため、引き続き指定研修機関が実施する研修に参加する市内中小企業等に対して支援します。 自社で研修会を行う中小企業等に対しての支援も行い、女性の能力向上とチャレンジの機会を増やす取組を進めます。 	補助金	900	研修会受講企業 企業数：6社 11講座 受講人数：22人（うち女性3人） 自社研修会実施企業 該当なし	382	<ul style="list-style-type: none"> 制度の定着が見られたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度比で約半減となりました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> オンラインでの研修に加え、事業所内での感染防止対策も浸透していることから、各事業所が積極的に受講又は自社研修を開催できるよう周知を進めていきます。 一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）等の業界団体を通し、女性参加者促進が図られるよう働きかけて行きます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	市内事業所訪問数	社	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	女性が参画しやすい環境づくり			5/5	8/7	0/10	46/12	50/15
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	女性の能力向上やチャレンジの支援	【実績に基づく数値】 H28年度 5社 H29年度 8社 H30年度 0社 R01年度 46社 R02年度 50社	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(3)	女性の積極的活用と雇用分野の拡大を促進するため、事業主に対する啓発を行います。							
26	予算事業名	【再掲】企業人材確保・育成支援事業 (事業No18と同じ) ※旧 中小企業人材育成支援事業							
事業概要	企業の新たな人材の確保と社員の能力開発・育成支援								
男女共同参画での視点	女性の積極的活用に向けた啓発活動の実施		男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課 (室)	商工課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 女性の積極的活用に関する情報等の提供については、市内事業所を中心に訪問し、直接、啓発資料を渡しながら周知啓発を行います。 訪問企業については、業界団体の協力を得て実施するハッピーパートナー企業登録意向調査に基づいて選定する予定です。 	—	0	<ul style="list-style-type: none"> 女性の積極的活用に関する資料を、各庁舎へ配布するとともに、ハッピー・パートナー登録意向調査で関心を示した企業のうち7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問し、国が発行している「女性活躍推進アドバイザー」支援のリーフレットを配布しました。 女性を積極的に活用する企業を支援しました。 市内企業の総数は、2,342社で、今年度は63社に意向調査を実施しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットをただ配布するだけでなく直接企業に説明することにより、より効果的な啓発を行うことができましたが、具体的なアクションを起こすところまでは至りませんでした。 <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性社員の管理職登用などの把握を検討します。 女性登用等の促進には、継続した啓発活動が必要なことから、引き続きリーフレット等の配布とともに、市内企業への訪問により周知啓発を行っていきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 女性を積極的に活用する企業を支援します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 当初、新潟県と合同して制度説明のための企業訪問を実施する予定でしたが、日程調整不足により企業訪問を実施することができませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問を行うことができなかったため啓発を行うことができませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、企画政策課と連携し企業訪問を行い啓発活動を行っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。正会員46社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、商工課単独での取組の実施となったため、次年度は、企画政策課と連携し、更に詳しい内容を取組を深めて行きます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 女性の積極的活用に関する情報等の提供について、企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 前年度実施した魚沼ものづくり振興協議会に対する啓発活動を継続的に実施し、前年度よりもさらに一歩踏み込んだ啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。正会員46社・賛助会員4社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 現状、チラシ等の配布に留まっていますが、より効果的で、市内広範囲の事業所に対しての啓発活動を行えるよう検討を進めます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	市内事業所訪問数	社	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり			5/5	8/7	0/10	46/12	50/15
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	仕事と生活の調和のとれた就業環境づくり	【目標値の根拠】	【実績に基づく数値】 H28年度 5社 H29年度 8社 H30年度 0社 R01年度 46社 R02年度 50社					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	すべての労働者が仕事と生活の調和が実現できるよう、働き方の見直しについて、労使の理解を促します。							
27	予算事業名	【再掲】企業人材確保・育成支援事業 (事業No18と同じ) ※旧 中小企業人材育成支援事業							
事業概要	企業の新たな人材の確保と社員の能力開発・育成支援								
男女共同参画での視点	職場環境改善に関する情報提供の実施 (ワーク・ライフ・バランス)		男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課 (室)	商工課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 職場環境改善に関する情報等の提供については、市内事業所を中心に訪問し、直接、啓発資料を渡しながらか周知啓発を行います。 訪問企業については、業界団体の協力を得て実施するハッピーパートナー企業登録意向調査に基づいて選定する予定です。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 職場環境改善に関する資料を、各庁舎へ配布するとともに、ハッピー・パートナー登録意向調査で関心を示した企業のうち7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問し、国が支援している「職場意識改善助成金」のチラシを配布しました。 訪問の際に現状についての聞き取りを行い、働き方の見直しについて呼びかけました。 市内企業の総数は、2,342社で、今年度は63社に意向調査を実施しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットをただ配布するだけでなく直接企業に説明することにより、より効果的な啓発を行うことができましたが、具体的なアクションを起こすところまでは至りませんでした。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 県事業であるハッピー・パートナー登録制度の有効活用を図るため、企業側の状況等を把握し、ニーズに合った対応ができるようにする必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 訪問の際に現状についての聞き取りを行い、働き方の見直しについて呼びかけます。 	—	0	<ul style="list-style-type: none"> 当初、新潟県と合同して制度説明のための企業訪問を実施する予定でしたが、日程調整不足により企業訪問を実施することができませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問を行うことができなかったため啓発を行うことができませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、企画政策課と連携し企業訪問を行い啓発活動を行っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。 正会員46社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、商工課単独での取組の実施となったため、次年度は、企画政策課と連携し、更に詳しい内容を取組を深めて行きます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 職場環境改善に関する情報等の提供について、企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 前年度実施した魚沼ものづくり振興協議会に対する啓発活動を継続的に実施し、前年度よりもさらに一歩踏み込んだ啓発活動を実施します。 	—	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。 正会員46社・賛助会員4社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 現状、チラシ等の配布に留まっていますが、より効果的で、市内広範囲の事業所に対しての啓発活動を行えるよう検討を進めます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	ハッピー・パートナー企業登録数	社	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり			8/9	10/10	10/11	12/12	12/13
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	仕事と生活の調和のとれた就業環境づくり	【目標値の根拠】	【第3次計画の目標】 H17調査時 0社 H27調査時 8社 H32目標 13社					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	仕事と生活の両立を推進するとともに、男女の働き方の見直しを進めるため広く意識の啓発を図ります。							
28	予算事業名	男女共同参画事業							
事業概要	ワーク・ライフ・バランスに対する意識啓発		【目標値の根拠】						
男女共同参画での視点	同上								
推進課 (室)	企画政策課								
			男女共同参画推進委員からのご意見						

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 男女が共に働きやすく、活躍し続ける環境を作るため、ワーク・ライフ・バランスに関する情報等の提供について、新潟県が行うハッピーパートナー企業への登録の奨励を通して、意識啓発を図ります。 訪問企業については、業界団体の協力を得て実施するハッピーパートナー企業登録意向調査に基づいて選定する予定です。 今年度の対象は、人材不足が緊急の課題となっている、製造業と建設業とします。 意向調査 5～6月 企業訪問 6～7月 調査に当たっては、商工振興室と連携して行います。 	男女共同参画事業	156	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業の総数は、2,342社で、今年度は63社に意向調査を実施し、関心を示した10社を訪問し、意識啓発を行いました。 (商工振興室は10社のうち医療法人を除く7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問) ワーク・ライフ・バランスが実際に進むよう、ハッピー・パートナー企業登録制度と併せて、イクメン応援宣言企業向け助成制度などを企業に紹介しました。 意向調査 5月 63社 (ものづくり振興協議会、建設業協会) 企業訪問 7月 10社 新規登録 2社	85	<ul style="list-style-type: none"> 県男女平等推進課の職員2名と企業訪問したことで、直接、登録のメリット等が先方に伝えられ、新規登録につながったものと考えられます。 意向調査により、登録に前向きな企業に対して働きかけたことも効果があったものと思われます。 今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> 今回、意向を示したが、登録に至らなかった企業等を中心に、登録に至らなかった状況を確認しながら働きかけを行う必要があります。 登録した企業に対しては、今後、次の段階として、県と協力しながら、企業が制度の趣旨に沿った取組を進められるよう企業と関わっていく必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・商工振興室と連携し、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 ・今年度は試行的にワーク・ライフ・バランスに対する意識啓発活動を任意団体とともにを行います。 	—	0	<ul style="list-style-type: none"> ・魚沼職人大学(商店街の若手経営者の団体)が実施する「父の日」イベントと連携して、お父さんに渡すメッセージカードの裏面にワーク・ライフ・バランスに関する啓発文を掲載し、配布してもらう取組を行いました。 ・メッセージカードは、各店舗に配置し飲食や品物を購入した人を中心に配布しました。 配布期間 6月10(日)～17日(日) 配布部数 1,000部 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセージカード設置による意識啓発活動を実施しましたが、ハッピーパートナー企業の登録については、事業所訪問等による制度周知が少なく、指標どおりの成果には至りませんでした。
今後の対策・取組の方向等						
<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、商工観光課、県、商工団体等と連携して、ワーク・ライフ・バランスに対する意識啓発を推進する必要があります。 						
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・男女が共に働きやすい職場環境づくりや、仕事と家庭が両立できるような取組を支援するため、商工観光課や県と連携して、ハッピーパートナー企業への登録を推進します。 ・魚沼職人大学（商店街の若手経営者の団体）等と連携して、ワーク・ライフ・バランスに対する意識啓発活動を実施します。 	印刷製本費	54	<ul style="list-style-type: none"> ・魚沼職人大学(商店街の若手経営者の団体)が実施する「父の日」イベントと連携して、来店者にお父さんに渡すためのメッセージカードとワーク・ライフ・バランスに関するリーフレットを配布しました。また、市報にワーク・ライフ・バランスと「父の日」イベントに関する記事を掲載しました。 配布期間 6月9(日)～16日(日) 配布部数 500部 ・商工課と連携して、ものづくり振興協議会の会員企業にハッピー・パートナー企業の登録制度に関するリーフレットを配布しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発活動を実施したほか、ハッピー・パートナー企業の登録制度を市内事業所に周知しました。ハッピーパートナー企業の登録社数は増加しました。
今後の対策・取組の方向等						
<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県や関係団体と連携を深め、ワーク・ライフ・バランスに関する取組を周知する必要があります。 ・市内企業等に啓発資料を送付し、ハッピーパートナー企業の制度を企業等に説明します。 						
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と生活の両立を推進するとともに、男女の働き方の見直しを進めるため、ハッピーパートナー企業への登録の推進や意識啓発活動を実施します。 ・ハッピーパートナー企業の登録は、引き続き事業所等に対して制度周知を図ります。 ・意識啓発活動については、関係団体や新潟県と連携した取組を実施します。 	印刷製本費	86	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所を訪問するなどの活動を自粛せざるを得ませんでした。
今後の対策・取組の方向等						
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大による、リモートワークの急速な普及などによりワーク・ライフ・バランスへの注目が再び高まっていることから、引き続き啓発活動を行うとともに、ハッピー・パートナー企業の登録を推進するための企業訪問等を行います。 						

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	市内事業所訪問数	社	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり			5/5	8/7	0/10	46/12	50/15
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	仕事と生活の調和のとれた就業環境づくり	【実績に基づく数値】 H28年度 5社 H29年度 8社 H30年度 0社 R01年度 46社 R02年度 50社	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	仕事と生活の両立を推進するとともに、男女の働き方の見直しを進めるため広く意識の啓発を図ります。							
29	予算事業名	【再掲】企業人材確保・育成支援事業 (事業No18と同じ) ※旧 中小企業人材育成支援事業							
事業概要	企業の新たな人材の確保と社員の能力開発・育成支援								
男女共同参画での視点	ワーク・ライフ・バランスの推進に関する啓発活動		男女共同参画推進 委員からのご意見						
推進課 (室)	商工課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 仕事と生活の両立の推進に関する情報等の提供については、市内事業所を中心に訪問し、直接、啓発資料を渡しながら周知啓発を行います。 訪問企業については、業界団体の協力を得て実施するハッピーパートナー企業登録意向調査に基づいて選定する予定です。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 仕事と生活の両立の推進に関する資料を、各庁舎へ配布するとともに、ハッピー・パートナー登録意向調査で関心を示した企業のうち7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問し、県が支援している「ワーク・ライフ・バランス講師派遣」のチラシを配布しました。 市内企業の総数は、2,342社で、今年度は63社に意向調査を実施しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットをただ配布するだけでなく直接企業に説明することにより、より効果的な啓発を行うことができましたが、具体的なアクションを起こすところまでは至りませんでした。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、ワークライフバランス、働き方改革を推進するための支援内容の検討が必要です。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 当初、新潟県と合同して制度説明のための企業訪問を実施する予定でしたが、日程調整不足により企業訪問を実施することができませんでした。 企業訪問はできませんでしたが、働き方改革に関して市報により啓発を行いました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 市報による啓発は行ったものの、企業訪問を行うことができなかったため十分な啓発活動を行うことができませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、企画政策課と連携し企業訪問を行い啓発活動を行っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。 正会員46社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、商工課単独での取組の実施となったため、次年度は、企画政策課と連携し、更に詳しい内容を取組を深めて行きます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 仕事と生活の両立の推進に関する情報等の提供について、企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 前年度実施した魚沼ものづくり振興協議会に対する啓発活動を継続的に実施し、前年度よりもさらに一歩踏み込んだ啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。 正会員46社・賛助会員4社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 現状、チラシ等の配布に留まっていますが、より効果的で、市内広範囲の事業所に対しての啓発活動を行えるよう検討を進めます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	市内事業所訪問数	社	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり			5/5	8/7	0/10	46/12	50/15
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	仕事と子育てや介護との両立のための制度の普及と利用の促進	【実績に基づく数値】 H28年度 5社 H29年度 8社 H30年度 0社 R01年度 46社 R02年度 50社	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	育児・介護休業等の制度を定着化させ、男女を問わず取得しやすい就業環境づくりを推進します。							
30	予算事業名	【再掲】企業人材確保・育成支援事業 (事業No18と同じ) ※旧 中小企業人材育成支援事業							
事業概要	企業の新たな人材の確保と社員の能力開発・育成支援								
男女共同参画での視点	育児・介護休業等の制度に関する情報提供の実施		男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課 (室)	商工課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 育児・介護休業等の制度に関する情報等の提供については、市内事業所を中心に訪問し、直接、啓発資料を渡しながら周知啓発を行います。 訪問企業については、業界団体の協力を得て実施するハッピーパートナー企業登録意向調査に基づいて選定する予定です。 	—	0	<ul style="list-style-type: none"> 育児・介護休業等の制度に関する資料を、各庁舎へ配布するとともに、ハッピー・パートナー登録意向調査で関心を示した企業のうち7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問し、国の「(H29.10.1から改正育児・介護休業法がスタートします)」のチラシを配布しました。 市内企業の総数は、2,342社で、今年度は63社に意向調査を実施しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットをただ配布するだけでなく直接企業に説明することにより、より効果的な啓発を行うことができましたが、具体的なアクションを起こすところまでは至りませんでした。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、ハローワークと連携しながら制度の周知を図ります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 市内事業所を訪問し、育児・介護休業制度の周知を図ります。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 当初、新潟県と合同して制度説明のための企業訪問を実施する予定でしたが、日程調整不足により企業訪問を実施することができませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問を行うことができなかったため啓発を行うことができませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、企画政策課と連携し企業訪問を行い啓発活動を行っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。正会員46社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、商工課単独での取組の実施となったため、次年度は、企画政策課と連携し、更に詳しい内容を取組を深めて行きます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 育児・介護休業等の制度に関する情報等の提供について、企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 前年度実施した魚沼ものづくり振興協議会に対する啓発活動を継続的に実施し、前年度よりもさらに一歩踏み込んだ啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。正会員46社・賛助会員4社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 現状、チラシ等の配布に留まっていますが、より効果的で、市内広範囲の事業所に対する啓発活動を行えるよう検討を進めます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	ハッピー・パートナー企業登録数	社	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり			8/9	10/10	10/11	12/12	12/13
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	仕事と子育てや介護との両立のための制度の普及と利用の促進	【目標値の根拠】 H17調査時 0社 H27調査時 8社 H32目標 13社	【第3次計画の目標】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	育児・介護休業等の制度を定着化させ、男女を問わず取得しやすい就業環境づくりを推進します。							
31	予算事業名	【再掲】男女共同参画事業 (事業No28と同じ)							
事業概要		就業環境の改善を目指す啓発活動							
男女共同参画での視点		同上 (ハッピー・パートナー企業登録の促進)			男女共同参画推進委員からのご意見				
推進課 (室)		企画政策課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 就業環境の改善のため、新潟県が行うハッピーパートナー企業への登録の奨励を通して、意識啓発を図ります。 訪問企業については、業界団体の協力を得て実施するハッピーパートナー企業登録意向調査に基づいて選定する予定です。 今年度の対象は、人材不足が緊急の課題となっている、製造業と建設業とします。 意向調査 5～6月 企業訪問 6～7月 調査に当たっては、商工振興室と連携して行います。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業の総数は、2,342社で、今年度は63社に意向調査を実施し、関心を示した10社を訪問し、意識啓発を行いました。(商工振興室は10社のうち医療法人を除く7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問) ハッピー・パートナー企業への未登録企業に対して取組事例を紹介し、男女が共に働きやすい職場環境づくりへの意識啓発を行うとともに、ハッピー・パートナー企業への登録を呼びかけました。 意向調査 5月 63社 (ものづくり振興協議会、建設業協会) 企業訪問 7月 10社 新規登録 2社	0	<ul style="list-style-type: none"> 県男女平等推進課の職員2名と企業訪問したことで、直接、登録のメリット等が先方に伝えられ、新規登録につながったものと考えられます。 意向調査により、登録に前向きな企業に対して働きかけたことも効果があったものと思われます。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回、意向を示したが、登録に至らなかった企業等を中心に、登録に至らなかった状況を確認しながら働きかけを行う必要があります。 登録した企業に対しては、今後、次の段階として、県と協力しながら、企業が制度の趣旨に沿った取組を進められるよう企業と関わっていく必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・商工振興室と連携し、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 	—	0	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報やホームページを活用してハッピー・パートナー企業への登録を呼びかけました。 ・当初、新潟県と合同して制度説明のための企業訪問を実施する予定でしたが、日程調整不足により企業訪問を実施することができませんでした。 新規登録 0社	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ハッピーパートナー企業の登録については、事業所訪問等による制度周知が少なく、指 標どおりの成果には至りませんでした。 今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、商工観光課や県と連携して企業訪問を実施する等、取組の重要性について周知する必要があります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・介護休業等の制度を定着させる就業環境づくりを推進するため、ハッピーパートナー企業への登録を推進します。 ・広報誌等への周知記事の掲載、資料等の配布、登録制度の説明を実施する等、商工観光課や県と連携した取り組みを行います。 	—	0	<ul style="list-style-type: none"> ・市内公共施設に育児・介護休業等の制度に関するリーフレットを設置しました。 ・商工課と連携して、ものづくり振興協議会の会員企業にハッピー・パートナー企業の登録制度に関するリーフレットを配布しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・休業等の制度に関する意識啓発活動を実施したほか、ハッピー・パートナー企業の登録制度を市内事業所に周知しました。ハッピーパートナー企業の登録社数は増加しました。 今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県や関係団体と連携を深め、育児・介護休業等の制度に関する取組みを周知する必要があります。 ・市内企業等に啓発資料を送付し、ハッピーパートナー企業の制度を企業等に説明します。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・介護休業等の制度を定着化させ、男女を問わず取得しやすい就業環境づくりを推進させるため、ハッピーパートナー企業への登録の推進や意識啓発活動を実施します。 ・ハッピーパートナー企業の登録は、引き続き事業所等に対して制度周知を図ります。 ・意識啓発活動については、関係団体や新潟県と連携した取り組みを実施します。 	—	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所を訪問するなどの活動を自粛せざるを得ませんでした。 今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、育児・介護休業等の制度に関する取組みについて周知する必要があります。 ・関係団体や新潟県と連携し、ハッピー・パートナー企業の登録を増やせるよう企業訪問等を行います。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	ハローワーク再就職支援セミナー参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり			10/12	7/13	16/15	0/17	35/20
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	仕事と子育てや介護との両立のための制度の普及と利用の促進	【実績に基づく数値】 相談会参加企業 H28 8社、H29 6社、H30 5社 再就職支援セミナー参加者数 R01 0人、R02 35人 有効求職者数 (3月時点) H28 747人、H29 582人、H30 717人、R01 674人、R02 612人						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	出産・育児・介護等で休業した労働者の円滑な職場復帰や、再雇用制度の導入について事業主に対し啓発を行います。また、出産・育児・介護等で退職した者に対し、再就職の門戸が広がるよう事業主に対し働きかけるとともに、再就職を支援する制度の周知を行います。							
32	予算事業名	雇用対策事業	【目標値の根拠】						
事業概要		就職支援に関する啓発活動、情報提供	男女共同参画推進委員からのご意見						
男女共同参画での視点		出産、育児及び介護等を理由とした退職者の再就職枠拡大の働きかけ							
推進課 (室)		商工課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 再就職支援については、直接、市内事業所を訪問し、事業主に対して再就職枠の拡大を働きかける必要があります。 訪問企業については、業界団体の協力を得て実施するハッピーパートナー企業登録意向調査に基づいて選定する予定です。 また、求職者に対しては、ハローワーク主催の再就職セミナーを市ホームページ及びFMうおぬまで周知するとともに、再就職の相談会への参加を呼びかけます。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> ハッピー・パートナー登録意向調査で関心を示した企業のうち7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問し、ハッピー・パートナー企業登録等の話と併せて、出産・育児・介護等で退職した者に対し、再就職の門戸が広がるようリーフレットを配布し、事業主に働きかけました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の実績値が目標値及びH28実績よりも大幅に下回る見込みです。これは、参加企業数と有効求職者数の減少が原因だと考えられます。 リーフレットをただ配布するだけでなく直接企業に説明することにより、より効果的な啓発を行うことができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今後、ハローワークと連携しながら制度の周知を図ります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 出産、育児及び介護等で退職した者に対し、再就職の門戸が広がるよう事業主に働きかけます。 また、求人者に対しては、ハローワーク主催の再就職セミナー等について、市のホームページ等で周知するとともに、再就職の相談会への参加を呼びかけます。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 当初、新潟県と合同して制度説明のための企業訪問を実施する予定でしたが、日程調整不足により企業訪問を実施することができませんでした。 求人者に対しては、ハローワーク主催の再就職セミナー等について、市窓口で周知を行いました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 有効求職者が増加したことから、相談会参加者も増加し、目標通りの結果となりました。 周知については、企業訪問を行うことができなかったため、市窓口での啓発を行うだけになりました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今後、ハローワークと連携しながら制度の周知を図ります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 出産、育児及び介護等で退職した者に対し、再就職の門戸が広がるよう事業主に働きかけます。 また、求人者に対しては、ハローワーク主催の再就職セミナー等について、市のホームページ等で周知するとともに、再就職の相談会への参加を呼びかけます。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問を実施する予定でしたが、製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。正会員46社。 求人者に対しては、ハローワーク主催の再就職セミナー等について、市窓口で周知を行いました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今年度実施した魚沼ものづくり振興協議会に対する啓発活動を継続的に実施し、さらに一歩踏み込んだ啓発活動を実施します。 今後、ハローワークと連携しながら制度の周知を図ります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 出産、育児及び介護等で退職した者に対し、再就職の門戸が広がるよう引き続き事業主に働きかけます。 また、求人者に対しては、ハローワーク主催の再就職セミナー等について、市のホームページ等で周知するとともに、再就職の相談会への参加を呼びかけます。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問を実施する予定でしたが、製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。 正会員46社・賛助会員4社。 求人者に対しては、ハローワーク主催の再就職セミナー等について、市窓口で周知を行いました。 ※ハローワーク小出65人（うち女性35人） 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今年度実施した一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）に対する啓発活動を継続的に実施することとします。 今後、ハローワークと連携しながら制度の周知を図ります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	ハッピー・パートナー企業登録数	社	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり			8/9	10/10	10/11	12/12	12/13
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	仕事と子育てや介護との両立のための制度の普及と利用の促進	【目標値の根拠】	【第3次計画の目標】 H17調査時 0社 H27調査時 8社 H32目標 13社					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	出産・育児・介護等で休業した労働者の円滑な職場復帰や、再雇用制度の導入について事業主に対し啓発を行います。また、出産・育児・介護等で退職した者に対し、再就職の門戸が広がるよう事業主に対し働きかけるとともに、再就職を支援する制度の周知を行います。							
33	予算事業名	【再掲】男女共同参画事業（事業No28と同じ）							
事業概要	再就職支援に関する啓発活動、情報提供等の実施		男女共同参画推進委員からのご意見						
男女共同参画での視点	仕事と子育てや介護を両立させることができる意識啓発								
推進課 (室)	企画政策課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 仕事と子育てや介護を両立させることができる雇用環境を整えるため、新潟県が行うハッピーパートナー企業への登録の勧奨を通して、意識啓発を図ります。 勧奨に当たっては、業種を選定し、企業に対する意向調査を行ったうえで、登録に対する意向にあわせて企業訪問を行います。 今年度の対象企業は、人材不足が緊急の課題となっている、製造業と建設業とします。 意向調査 5～6月 企業訪問 6～7月 調査に当たっては、商工振興室と連携して行います。 	—	0	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業の総数は、2,342社で、今年度は63社に意向調査を実施し、関心を示した10社を訪問し、仕事と子育てや介護を両立させることができる雇用環境を整えていただくよう意識啓発を行いました。 (商工振興室は10社のうち医療法人を除く7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問) 育児・介護休暇制度の利用が実際に進むよう、ハッピー・パートナー企業登録制度と併せて、イクメン応援宣言企業向け助成制度などを企業に紹介しました。 <p>意向調査 5月 63社 (ものづくり振興協議会、建設業協会) 企業訪問 7月 10社 新規登録 2社</p>	0	<ul style="list-style-type: none"> 県男女平等推進課の職員2名と企業訪問したことで、直接、登録のメリット等が先方に伝えられ、新規登録につながったものと考えられます。 意向調査により、登録に前向きな企業に対して働きかけたことも効果があったものと思われます。 <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回、意向を示したが、登録に至らなかった企業等を中心に、登録に至らなかった状況を確認しながら働きかけを行う必要があります。 登録した企業に対しては、今後、次の段階として、県と協力しながら、企業が制度の趣旨に沿った取組を進められるよう企業と関わっていく必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の取組を踏まえて、意向調査を行った企業のうち、「興味があるが、現在は検討していない」といった、多少なりとも関心を持つ企業に対して積極的な働きかけを行います。 また、商工振興室と連携し、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 企業訪問 1～3月 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 市の広報やホームページを活用してハッピー・パートナー企業への登録を呼びかけました。 当初、新潟県と合同して制度説明のための企業訪問を実施する予定でしたが、日程調整不足により企業訪問を実施することができませんでした。 新規登録 0社	0	<ul style="list-style-type: none"> ハッピーパートナー企業の登録については、事業所訪問等による制度周知が少なく、指標どおりの成果には至りませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今後は、商工観光課や県と連携して企業訪問を実施する等、取組の重要性について周知する必要があります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 仕事と子育てや介護を両立させることができる雇用環境を整えるため、ハッピーパートナー企業への登録を推進します。 市の広報やホームページ等を活用した周知記事の掲載、資料等の配布、登録制度の説明を実施する等、商工観光課や県と連携した取り組みを行います。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 市内公共施設に仕事と子育てや介護の両立に関するリーフレットを設置しました。 商工課と連携して、ものづくり振興協議会の会員企業にハッピー・パートナー企業の登録制度に関するリーフレットを配布しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 仕事と子育てや介護の両立に関する意識啓発活動を実施したほか、ハッピー・パートナー企業の登録制度を市内事業所に周知しました。ハッピーパートナー企業の登録社数は増加しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 新潟県や関係団体と連携を深め、仕事と子育てや介護の両立に関する取組みを周知する必要があります。 市内企業等に啓発資料を送付し、ハッピーパートナー企業の制度を企業等に説明します。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 出産・育児・介護等で休業した労働者の円滑な職場復帰や、仕事と子育てや介護を両立させることができる雇用環境を整えるため、ハッピーパートナー企業への登録を推進や意識啓発活動を実施します。 ハッピーパートナー企業の登録は、引き続き事業所等に対して制度周知を図ります。 意識啓発活動については、関係団体や新潟県と連携した取り組みを実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所を訪問するなどの活動を自粛せざるを得ませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、仕事と子育てや介護の両立に関する取組みを周知する必要があります。 関係団体や新潟県と連携し、ハッピー・パートナー企業の登録を増やせるよう企業訪問等を行います。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	延べ男性参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり			21/20	22/25	20/30	15 /35	0/40
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	男性の立場からの男女共同参画の促進	【実績に基づく数値】 H28実績 4講座 延べ21回 参加者283人 (うち男性21人) H29実績 4講座 延べ18回 参加者261人 (うち男性22人) H30実績 5講座 延べ22回 参加者267人 (うち男性20人) 2019実績 5講座 延べ16回 参加者174人 (うち男性15人) 2020実績 新型コロナウイルスの影響により実施講座なし						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	男性が参加しやすい各種研修会や講習会を実施します。							
34	予算事業名	【再掲】地区公民館講座教室事業 (事業No01と同じ)			【目標値の根拠】				
事業概要		家事・育児に関する地区公民館講座教室の開催			男女共同参画推進委員からのご意見				
男女共同参画での視点		男性も参加しやすい講座の開催							
推進課 (室)		生涯学習課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2018年度	<p>・前年度の結果を踏まえて、親子で参加できる教室の開催数を増やしました。</p> <p>【料理教室】4回 9時30分～ 会場：広神農業改善環境センター 定員：20人 日付・内容： 笹団子、山賊汁、郷土料理 (きっこうし漬け等)</p> <p>【目からウロコの簡単和食】4回 10時～ 会場：小出北部公民館 定員：13人 日付・内容： 春のちらし寿司・鯛の昆布メ等、おだしを味わう なんちゃって松茸ごはん等、京風お雑煮、おせち料理</p> <p>【子育て教室】4回 10時～ 会場：広神コミセン 定員：10人 内容：自然なおむつはずし、足育、発育発達 虫よけスプレーと顔のリンパ流し</p> <p>【親子で一緒】3回 9時30分～ 内容：男性保育士2名から親子遊びを学ぶ 親子で「お茶」の初歩を学ぶ 内容：親子で電動糸鋸を使い置物を作る</p> <p>【子育てパパママ教室】7回 10時～ 内容：親子で絵本・紙芝居・わらべ歌・親子遊び等</p>	講座開催経費	173	<p>・男性が参加しやすいように土曜の開催を多くしました。</p> <p>【料理教室】 参加者数64人 うち男性3人 (前年5人)</p> <p>【目からウロコの簡単和食】 参加者数53人 うち男性0人 (前年0人)</p> <p>【子育て教室】 参加者数31人 うち男性0人 (新規事業)</p> <p>【親子で一緒】 参加者数38人 うち男性9人 (新規事業)</p> <p>【子育てパパママ教室応援します】 参加者数99人 うち男性5人 (前年15人)</p>	121	<p>・土曜日開催の講座を多く実施しました。前年と比較し、男性の参加数は減少しました。</p> <p>・減少の理由として、男性の参加を積極的に促すような周知内容が少なかったためと思われる。</p> <p>今後の対策・取組の方向等</p> <p>・講座の開催曜日や内容について、男性が取り組みやすいものを考えていきます。</p> <p>・料理や子育て講座の周知の際は、男性の参加を歓迎し、促すような内容にす必要があると考えます。</p>

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2019年度	<p>・家庭における男性の家事、育児への参加を推進するため、料理教室、子育て講座を実施します。</p> <p>【親子で一緒 親子で遊ぼう】 内容：親子遊びを学ぶ</p> <p>【目からウロコの簡単和食】4回 内容：さつき寿司、茶わん蒸し等、ごま味噌素麺、揚げナスの茸あん等、大根菜飯、煮干しだしの味噌汁 白がゆ、お正月の椀盛り等</p> <p>【子育てパパママ応援します！】7回 内容：親子で絵本・紙芝居・わらべ歌・親子遊び等</p> <p>【料理教室】3回 【キッズクッキング&パパママのリフレッシュ講座】 【子育て教室】3回 内容：自己肯定感、親子で楽しくおやつ作り 子育て講座（冬の親子遊び）</p>	講座開催 経費	215	<p>・料理教室、子育てに関する講座を開催しました。</p> <p>【親子で一緒 親子で遊ぼう】 講座の開催下限人数に達しなかったため中止</p> <p>【目からウロコの簡単和食】 延べ参加者57人　うち男性7人（前年0人）</p> <p>【子育てパパママ応援します！】 参加者（親）48人　うち男性1人（前年7人）</p> <p>【料理教室】 参加者17人　うち男性0人（前年3人）</p> <p>【キッズクッキング&パパママリフレッシュ講座】 参加者数（親）7人　うち男性2人（新規事業）</p> <p>【子育て教室】 参加者（親）45人　うち男性5人（前年1人）</p>	214	<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした講座もあり、前年と比較して参加者数自体が減少しています。</p> <p>・男性の参加者数も前年と比較して減少していますが、参加者数の減少によるものと思われる。</p>
						今後の対策・取組の方向等
						<p>・引き続き、講座の開催曜日や内容について、男性が取り組みやすいものを考えていきます。</p> <p>・料理や子育て講座の周知の際は、男性の参加を歓迎し、促すような内容にする必要があると考えます。</p>
2020年度	<p>・親子での参加となる講座と料理講座をとおして、男性の育児、家事への参加促進を目指します。</p> <p>【親子茶道教室】全1回　6月予定 会場：堀之内公民館 内容：親子で茶道の初歩を学ぶ</p> <p>【目からウロコの簡単和食】全3回 会場：小出北部公民館 日付・内容： 5月28日(木)ぬか床 9月24日(木)塩こうじ 12月23日(木)味噌づくり</p> <p>【小北メンズクッキング】全2回　時期未定 会場：小出北部公民館 内容：男性向けの料理教室</p> <p>【キッズクッキング&パパママのリフレッシュ講座】全1回　2月予定 会場：湯之谷公民館 内容：子どもは料理教室。親はリフレッシュ体操教室。終了後、子どもの手作り料理を食べる。</p>	講座開催 経費	157	<p>・いずれの事業も、新型コロナウイルスの影響により実施できませんでした。</p>	0	<p>・計画していた事業はいずれも飲食を伴うものであり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とせざるを得ませんでした。</p>
						今後の対策・取組の方向等
						<p>・引き続き、講座の開催曜日や内容について、男性が取り組みやすいものを考えていきます。</p> <p>・料理や子育て講座の周知の際は、男性の参加を歓迎し、促すような内容にする必要があると考えます。</p>

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	家庭教育等に関する講座等の延べ男性参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり			-/-	124	99/40	133/125	7/130
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	男性の立場からの男女共同参画の促進	【実績に基づく数値】 H28実績 9回 参加者1,063人 H29実績 8回 参加者1,007人 (うち男性124人) H30実績 14回 参加者1,367人 (うち男性99人) R1実績 17回 参加者880人 (うち男性133人) R2実績 2回 参加者290人 (うち男性7人)	【目標値の根拠】 ・H29から男性参加者数の把握を開始しましたので、実績値が確定した後に目標値を設定しました。 ・H30日本PTA全国研究大会新潟大会の実施に伴い、男性参加者が多く見込める市PTA連絡協議会講演会が行えず、市外で行われる講演会に参加することとなったため、参加人数の把握が困難なことから、その分の目標値を下げています。					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	男性が参加しやすい各種研修会や講習会を実施します。							
35	予算事業名	【再掲】家庭教育事業 (事業No02と同じ)							
事業概要	家庭教育等に関する講座や学習会等の開催及び支援		男女共同参画推進委員会からのご意見						
男女共同参画での視点	男性も参加しやすい講座の開催								
推進課 (室)	生涯学習課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、家庭教育等に関する講座や学習会等の開催及び支援を行います。 PTA事業の支援に当たっては、男女共同参画に資する要素を取入れてもらうよう働きかけていきます。 今年度より新規に家庭教育講座を実施し、家庭における男女平等について理解を深める啓発活動の幅を広げます。 今年度は、男性が参加しやすい方法を検証しながら進めていきます。 <p>【ぶち♪トトくらぶ】1回 開催：10月 対象：未就学児とその親 (定員50人) 内容：芋ほり (親子で自然に触れ合う体験)</p> <p>【子ども育み講座事業】4回 (予定) 対象：市内小中学校PTA、子育て支援団体 内容：主催団体と連携し、講演会や学習会等の支援を行う。</p> <p>【市立幼稚園・保育園PTA保護者会学習支援事業】4回 (予定) 対象：市内幼稚園・保育園PTA保護者会 内容：主催団体と連携し、講座や学習会等の支援を行う。</p> <p>【家庭教育講座】全3回…《新規》 開催：夏頃 対象：市内の保護者向け (定員30人) 内容：親が安心して子育てや家庭教育を行えるよう支援する講座を実施</p>	講座開催経費	458	<p>【ぶち♪トトくらぶ】 ※参加：21人 (うち男性3人)</p> <p>【子ども育み講座事業】 ・広神地区PTA講演会 演題：～子どものやる気と自立～育てるコツを教えます</p> <p>・入広瀬地区PTA講演会 内容：食育に関する講演会</p> <p>・小出小学校PTA保護者学習会</p> <p>・堀之内中学校PTA講演会 演題：成長するための思春期の過ごし方</p> <p>・とんとんお話の部屋人形劇 内容：ひとみ座人形劇</p> <p>・絵本の家ゆきぼうし家庭教育講座 演題：絵本のよここびをわかちあう ※参加：970人 (うち男性56人)</p> <p>【市立幼稚園・保育園PTA保護者会学習支援事業】 ・ふたば東保育園親子おたのしみ会</p> <p>・ふたば西保育園親子教室</p> <p>・すもんこども園親子遊び</p> <p>・伊米ヶ崎保育園親子運動教室 ※参加：349人 (うち男性34人)</p> <p>【家庭教育講座】全3回…《新規》 ※参加：27人 (うち男性6人)</p>	322	<p>・男性の講座等への参加し易さとしては、親子で参加するもの、PTAで開催するものなどが比較的参加し易いため、そうした講座等への男性の参加を促すことにより、男女平等についての理解を深めるきっかけづくりができたと考えられます。</p> <p>・H30は予定より多くの講座を実施できた事業があったこと、また新規の講座事業を実施したことにより、参加者総数は前年度より多くなりました。</p> <p>今後の対策・取組の方向等</p> <p>・男性の参加を促すため、親子や夫婦など家庭全体で参加しやすい講座等を企画し、男女平等の意識を啓発していきます。</p>

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、家庭教育等に関する講座や学習会等の開催及び支援を行います。 P T A事業の支援に当たっては、男女共同参画に資する要素を取入れてもらうよう働きかけていきます。 昨年度実施した家庭教育講座を継続実施し、また、今年度より新規で家庭教育支援チームと連携した講座を開催することで、家庭における男女平等について、理解を深める啓発活動の幅を広げます。 男性の参加を促すことにより、男女平等について理解を深めるきっかけづくりを行います。 	講座開催 経費	571	<p>【ぶち♪トトくらぶ】 ※クマの出演により中止</p> <p>【子ども育み講座事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚沼市P T A連絡協議会研修大会 演題：肯定から始まる笑い前向きに生きるヒント 小出小学校P T A保護者学習会 内容：家庭教育に関する講座 堀之内中学校P T A講演会 演題：山脇充の人生いっすねー！ ※参加606人（うち男性110人） <p>【市立幼稚園・保育園P T A保護者会学習支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐梨保育園保護者会研修会 ふたば西保育園親子運動教室 すもんこども園親子運動遊び ※参加210人（うち男性20人） <p>【家庭教育講座】 全3回 参加（全3回計）：39人（うち男性3人）</p> <p>【家庭教育支援チーム連携講座】 全7回…《新規》 参加（全7回計）：延べ25人（うち男性0人）</p>	401	<ul style="list-style-type: none"> 講座の内容や開催方法を工夫し、家庭における男女平等についての理解を深める啓発活動につなげました。 R1は市内での熊の出没や新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していたイベント等を中止したことにより、参加者総数は前年度より大きく減少しましたが、男性の参加し易い内容だったからか、男性参加者数は目標値を上回ることができました。
				<p>【ぶち♪トトくらぶ】 1回 対象：未就学児とその親（定員50人） 内容：芋ほり（親子で自然に触れ合う体験）</p> <p>【子ども育み講座事業】 4回 対象：市内小中学校P T A、子育て支援団体 内容：主催団体と連携し、講演会や学習会等の支援を行う。</p> <p>【市立幼稚園・保育園P T A保護者会学習支援事業】 3回 対象：市内幼稚園・保育園P T A保護者会 内容：主催団体と連携し、講座や学習会等の支援を行う。</p> <p>【家庭教育講座】 全3回 対象：市内の保護者向け（定員30人） 内容：親が安心して子育てや家庭教育を行えるよう支援する講座を実施</p> <p>【家庭教育支援チーム連携講座】 全6回…《新規》 対象：市内の保護者向け（定員10人） 内容：子育てレッスン</p>		<p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 男性の参加を促すため、親子や夫婦など家庭全体で参加しやすい講座等を企画し、男女平等の意識を啓発していきます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、家庭教育等に関する講座や学習会等の開催及び支援を行います。 P T A事業の支援に当たっては、男女共同参画に資する要素を取入れてもらうよう働きかけていきます。 家庭教育講座についても継続実施とし、また、昨年度、新規で家庭教育支援チームと連携した講座を開催することで、家庭における男女平等について、理解を深める啓発活動の幅を広げます。 男性の参加を促すことにより、男女平等について理解を深めるきっかけづくりを行います。 	講座開催 経費	701	<p>【ぶち♪トトくらぶ】 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度計画なし。</p> <p>【子ども育み講座事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚沼市P T A連絡協議会研修大会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 小出小学校P T A保護者学習会 内容：家庭教育に関する講座 日時：R2.10.29 会場：小出小学校 参加：70人（うち男性5人） 堀之内中学校P T A講演会 演題：「世界一周旅日記」 日時：R2.10.29 会場：堀之内中学校 参加：220人（うち男性2人） とんとんお話の部屋人形劇 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>【市立幼稚園・保育園P T A保護者会学習支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふたば東保育園親子お楽しみ会 日時：R2.6.13 会場：ふたば東保育園 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ふたば西保育園親子運動教室 日時：R2.6.20 会場：ふたば西保育園 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 <p>【家庭教育講座】 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度計画中止</p> <p>【家庭教育支援チーム連携講座】 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度計画中止</p>	234	<ul style="list-style-type: none"> 講座の内容や開催方法を工夫し、家庭における男女平等についての理解を深める啓発活動につなげました。 R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していた講座事業等の多くを中止したことにより、参加者総数は前年度より大きく減少しました。
				<p>【ぶち♪トトくらぶ】 1回 対象：未就学児とその親（定員50人） 内容：芋ほり（親子で自然に触れ合う体験）</p> <p>【子ども育み講座事業】 6回（予定） 対象：市内小中学校P T A、子育て支援団体 内容：主催団体と連携し、講演会や学習会等の支援を行う。</p> <p>【市立幼稚園・保育園P T A保護者会学習支援事業】 4回（予定） 対象：市内幼稚園・保育園P T A保護者会 内容：主催団体と連携し、講座や学習会等の支援を行う。</p> <p>【家庭教育講座】 全3回 対象：市内の保護者向け（定員30人） 内容：親が安心して子育てや家庭教育を行えるよう支援する講座を実施</p> <p>【家庭教育支援チーム連携講座】 全7回 対象：市内の保護者向け（定員10人） 内容：子育てレッスン</p>		<p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 男性の参加を促すため、親子や夫婦など家庭全体で参加しやすい講座等を企画し、男女平等の意識を啓発していきます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	ブックスタート当日男性参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり			-/-	28/-	22/30	17/32	16/34
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	男性の立場からの男女共同参画の促進	【実績に基づく数値】 総数24回 H28参加者数 185人 H29参加者数 206人 (うち男性28人) H30参加者数 156人 (うち男性22人) R1参加者数 117人 (うち男性17人) R2参加者数 153人 (うち男性16人) ※R2は、4～5月中止のため、開催数20回 ※R1は、3月中止のため、開催数22回 ※H29から男性参加者数の把握を開始しましたので、H28実績値はありません。						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	男性が参加しやすい各種研修会や講習会を実施します。							
36	予算事業名	【再掲】図書館管理運営事業 (事業No03と同じ)			【目標値の根拠】				
事業概要	市民の教育、文化の発展に寄与するため小出郷、広神図書館及び公民館図書室の管理運営を行う。								
男女共同参画での視点	ブックスタート事業をとおした男性も参加しやすい環境づくり (10ヶ月児及びその母、家族を対象に絵本の読み聞かせの実施と絵本の贈呈)			男女共同参画推進委員からのご意見					
推進課 (室)	生涯学習課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子どもへの読み聞かせをとおして、男女が協力しあって子育てを行うきっかけづくりにします。 家族なら誰でも参加しやすくなるように開催方法を工夫します。 <p>会場: 子育て支援センターばびぶ 日程: 毎月第3水曜日 13時～14時30分</p> <p>会場: 広神図書館 日程: 毎月第4土曜日 10時～11時30分</p>	ブックスタート経費	347	<p>3月末現在での実績は次のとおりです。 対象者合計206人参加者合計99人 (うち男性10人) 会場: 子育て支援センター</p> <p>4月18日 2人 (うち男性0人) 5月16日 7人 (うち男性1人) 6月20日 11人 (うち男性1人) 7月18日 12人 (うち男性1人) 8月 8日 7人 (うち男性0人) 9月19日 8人 (うち男性0人) 10月17日 9人 (うち男性1人) 11月21日 14人 (うち男性1人) 12月19日 7人 (うち男性0人) 1月23日 9人 (うち男性1人) 2月20日 10人 (うち男性1人) 3月 6日 17人 (うち男性1人)</p> <p>会場: 広神図書館</p> <p>4月28日 3人 (うち男性1人) 5月26日 2人 (うち男性1人) 6月23日 5人 (うち男性1人) 7月28日 6人 (うち男性0人) 8月25日 4人 (うち男性1人) 9月22日 2人 (うち男性0人) 10月27日 5人 (うち男性2人) 11月24日 3人 (うち男性1人) 12月22日 5人 (うち男性4人) 1月26日 3人 (うち男性1人) 2月16日 3人 (うち男性1人) 3月23日 2人 (うち男性1人)</p> <p>ブックスタート当日以外引渡者28人</p>	330	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート事業の男性参加者は22人となり、目標値を下回りました。また、ブックスタート対象者、当日参加者共に減少しました。 男性参加者の割合は、全体の1割程度と低い水準となっています。 男性が参加し易い方法を検討する必要があります。 <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 次年度は、男性参加者がブックスタート事業に積極的に参加できるように広報等を工夫しながら取組を進めていきます。 また、男性保護者の参加を働きかけるだけでなく、母子家庭が増えている現状においては、家族なら誰でも参加しやすくなるような方法を考える必要があります。 次年度は、そうした点も意識しながら取組を進めていきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子どもへの読み聞かせをとおして、男女が協力しあって子育てを行うきっかけづくりにします。 家族なら誰でも参加しやすくなるように開催方法を工夫します。 <p>会場：子育て支援センターばびぶ 日程：毎月第3水曜日 13時～14時30分</p> <p>会場：広神図書館 日程：毎月第4土曜日 10時～11時30分</p>	ブックスタート経費	347	<p>3月末現在での実績は次のとおりです。 対象者合計180人 参加者合計117人（うち男性17人） 会場：子育て支援センター 日程・参加者数：</p> <p>4月17日 6人（うち男性 0人） 5月15日 6人（うち男性 0人） 6月19日 7人（うち男性 0人） 7月17日 7人（うち男性 1人） 8月21日 6人（うち男性 1人） 9月18日 8人（うち男性 0人） 10月16日 9人（うち男性 1人） 11月20日 4人（うち男性 0人） 12月18日 11人（うち男性 0人） 1月22日 5人（うち男性 0人） 2月19日 7人（うち男性 0人） 3月25日 中止</p> <p>会場：広神図書館 日程・参加人数：</p> <p>4月27日 6人（うち男性 1人） 5月25日 2人（うち男性 2人） 6月22日 4人（うち男性 1人） 7月27日 4人（うち男性 1人） 8月24日 4人（うち男性 3人） 9月28日 4人（うち男性 1人） 10月26日 3人（うち男性 1人） 11月16日 5人（うち男性 1人） 12月21日 4人（うち男性 2人） 1月25日 2人（うち男性 0人） 2月15日 3人（うち男性 1人） 3月28日 中止 ブックスタート当日以外引渡者 43人</p>	327	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート事業の男性参加者は17人となり、目標値を下回りました。また、ブックスタート対象者、当日参加者共に減少しました。 今年度は、R2年3月開催分が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2開場とも中止となり、開催数も減ったことも、参加者数の減少の一因として考えられます。 参加した男性参加者は、読み聞かせボランティアから絵本の読み方や家族で絵本を読む楽しさを学ぶことで、男女が協力し合って育児をする意識が高まると思います。
				<p>今後の対策・取組の方向等</p> <p>・次年度は、男性参加者が参加し易くなるように広報等を工夫しながら取組を進めていきます。男性保護者の参加を働きかけるだけでなく、母子家庭が増えている現状においては、家族なら誰でも参加しやすくなるような方法を考える必要があり、そうした点も意識しながら取組を進めていきます。</p>		
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子どもへの読み聞かせをとおして、男女が協力しあって子育てを行うきっかけづくりにします。 図書館職員やボランティアスタッフが男女共同参画の立場から男性の子育て意識の向上を呼びかけられるよう、意識付けを行うように努めます。 家族なら誰でも参加しやすくなるように開催方法を工夫します。 <p>会場：小出郷図書館 日程：毎月第3水曜日 13時～14時30分</p> <p>会場：広神図書館 日程：毎月第4土曜日 10時～11時30分</p>	ブックスタート経費	347	<p>3月末現在での実績は次のとおりです。 対象者（10ヵ月児）合計216人 ・10ヵ月児参加者合計137人 ・保護者参加者合計153人（うち男性16人）</p> <p>会場：小出郷図書館 日程・10ヵ月児／保護者参加者数：</p> <p>4～5月 中止 6月17日 13人／13人（うち男性 0人） 7月15日 12人／13人（うち男性 1人） 8月19日 13人／12人（うち男性 0人） 9月16日 10人／10人（うち男性 1人） 10月21日 8人／8人（うち男性 0人） 11月18日 2人／2人（うち男性 0人） 12月16日 2人／2人（うち男性 1人） 1月20日 10人／10人（うち男性 1人） 2月17日 9人／12人（うち男性 0人） 3月17日 12人／12人（うち男性 0人）</p> <p>会場：広神図書館 日程・10ヵ月児／保護者参加者数：</p> <p>4～5月 中止 6月27日 6人／7人（うち男性 1人） 7月25日 5人／7人（うち男性 2人） 8月22日 5人／8人（うち男性 3人） 9月26日 1人／2人（うち男性 1人） 10月24日 4人／4人（うち男性 1人） 11月28日 9人／10人（うち男性 2人） 12月26日 2人／2人（うち男性 0人） 1月23日 3人／4人（うち男性 0人） 2月20日 4人／6人（うち男性 1人） 3月27日 7人／9人（うち男性 2人）</p> <p>ブックスタート当日以外引渡者 67人</p>	322	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート事業の男性参加者は16人となり、目標値を下回りました。また、ブックスタート対象者、当日参加者共に減少しました。 今年度は、4～5月開催分が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2開場とも中止となり、開催数も減ったことも、参加者数の減少の一因として考えられます。 参加した男性参加者は、読み聞かせボランティアから絵本の読み方や家族で絵本を読む楽しさを学ぶことで、男女が協力し合って育児をする意識が高まると思います。
				<p>今後の対策・取組の方向等</p> <p>・男性参加者が参加し易くなるように広報等を工夫しながら取組を進めていきます。男性保護者の参加を働きかけるだけでなく、母子家庭が増えている現状においては、家族なら誰でも参加しやすくなるような方法を考える必要があり、そうした点も意識しながら取組を進めていきます。</p>		

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	市内事業所訪問数	社	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり			5/5	8/7	0/10	46/12	50/15
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	男性の立場からの男女共同参画の促進	【実績に基づく数値】 H28年度 5社 H29年度 8社 H30年度 0社 R01年度 46社 R02年度 50社	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	家事・育児・介護等への参画が可能となるよう、男性の働き方の見直しを進める情報提供等を行います。							
37	予算事業名	【再掲】企業人材確保・育成支援事業 (事業No18と同じ) ※旧 中小企業人材育成支援事業							
事業概要	企業の新たな人材の確保と社員の能力開発・育成支援								
男女共同参画での視点	男性の働き方の見直しを進める情報提供の実施		男女共同参画推進 委員からのご意見						
推進課 (室)	商工課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 男性の働き方の見直しを進める情報等の提供については、市内事業所を中心に訪問し、直接、啓発資料を渡しながらか周知啓発を行います。 訪問企業については、業界団体の協力を得て実施するハッピーパートナー企業登録意向調査に基づいて選定する予定です。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 男性の働き方の見直しに関する資料を、各庁舎へ配布するとともに、ハッピー・パートナー登録意向調査で関心を示した企業のうち7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問し、県が支援している「ワーク・ライフ・バランス講師派遣」のチラシを配布しました。 市内企業の総数は、2,342社で、今年度は63社に意向調査を実施しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットをただ配布するだけでなく直接企業に説明することにより、より効果的な啓発を行うことができましたが、具体的なアクションを起こすところまでは至りませんでした。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、ワークライフバランス、働き方改革を推進するための支援内容の検討が必要です。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 市内事業所を訪問し、ワーク・ライフ・バランス等の周知を図ります。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 当初、新潟県と合同して制度説明のための企業訪問を実施する予定でしたが、日程調整不足により企業訪問を実施することができませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問を行うことができなかったため啓発を行うことができませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、企画政策課と連携し企業訪問を行い啓発活動を行っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。 正会員46社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、商工課単独での取組の実施となったため、次年度は、企画政策課と連携し、更に詳しい内容を取組を深めて行きます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 前年度実施したうおぬまものづくり振興協議会に対する啓発活動を継続的に実施し、前年度よりもさらに一歩踏み込んだ啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。 正会員46社・賛助会員4社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 現状、チラシ等の配布に留まっていますが、より効果的で、市内広範囲の事業所に対しての啓発活動を行えるよう検討を進めます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	男性の相談件数	件	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり			580/-	290/-	385/-	394/-	451/-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	男性の立場からの男女共同参画の促進	【目標値の根拠】	相談の総数 H28 1,524件、H29 1,121件、H30 1,373件、R元 1,175件 R2 1,024件 ・目標値の設定をしないため、実績のみの記載です。					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	家事・育児・介護等への参画が可能となるよう、男性の働き方の見直しを進める情報提供等を行います。							
38	予算事業名	市民相談事業							
事業概要		市民生活における総合的な相談窓口							
男女共同参画での視点		男性への相談・支援							
推進課 (室)		市民課							
			男女共同参画推進委員からのご意見						

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 男女が力を合わせて日々の生活を送ることができるよう、男性の仕事や日々の生活における問題解決のための相談支援を行います。 相談者の相談機会を増やすため、夜間相談や、毎月第1日曜日に休日相談も行います。(事前予約制) 	市民相談事業 ※ 各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体の予算額を記載	※3,568	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は290件の相談を受けました。 主な相談内容は、借金、消費者トラブル、生活困窮、相続、苦情等です。 男性の相談内容としては、ギャンブルやインターネットに関連する問題が多い傾向にあり、夫婦間のトラブルに発展するケースもありました。 	3,313	<ul style="list-style-type: none"> 困難な状況にある人も安心して暮せるよう支援しました。 また、相談内容によっては、弁護士や関係機関を案内するなどの対応を行いました。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き広報等を通じて相談窓口の周知を図るとともに、男性にとっても相談しやすい環境を作ります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 （千円）	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 （千円）	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、男性でも相談しやすい環境を整えながら、男女が力をあわせて日々の生活を送ることができるような相談支援を行います。 相談者の相談機会を増やすため、夜間相談や、毎月第1日曜日に休日相談も行います。（事前予約制） 	市民相談事業 ※ 各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体での予算額を記載	※3,687	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は385件の相談を受けました。 主な相談内容は、借金、消費者トラブル、生活困窮、相続、苦情等です。 男性の相談内容としては、近隣トラブルや借金問題が多い傾向にありました。 	3,495	<ul style="list-style-type: none"> 困難な状況にある人も安心して暮せるよう支援しました。 また、相談内容によっては、弁護士や関係機関を案内するなどの対応を行いました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き広報等を通じて相談窓口の周知を図るとともに、男性にとっても相談しやすい環境を作ります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、男性でも相談しやすい環境を整えながら、男女が力をあわせて日々の生活を送ることができるような相談支援を行います。 相談者の相談機会を増やすため、夜間相談や、毎月第1日曜日に休日相談も行います。（事前予約制） 	市民相談事業 ※ 各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体での予算額を記載	※3,584	<ul style="list-style-type: none"> R元年度は394件の相談を受けました。 主な相談内容は、借金、消費者トラブル、生活困窮、相続、苦情等でした。 男性の相談内容としては、近隣トラブルや借金問題が多い傾向にありました。 	2,985	<ul style="list-style-type: none"> 困難な状況にある人も安心して暮せるよう支援しました。 また、相談内容によっては、弁護士や関係機関を案内するなどの対応を行いました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き広報等を通じて相談窓口の周知を図るとともに、男性にとっても相談しやすい環境を作ります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、男性でも相談しやすい環境を整えながら、男女が力をあわせて日々の生活を送ることができるような相談支援を行います。 相談者の相談機会を増やすため、夜間相談や、毎月第1日曜日に休日相談も行います。（事前予約制） 	市民相談事業 ※ 各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体での予算額を記載	※3,499	<ul style="list-style-type: none"> R2年度は451件の相談を受けました。 主な相談内容は、借金、消費者トラブル、生活困窮、相続、苦情等でした。 男性の相談内容としては、近隣トラブルや借金問題が多い傾向にありますが、通信販売やネット回線の契約に関する相談が増えています。 	2,969	<ul style="list-style-type: none"> 困難な状況にある人も安心して暮せるよう支援しました。 また、相談内容によっては、弁護士や関係機関を案内するなどの対応を行いました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き広報等を通じて相談窓口の周知を図るとともに、男性にとっても相談しやすい環境を作ります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	啓発資料の情報提供や学習機会の広報回数	回	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	仕事と生活の調和のとれた働く場の環境づくり			-/-	41/20	19/40	36/40	24/40
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	男性の立場からの男女共同参画の促進	【実績に基づく数値】 ・当初目標数値根拠：HP7、ラジオ3回、その他10回 ・H28は指標を新潟県が発行するチラシの配布枚数としており、H29計画から指標を変更しました。そのためH28は数値がありません。H29実績を基に、当初目標20回から40回に変更します。	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	家事・育児・介護等への参画が可能となるよう、男性の働き方の見直しを進める情報提供等を行います。							
39	予算事業名	男女共同参画事業							
事業概要	男女共同参画に関する情報提供の実施								
男女共同参画での視点	男女共同参画に関する情報提供の実施		男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課 (室)	企画政策課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	・新潟県、関係部署と連携し、男女共同参画についての意識啓発を進める啓発資料の配付やホームページへ掲載を行い、情報の提供を行います。	男女共同参画事業	156	実績41件 内訳 HP10件 チラシ25件 市報1件 FMラジオ5件	85	・FMラジオでは、男女共同参画に関する基本的な内容を担当者とパーソナリティーがクイズ形式で話すなど、市民に分かりやすく伝える工夫をしています。
						今後の対策・取組の方向等
						・SNS等を活用し、男女共同参画に関する情報がリアルタイムに大勢の方に届くような仕組みを作ります。 ・男女共同参画に特化したホームページを作成し、情報の周知に努めます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県、関係部署と連携し、男女共同参画についての意識啓発を進める啓発資料の配付やホームページへ掲載を行い、情報の提供を行います。 	—	0	実績19件 内訳 HP 1件 チラシ17件 市報1件 FMラジオ0件	0	<ul style="list-style-type: none"> 市報やホームページへの掲載は回数が少ない結果となりましたが、魚沼職人大學と連携した新たな取り組みを実施しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 市の広報、ホームページ等を活用した情報提供を行います。 外部団体と連携した取り組みを引き続き実施します。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関する啓発資料の配布や市の広報、ホームページ等を活用した情報の提供を行います。 	—	0	実績36件 内訳 HP 2件 チラシ24件 市報2件 FMラジオ0件 啓発資料配布 8件	0	<ul style="list-style-type: none"> リーフレット、ポスター、チラシ、カードを市内の施設や関係課の窓口に設置するなど、前年度よりも回数は増えていますが、目標値より少ない結果となりました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 市の広報、ホームページ等を積極的に活用する必要があります。 情報発信する回数を増やすだけでなく、情報を必要とする市民に対して、効果的に情報提供する手段を検討します。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県、関係部署と連携して、男女共同参画に関する啓発資料を市内の施設に設置及び配布します。また、市の広報やホームページ等を活用した情報発信の推進にも努めます。 	—	0	実績24件 内訳 HP 3件 チラシ11件 市報3件 FMラジオ0件 啓発資料配布 7件	0	<ul style="list-style-type: none"> リーフレット等啓発資料の提供が少なかつたため、目標値より少ない結果となりました。 リーフレット等啓発資料の提供が少なかつた理由の一つとして、新型コロナウイルスの影響で、研修会等を中止したことなどが考えられます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> これまで取り組んできた、男女共同参画に関するリーフレット等啓発資料の市内施設への設置やホームページ等を活用した情報発信の仕方を再考し、より効果的な情報提供を検討します。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	情報提供回数	回	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	3	男女が互いの力を合わせて地域社会を活性化する環境づくり			1/1	1/1	1/2	1/2	1/3
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	農林業・商工業等自営業における女性の参画促進	【目標値の根拠】	【実績に基づく数値】 H28年度 1回 H29年度 1回 H30年度 1回 R01年度 1回 R02年度 1回					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	商工業等自営業の事業主に対して、女性の労働・生活環境の見直しを働きかけます。		【目標値の根拠】					
40	予算事業名	企業人材確保・育成支援事業 (旧 中小企業人材育成支援事業)		【目標値の根拠】					
事業概要		企業の新たな人材の確保と社員の能力開発・育成支援							
男女共同参画での視点		女性の労働・生活環境の見直しを働きかける情報提供の実施							
推進課 (室)		商工課							
			男女共同参画推進委員からのご意見						

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等)・増減等の理由
2017年度	・商工業等自営業に対して、商工会を通じてワークライフバランス等のパンフレットを配布するとともに、県が支援している「ワーク・ライフ・バランス講師派遣」のチラシを各商工会に配布します。	-	0	・県が支援している「ワーク・ライフ・バランス講師派遣」のチラシを各商工会に約20部配布しました。 ・商工会では窓口に設置し周知したのみでした。 ・結果、講師派遣の依頼はありませんでした。	0	・情報提供の目標回数は達成できたものの、チラシの配布だけでは、周知が弱いものと考えます。
						今後の対策・取組の方向等 ・女性の労働・生活環境の見直しは、継続した啓発活動が必要なことから、引き続きリーフレット等を配布し、情報提供を行っていきます。 ・しかし、チラシの配布だけでは周知が弱い ため、企業訪問のように、直接事業主と話をし、制度の説明をすることも検討する必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、商工会を通じてワークライフバランス等のパンフレットを配布し、情報提供を行います。 直接事業主と話す機会ができるように努めます。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革に関する市報による情報提供を行いました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 市報による情報提供を行ったものの、企業訪問等、直接事業主に説明することはできませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 女性の労働・生活環境の見直しは、継続した啓発活動が必要なことから、引き続き国県等のリーフレット等を活用するなど情報提供を行っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、商工会を通じてワークライフバランス等のパンフレットを配布し、情報提供を行います。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 商工会を通じて自営業の事業主に対して、ワークライフバランス等のパンフレットを配布し、女性の労働・生活環境の見直しを働きかける情報提供を行いました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 商工会を通じて情報提供を行いました。直接事業主に説明することはできませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 女性の労働・生活環境の見直しは、継続した啓発活動が必要なことから、今後も継続的に情報提供を行っていきます。 しかし、自営業者に対して女性の労働・生活環境の見直しを働きかけることは、単なる啓発活動だけでは限界があるため、新たな方法を、今後、検討していく必要があります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、商工会を通じてワークライフバランス等のパンフレットを配布し、情報提供を行います。 農業における家族経営協定を参考に、自営業の事業主に対して、女性の労働・生活環境の見直しきっかけ作りができないか、その方法について検討します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 商工会を通じて自営業の事業主に対して、ワークライフバランス等のパンフレットを配布し、女性の労働・生活環境の見直しを働きかける情報提供を行いました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 商工会を通じて情報提供を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、直接事業主に説明することはできませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 女性の労働・生活環境の見直しは、継続した啓発活動が必要なことから、今後も継続的に情報提供を行っていきます。 しかし、自営業者に対して女性の労働・生活環境の見直しを働きかけることは、単なる啓発活動だけでは限界があるため、新たな方法を、今後、検討していく必要があります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	家族経営協定締結農家戸数	戸	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	3	男女が互いの力を合わせて地域社会を活性化する環境づくり			68/65	71/66	71/73	71/74	72/75
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	農林業・商工業等自営業における女性の参画促進	【目標値の根拠】	市内農家件数 3,089戸(2015年農林業センサス) H27計画策定時 65戸 H32目標 75戸 ※H29に目標値を超えたことから70から75へ上方修正し、H30、31も段階的に上げた。					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(3)	女性が能力を十分に発揮し、経営者の1人として適正に評価されるよう、家族経営協定の締結を推進します。							
43	予算事業名	農業委員会運営事業							
事業概要	家族経営協定の促進								
男女共同参画での視点	女性が意欲とやり甲斐を持って農業経営に参画できるための支援		男女共同参画推進委員からのご意見	平成30年度第2回 ・協定を締結したままになっており、その後のフォローが無いため、締結した人たちが、その後に集まりお互いに情報共有できるような場を作ってもらいたい。					
推進課 (室)	農業委員会								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	・経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境を整備するため、家族間でルールを決め明文化する家族経営協定の締結を呼びかけます。	-	0	・女性が意欲とやり甲斐を持って農業経営に参画できるよう支援しました。 ・今年度は新たに3戸の協定締結がありました。	0	・家族全員が経営に参画し、役割分担したことで、家族員の役割意識、やりがい、責任感を高めることに繋がられました。 ・家事労働への男性の参加等、生活面でのルールについても協定書として取り交わすことで、女性の研修会や会合へ参加等、経営者として働きやすい環境づくりにつなげることができました。 今後の対策・取組の方向等 ・農家が減少する中、締結農家の現状値を堅持すべく目標値を改めます。 ・協定の締結後も締結者同士が、それぞれ取組状況や締結の効果等について情報交換できるよう、交流の機会等について検討する必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	・今年度も引き続き、家族経営協定の促進を図ります。	-	0	・家族経営協定を締結するために特に役割分担について家族で話し合いをしていただくことにより女性の負担になっている家事についても分担していただけるようアドバイスしました。 ・今年度は2戸の相談がありました。締結には至りませんでした。	0	・内容については理解していただけたと思いますが締結には至りませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						・引き続き締結に向けて進めていきたいと思えます。
2019年度	・今年度も引き続き、家族経営協定の促進を図ります。	-	0	・家族経営協定を締結することにより女性の負担が高くなりやすい家事労働について分担していただくよう説明をしました。 ・今年度は3戸の相談がありました。締結には至りませんでした。	0	・内容については理解いただけたと思いますが締結には至りませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						・引き続き締結に向けて進めていきたいと思えます。
2020年度	・今年度も引き続き、家族経営協定の促進を図ります。	-	0	・親子間協定について2戸の相談がありましたので、農業経営の状況や親の意向、後継者夫婦の意向を確認し、適切な役割分担について説明しました。 ・今年度は1戸の協定締結がありました。	0	・役割分担や就業条件を明確にし後継者夫婦が経営を任されることで経営意欲と責任をもって経営に参画できる環境づくりに繋げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						・引き続き締結に向けて関係機関と連携し進めていきます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	コミュニティ協議会 役員 (三役とその他 役員) の女性の人数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための 重点を置く目標)	3	男女が互いの力を合わせて地域社会を活性化する環境づくり			4/4	5/6	6/8	8/10	7/12
施策の方針 (上記達成のための 活動の方向づけ)	2	地域や防災、環境などにおける男女共同参画促進	【実績に基づく数値】 H28 14団体、役員数 56人 H29 15団体、役員数 60人 H30 15団体、役員数 60人 H31 15団体、役員数 60人 R2 15団体、役員数 60人 【目標値の根拠】						
施策の展開 (上記達成のための 取組み)	(1)	地域づくりにおける女性の参画を促進します。							
44	予算事業名	【再掲】コミュニティ活動支援事業 (事業No07と同じ)							
事業概要	コミュニティ協議会の活動の支援								
男女共同参画での視点	コミュニティ協議会の活動における女性の積極的な参加の促進		男女共同参画推進委 員からのご意見						
推進課 (室)	地域創生課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の役員について、選定時に女性を積極的に選任するように働きかけます。 ・今年度は、新しいコミュニティ協議会の設立が予定されています。そのため、協議会の設立時は、特に女性役員誕生のチャンスと捉え、準備段階から積極的に女性役員の登用を呼びかけていきます。 ・役員だけでなく、コミュニティ協議会の活動において、女性の積極的な参加が図られるよう働きかけを行います。 	コミュニティ活動 助成事業 補助金	17,120	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度は、新たに1団体 (伊米ヶ崎共和国) が設立されました。 ・コミュニティ協議会の役員について、準備段階から積極的に女性役員登用を呼びかけましたが、残念ながら新団体の役員に占める女性の人数は0人でした。 ・既存団体では女性役員が1名増えました。 	16,211	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに設立した団体について、女性が登用されなかった理由としては、設立までの準備段階において、女性の関りが無かったものと思われます。 ・既存団体での1名増は、普段からの団体の活動に継続的に関わって来たことが要因だと考えられます。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の登用は、いきなり行われるものではなく、日頃からの団体への関りが重要なことが分かったことから、普段の活動に対していかに女性の出番を作り関わってもらうか考え、取組を行います。 ・コミュニティ協議会が一堂に会する連絡協議会の場を活用し、女性役員がいる協議会の活動事例を紹介する等し、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進を図ります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 （千円）	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 （千円）	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の役員への登用は、日頃からの団体への関りが重要なことから、役員だけでなく、コミュニティ協議会の活動において、女性の積極的な参加が図られるよう働きかけを行います。 ・女性の目線を活かして地域課題の解決につなげられるよう活動を行えるよう団体に働きかけます。 ・これまで団体の活動に関わって来た女性については、積極的に女性役員の登用を呼びかけます。 ・コミュニティ協議会連絡協議会において、女性役員のいる協議会の活動事例を紹介する等、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進を図ります。 	コミュニティ活動 助成事業 補助金	13,665	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の全体会等を通じて、役員について積極的に女性役員登用を呼びかけました。結果、少しずつ女性役員の数も増えてきました。 ・既存団体では女性役員が1名増えました。 ・役員だけではなく、コミュニティ協議会の活動においては、PTAとの連携等により、少しずつではありますが女性の参加が増えてきました。 	15,316	<p>・既存団体での1名増は、普段からの団体の活動に継続的に関わって来たことが要因だと考えられます。</p> <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供会やPTAなどの女性役員への呼びかけや、友人等を誘って複数での活動への参加を呼びかけ、女性が参加しやすい環境づくりを目指します。 ・コミュニティ協議会が一堂に会する連絡協議会の場を活用し、女性役員のいる協議会の活動事例や多くの女性が参加した取り組み事例を紹介し、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進、活動への参加促進を図ります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の役員への登用は、日頃からの団体への関りが重要なことから、役員だけでなく、コミュニティ協議会の活動において、女性の積極的な参加が図られるよう働きかけを行います。 ・女性の目線を活かして地域課題の解決につなげられるよう活動を行えるよう団体に働きかけます。 ・これまで団体の活動に関わって来た女性については、積極的に女性役員の登用を呼びかけます。 ・コミュニティ協議会連絡協議会において、女性役員のいる協議会の活動事例を紹介する等、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進を図ります。 	コミュニティ活動 助成事業 補助金	16,597	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会の全体会等を通じて、役員について積極的に女性役員登用を呼びかけました。結果、少しずつ女性役員の数も増え、女性役員は8名となりました。 ・役員だけではなく、コミュニティ協議会の活動においては、PTAとの連携等により、少しずつではありますが女性の参加が増えてきました。結果的にはコミュニティ協議会の委員となっている女性は約85名となりました。 <p>聞こえてきた意見として（参考までに）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果的に少しずつ女性の参加が増えてきておりますが、積極的に会長や副会長として参画していくというよりは、陰で支えるという考えの方が強いようである。（そのような意見がありました） 	14,797	<p>・既存団体で女性役員が8名、委員が85名となりましたが、普段からの団体の活動に女性が継続的に関わって来たことが要因だと考えられます。</p> <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引続き子供会やPTAなどの女性役員への呼びかけや、友人等を誘って複数での活動への参加を呼びかけ、女性が参加しやすい環境づくりを目指します。 ・コミュニティ協議会が一堂に会する連絡協議会の場を活用し、女性役員のいる協議会の活動事例や多くの女性が参加した取り組み事例を紹介し、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進、活動への参加促進を図ります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のコミュニティ協議会の活動にとらわれず、コミュニティ協議会間での情報共有が行われ、女性の参加事例等が広く周知されることにより、役員だけでなく女性の積極的な参加が図られるよう働きかけを行います。 ・コミュニティ協議会連絡協議会において、会長等の役員会だけでなく、役員以外の女性も参加できるような研修会、意見交換会などを開催する等、コミュニティ協議会の活動に興味を持ってもらえるような働きかけを行います。 ・これまで活動に関わって来た女性については積極的に女性役員への登用を呼びかけるとともに、周囲の女性にも声をかけてもらい、協議会活動に参加しやすい環境づくりを呼びかけます。 	コミュニティ活動 助成事業 補助金	18,667	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で総会の開催が減少し、女性への呼びかけを積極的には行えず、女性役員は1名減の7名となりました。女性委員については、PTAとの連携等により、1名増の86名となりました。 ・女性の参画によって多様な意見が飛び交うことで、地域の問題に対してより広い視野で考えることができるようになってきました。 ・女性委員が女性の知り合いを誘うことで、コミ協の認知度向上につながりました。 	15,349	<p>・役員は微減・委員は微増となりました。女性に向けて参加を促し、実際に関わっていただき理解が進んでいることが要因だと考えます。</p> <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引続き子供会やPTAなどの女性役員への呼びかけや、友人等を誘って複数での活動への参加を呼びかけ、女性が参加しやすい環境づくりを目指します。 ・コミュニティ協議会連絡協議会の場を活用し、女性役員のいる協議会の活動事例や、多くの女性が参加した取り組み事例を紹介し、各協議会への意識啓発を行うことで、女性登用の促進と活動への参加促進を図ります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	まちづくり委員会の女性委員の割合	%	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	3	男女が互いの力を合わせて地域社会を活性化する環境づくり			31.3/27	35.7/31	32.5/36	33.3/36	33.3/36
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	地域や防災、環境などにおける男女共同参画促進	【実績に基づく数値】 H28 委員総数64人 女性20人 H29 委員総数42人 女性15人 H30 委員総数40人 女性13人 H31 委員総数36人 女性12人 R2 委員総数33人 女性11人 H29より女性委員の割合が下がっているため、H29の数値(35.7%≒36%)を目標に設定しました。	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	地域づくりにおける女性の参画を促進します。							
45	予算事業名	【再掲】市民協働推進事業(事業No23と同じ)							
事業概要	まちづくり委員会(まちづくりを推進する組織)への活動支援								
男女共同参画での視点	積極的な女性委員の募集と登用について組織へ働きかけ		男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課(室)	地域創生課								

年度	事業計画(男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果(男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価(成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり委員会(まちづくりを推進する組織)に対して、積極的な女性委員の募集と登用について事務局の立場として組織への働きかけを行います。 また、女性委員が発言しやすい環境となるよう、組織の運営について働きかけます。 	市民協働推進事業	1,223	<ul style="list-style-type: none"> 登録はあるものの出席しない委員に対して意向調査を行い、委員数が大きく減りました。 女性役員数についても横ばいでした。 	1,162	<ul style="list-style-type: none"> 女性委員の割合は増えてきましたが、全体数が下がったことによるものです。 委員が減少した理由としては、会自体の取組に対する魅力が下がったことにあります。その要因としては、発言力の強い男性により運営方針が決められていることにあります。
						<p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性委員の割合を増やす努力も必要ですが、委員全体数を上げて活動を活性化させる努力が必要です。特に、女性目線での活動を増やさなければ、新しい女性会員も入会しないため、活動の方向性を見直すよう働きかける必要があります。 男性の発言力の強さにより会の方向性が決められている状況にあるため、女性役員の積極的な登用とあわせて、女性が発言しやすい環境を整える必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な女性委員の募集と登用を行う前に、まずは、女性目線での活動を増やすことにより、新しい女性会員が増えるような環境を整えられるよう支援します。 また、女性委員が発言しやすい環境となるよう、特に、男性の発言力の強さにより会の方向性が決められている状況にあるため、女性役員の積極的な登用とあわせて、女性が発言しやすい環境を整える必要があります。 	市民協働推進事業	1,306	<ul style="list-style-type: none"> H26から実施してきた花じまんコンテストという活動が終わったことで、残念ながらその活動を主に携わってきた女性委員が1名退会しました。 女性役員数については増減なしでした。 	1,071	<ul style="list-style-type: none"> 女性委員も含めた委員の退会があり、割合も減少しました。他団体と連携した取り組みを増やし活動を活性化させる必要があります。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> （女性）委員が減少した理由としては、男性役員等の発言力が強く、自身の意見が反映されない状況が考えられます。女性役員の積極的な重用とともに女性が発言しやすい環境づくりの支援が必要です。 女性委員が取り組みたいと感じる活動を増やす支援が必要です。 上記を実施した上でコミュニティ協議会等他の地域づくり団体に参加する女性への呼びかけを行い、会員数の増加につなげることが必要です。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 現在いる女性委員からの意見または提案を積極的に吸い上げる環境を整えるよう支援し、女性を取り組みたいと思える活動を増やし、新しい女性会員が増えるよう取り組む必要があります。 他の地域づくり団体に参加する女性への呼びかけを行い、会員数の増加につなげることが必要です。 	市民協働推進事業	1,429	<ul style="list-style-type: none"> 花じまんコンテストという活動が終了し、それに変わる、花いっぱい活動を実施しました。木育の推進についても行いました。 女性役員数については1名減でした。 	1,136	<ul style="list-style-type: none"> 全体的な委員の減少となっており、女性委員については1名のみだったため割合は減少しませんでした。会員の減少に伴い、活動規模などが縮小しているため、モチベーションの低下が原因と思われます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 女性委員だけではなく、委員が減少した理由として、発言力が強い委員が多く、自分の意見が通らずやりたいことができない。 委員数が少ないことにより、活動の規模が限られている状況であるため、委員の募集や女性が活動しやすい環境づくりの支援が必要です。 コミュニティ協議会などの他の団体にも参加している女性もいるため他団体と連携して活動するなど活動規模を広げ、さらに会員数の増加にもつなげることが必要です。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 広く市民の意見を募るためにも、委員の男女や世代間の人数のばらつきを少なくするよう、新たな委員募集を支援します。 委員全体としても減少傾向にあり、活動の見直しを図ることができていない状態ですが、組織の体制を変更する等して、少ない人数でも持続可能な魅力的な活動を増やし、新しい女性委員の獲得につなげられるよう支援します。 若年層の女性委員がいない状態ですが、コミュニティ協議会や若者会議等に参加している女性委員に声掛けを行い、会員数の増加につなげる取り組みを支援します。 	市民協働推進事業	1,432	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり委員会だよりの発行や、市報への情報掲載により、広く市民に参加の呼びかけを行いました。 	737	<ul style="list-style-type: none"> 全体的な委員の減少となっており、女性委員については1名のみだったため割合は減少しませんでした。会員の減少に伴い、活動規模などが縮小しているため、モチベーションの低下が原因と思われます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> まちづくり委員会の体制見直しや、組織改革を行い、多くの市民が活動しやすい活動テーマの設定や、他団体との連携を図る必要があります。 女性委員だけでなく全体的な委員の減少となっていることから、公募や声掛け、活動の周知を行い、委員の増加を図る必要があります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	市内の障害者入所施設において実施する地域交流事業の開催回数	回	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	3	男女が互いの力を合わせて地域社会を活性化する環境づくり			5/4	4/4	4/4	4/4	0/4
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	高齢者、障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備	【実績に基づく数値】 六花園、やいろの里、魚沼更生園、魚沼学園の市内4施設が行う地域交流事業への支援	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	地域づくりにおける女性の参画を促進します。							
46	予算事業名	地域生活支援事業							
事業概要		障害者支援施設による地域交流事業							
男女共同参画での視点		障害がある男女がともに安心して暮らせる支援			男女共同参画推進委員からのご意見				
推進課 (室)		福祉支援課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	・市内の障害者入所施設において実施する、地域交流事業への参加と協力を行い、障害がある男女がともに安心して暮らせるよう支援します。	地域生活支援事業	110,842	地域交流事業 ・六花園『六花園祭』 平成29年9月30日開催 370人 ・魚沼学園『ふれあい祭』 平成29年11月11日開催 100人 ・魚沼更生園『ふれあい祭』 平成29年11月11日開催 100人 ・やいろの里『やいろの里・なないろ夏祭り』 平成29年7月22日開催 200人	90,469	・障害児者入所施設での地域交流により、男女を問わず、障害者とふれあうことで、障害者への差別解消と相互理解が促進され、障害がある男女がともに安心して暮らせる共生社会実現への足がかりとなりました。 今後の対策・取組の方向等 ・障害者の理解及び障害者差別解消法の周知と交流会への参加者の増加に取組みます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、市内の障害者入所施設において実施する、地域交流事業への参加と協力をし、障害がある男女がともに安心して暮らせるよう支援します。 魚沼更生園と魚沼学園が合同で地域交流事業を行う予定でしたが、交流の機会を減らさないよう4回開催するように努めます。 	地域生活支援事業 ※ 各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体での予算額を記載	98,345	平成30年度末の実績は次のとおりです。 地域交流事業 ・六花園『六花園祭』 平成30年9月29日開催 330人 ・魚沼学園『ふれあい祭』 平成30年11月10日開催 130人 ・魚沼更生園『ふれあい祭』 平成30年11月10日開催 120人 ・やいろの里『やいろの里・なないろ夏祭り』 平成30年7月21日開催 250人	92,892	<ul style="list-style-type: none"> 各施設ごとに参加者数の増減がありましたが、概ね参加者数は増加傾向です。やいろの里に併設の『なないろ』の新築により増加したものとされます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 障害者の理解を深めるための講演会の実施や障害者差別解消法の周知と交流会の開催について市報へ掲載するなど、参加者の増加に努めます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市内の障害者入所施設において実施する、地域交流事業への参加と協力をし、障害がある男女がともに安心して暮らせるよう支援します。 	地域生活支援事業 ※ 各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体での予算額を記載	100,940	令和元年度末の実績は次のとおりです。 地域交流事業 ・六花園『六花園祭』 令和元年9月21日開催 450人 ・魚沼学園『ふれあい祭』 令和元年11月9日開催 130人 ・魚沼更生園『ふれあい祭』 令和元年11月10日開催 130人 ・やいろの里『やいろの里・なないろ夏祭り』 令和元年7月20日開催 250人	94,739	<ul style="list-style-type: none"> 概ね参加者数は増加傾向です。六花園祭は、堀之内中央公民館をメイン会場に実施しました。会場も駐車場も広く、地元の方が大勢参加することができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、交流会や地域行事の中止が多い状況です。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市内の障害者入所施設において実施する、地域交流事業への参加について、市報等で周知し、障害がある男女がともに安心して暮らせるよう支援します。 	地域生活支援事業 ※ 各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体での予算額を記載	101,845	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症感染防止のため、実施できませんでした。 	93,388	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不特定多数の方が参加する地域交流会の事業については、自粛せざるを得ませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、交流会や地域行事の中止が多い状況です。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	魚沼市シルバー人材センター会員数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	3	男女が互いの力を合わせて地域社会を活性化する環境づくり			519 /520	500 /530	489 /530	506 /540	489 /550
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	高齢者、障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備	【目標値の根拠】	【高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画】 実績に基づき、将来推計した数値					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	高齢者の社会参加を支援します。		H28 男性352人(入会25人 退会33人) 女性167人(入会22人 退会22人)					
47	予算事業名	シルバー人材センター助成事業		H29 男性337人(入会32人 退会47人) 女性163人(入会19人 退会23人)					
事業概要	シルバー人材センターへの運営費用の助成		H30 男性332人(入会24人 退会29人) 女性157人(入会 6人 退会12人)						
男女共同参画での視点	高齢者が健康で生きがいを持って暮らせるよう社会参加を支援		R1 男性343人(入会45人 退会34人) 女性163人(入会20人 退会14人)						
推進課(室)	介護福祉課		R2 男性317人(入会22人 退会48人) 女性172人(入会24人 退会15人)						
			男女共同参画推進委員からのご意見						

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	・高齢者が健康で生きがいを持って暮らしていけるよう(公社)魚沼市シルバー人材センターの運営に対し補助を行い、高齢者の社会参加を支援します。	事業運営 費補助	9,300	・補助金の交付に当たっては、高齢者の就労支援及び社会参加の更なる促進のため、目標とする指標の達成に向けて、事業実施者に対して、適宜指導及び助言に努めました。 ・しかしながら、平成24年度以降、毎年度会員数は増加してきましたが、平成28年度の8人の減少に続き、今年度も19人の減少となりました。	9,300	・会員数の減少の原因は、高齢による退会数の増加と新規会員数の減少によるものです。 ・会員数は目標に届きませんでしたが、就業を通じた社会参加により、健康維持や生きがいの醸成に寄与するものと考えます。
						今後の対策・取組の方向等
						・全国的にも会員数は7年連続して減少しており、会員増加にはどこも苦心している状況です。 ・高齢者の就労支援及び社会参加を促進するため、来年度より段階的に補助金額の増額を行います。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	・高齢者の就労支援及び社会参加をさらに促進するため、今年度より補助金額を段階的に増額し、魚沼市シルバー人材センターの運営を支援します。	事業運営 費補助	10,300	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の交付に当たっては、高齢者の就労支援及び社会参加の更なる促進のため、目標とする指標の達成に向けて、事業実施者に対して、適宜指導及び助言に努めました。 しかしながら、平成24年度以降、毎年度会員数は増加してきましたが、平成28年度の8人、平成29年度で19人の減少に続き、今年度も11人の減少となりました。 	10,300	<ul style="list-style-type: none"> 会員数の減少の原因は、高齢による退会数の増加と新規会員数の減少によるものです。 就業を通じた社会参加により、当人の健康維持や生きがいの醸成に寄与するものと考えます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の就労支援及び社会参加のさらなる促進のため、シルバー人材センターへの支援を強化します。
2019年度	・高齢者が健康で生きがいを持って暮らしているよう（公社）魚沼市シルバー人材センターの運営に対し補助を行い、高齢者の社会参加を支援します。	事業運営 費補助	10,300	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の交付に当たっては、高齢者の就労支援及び社会参加の更なる促進のため、目標とする指標の達成に向けて、事業実施者に対して、適宜助言に努めました。 会員数は、平成28年度以降高齢による退会及び新規会員の減により、毎年減少してきましたが、令和元年度は17人の増加となりました。 	10,300	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の就労支援及び社会参加により、当人の健康維持や生きがいの醸成に寄与するものと考えます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の就労支援及び社会参加のさらなる促進のため、シルバー人材センターへの支援を継続します。
2020年度	・高齢者が健康で生きがいを持って暮らしているよう（公社）魚沼市シルバー人材センターの運営に対し補助を行い、高齢者の社会参加を支援します。	事業運営 費補助	10,300	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の交付に当たっては、高齢者の就労支援及び社会参加の更なる促進のため、目標とする指標の達成に向けて、事業実施者に対して、適宜助言に努めました。 会員数は、平成28年度以降高齢による退会及び新規会員の減により、毎年減少していましたが、令和元年度は増加に転じましたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響による活動の制約などもあり、会員数は減少しました。 	10,300	<ul style="list-style-type: none"> 会員数の減少の原因は、高齢による退会数の増加と新規会員数の減少、新型コロナウイルスの影響も考えられます。 就業を通じた社会参加により、当人の健康維持や生きがいの醸成に寄与するものと考えます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の就労支援及び社会参加のさらなる促進のため、シルバー人材センターへの支援を継続します。 会員退会を抑制するため、令和3年度から80歳以上の会費を見直すことで、会員数の減少に歯止めがかかるか注視していきます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	2	男女がともに活躍できる環境づくり	外国人の相談件数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	3	男女が互いの力を合わせて地域社会を活性化する環境づくり			11/-	12/-	4/-	3/-	2/-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	高齢者、障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備	【目標値の根拠】		在住外国人数 H28 171人、H29 195人、H30 202人、R元 229人、R2 225人 ・目標値の設定をしないため、実績のみ記載しています。 ・相談内容は、生活困窮、離婚、子どもの通学についてです。				
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	高齢者の社会参加を支援します。							
48	予算事業名	市民相談事業							
事業概要		市民生活における総合的な相談窓口			男女共同参画推進委員からのご意見				
男女共同参画での視点		外国人への相談・支援							
推進課 (室)		市民課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 外国人も地域で安心して暮らせるよう市民相談センターにおいて相談対応を行います。 相談者の相談機会を増やすため、夜間相談や、毎月第1日曜日に休日相談も行います。(事前予約制) 	市民相談事業 ※ 各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体での予算額を記載	※3,568	<ul style="list-style-type: none"> 外国人が日常生活を営む上で支障となることへの相談を受けました。 今年度は12件(男性4件、女性8件)の相談を受けました。 主な相談内容は、子どもの入国手続き、相続、離婚などです。 	3,313	<ul style="list-style-type: none"> 困難な状況にある人も安心して暮らせるよう支援しました。 また、相談内容によっては、弁護士や関係機関を案内するなどの対応を行いました。
						今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、広報等を通じて相談窓口の周知を図ります。 翻訳機等を活用し、外国語での相談にも応じます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 外国人も地域で安心して暮らせるよう市民相談センターにおいて相談対応を行います。 相談者の相談機会を増やすため、引き続き、夜間相談や、毎月第1日曜日に休日相談も行います。（事前予約制） 	市民相談事業 ※各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体での予算額を記載	※3,687	<ul style="list-style-type: none"> 外国人が日常生活を営む上で支障となることへの相談を受けました。 今年度は4件(すべて女性)の相談を受けました。 主な相談内容は、離婚、生活困窮などです。 	3,495	<ul style="list-style-type: none"> 困難な状況にある人も安心して暮らせるよう支援しました。 また、相談内容によっては、弁護士や関係機関を案内するなどの対応を行いました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、広報等を通じて相談窓口の周知を図ります。 翻訳機等を活用し、外国語での相談にも応じます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 外国人も地域で安心して暮らせるよう市民相談センターにおいて相談対応を行います。 相談者の相談機会を増やすため、引き続き、夜間相談や、毎月第1日曜日に休日相談も行います。（事前予約制） 	市民相談事業 ※各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体での予算額を記載	※3,584	<ul style="list-style-type: none"> 外国人が日常生活を営む上で支障となることへの相談を受けました。 R元年度は3件(すべて女性)の相談を受けました。 相談内容は、離婚、生活困窮、子どもの通学についてでした。 	2,985	<ul style="list-style-type: none"> 困難な状況にある人も安心して暮らせるよう支援しました。 また、相談内容によっては、弁護士や関係機関を案内するなどの対応を行いました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、広報等を通じて相談窓口の周知を図ります。 翻訳機等を活用し、外国語での相談にも応じます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 外国人も地域で安心して暮らせるよう市民相談センターにおいて相談対応を行います。 相談者の相談機会を増やすため、引き続き、夜間相談や、毎月第1日曜日に休日相談も行います。（事前予約制） 	市民相談事業 ※各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体での予算額を記載	※3,499	<ul style="list-style-type: none"> 外国人が日常生活を営む上で支障となることへの相談を受けました。 R2年度は2件(男性から1件、女性から1件)の相談を受けました。 相談内容は、インターネット利用と遺産についてでした。 	2,969	<ul style="list-style-type: none"> 困難な状況にある人も安心して暮らせるよう支援しました。 また、相談内容によっては、弁護士や関係機関を案内するなどの対応を行いました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、広報等を通じて相談窓口の周知を図ります。 スマホの翻訳アプリや翻訳機等を活用し、外国語での相談にも応じます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	思春期教育のための用具貸出件数	回	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	生涯にわたる男女の健康保持のための環境づくり			-	52/-	42/-	40/-	5/-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	女性の生涯を通じた健康の維持・増進のための施策の推進	【実績に基づく数値】 貸出内訳 沐浴人形 14回 妊娠シミュレーター 28回 市が所有するパパママ準備教室用の教材を学校での思春期教育に転用するため、用具の貸し出しをH29から開始しました。今後状況を確認しながら目標値の設定を検討します。	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	生涯にわたり女性が自ら健康管理できるよう、思春期からの健康教育等の活動に取り組みます。							
49	予算事業名	母子健康相談・教育事業							
事業概要	妊娠・出産・子育て期における相談体制の充実と正しい知識の普及		男女共同参画推進委員からのご意見						
男女共同参画での視点	思春期の健康教育								
推進課 (室)	子ども課、健康増進課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校、病院、保健所等関係機関との連絡会の開催とネットワークの強化 思春期講演会 (保護者向け) を開催 学校での赤ちゃんふれあい事業の実施 沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸出 (命の大切さや自己肯定感を育む) 	講演会開催費	317	<ul style="list-style-type: none"> 学校養護教諭との連絡会では、市、保健所、学校での取組内容について情報共有し、各学校では思春期教室を相互に見学等できる体制にしました。 連絡会で養護教諭が生徒からの相談に適切な対応ができていないことに悩んでいたため、対応策として産婦人科医による性についての講義を行い、養護教諭の対応力強化に努めました。中学・高校養護教諭 計8人 児童・生徒への教育だけでは十分な効果が発揮できないことから、思春期講演会 (保護者向け) を開催 (1回) しました。参加者：47人 (うち男性11人) 赤ちゃんふれあい事業を中学校 (1校) で実施し、沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸し出しを、52回行いました。 	310	<ul style="list-style-type: none"> 養護教諭への講義、保護者への思春期講演会や生徒への赤ちゃんふれあい事業を実施することで情報提供を行い、意識の向上につながりました。
						今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> 内容の充実を図り継続して実施していきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校、病院、保健所等関係機関との連絡会の開催とネットワークの向上 思春期講演会（保護者向け）の開催 学校での赤ちゃんふれあい事業の実施 沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸出（命の大切さや自己肯定感を育む） 	講演会開催費	280	<ul style="list-style-type: none"> 学校養護教諭との連絡会で、市、保健所及び学校での取組内容について情報共有しました。 児童・生徒への教育だけでは十分な効果が発揮できないことから、思春期講演会（保護者向け）を開催（1回）しました。参加者：45人（うち男性10人） 赤ちゃんふれあい事業を中学校（1校）で実施 沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸し出しを42回行いました。 	214	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への思春期講演会、赤ちゃんふれあい事業を通じて、女性の健康に関する意識の向上につながりました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 継続して実施していきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校、病院、保健所等関係機関との連絡会の開催 学校での赤ちゃんふれあい事業の実施 沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸出（命の大切さや自己肯定感を育む） 思春期講演会（保護者向け）は他の事業と共催実施 	あかちゃんふれあい事業、思春期連絡会事業費	121	<ul style="list-style-type: none"> ○思春期保健関係者情報交換会 <ul style="list-style-type: none"> ・県、学校、小出病院、市の取組内容について情報共有し、個別支援における連携について検討しました。 ○思春期講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・中学生向け講演会（生徒194人参加） ・思春期保健支援者向け情報交換会（思春期教育に関わる職員25人参加） ・保護者向け講演会（54人参加） ○赤ちゃんふれあい事業（中学校3校） ○沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸し出し（40回） 	75	<ul style="list-style-type: none"> 思春期に関する情報交換会や講演会を実施することにより、女性の健康に関する意識の向上を図ることができました。 赤ちゃんふれあい事業では、男女で育児に協力していくことの大切さを実感した等の感想が聞かれました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して実施し、女性の健康に関する意識の向上、命の大切さ、自己肯定感を育む取組を実施していきます。
2020年度	<p>関係機関と連携しながら、命の大切さや自己肯定感を育めるよう実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康増進課 <ul style="list-style-type: none"> ・学校、病院、保健所等関係機関との連絡会の開催 ・思春期講演会（保護者向け）の実施 ○子ども課 <ul style="list-style-type: none"> ・学校での赤ちゃんふれあい事業の実施 ・沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸出 	あかちゃんふれあい事業費	114	<ul style="list-style-type: none"> ○赤ちゃんふれあい事業はコロナウイルス感染症のため開催できませんでした。 ○沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸し出しもコロナウイルス感染症のため、学校の希望が少なくなりました。 	0	<p>コロナウイルス感染症のため、密着密接する赤ちゃんとのふれあい事業や物品の貸し出し事業は例年のように実施できませんでした。</p>
						今後の対策・取組の方向等
						<p>コロナウイルス感染症の状況を見ながら、実施していきます。</p>

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	講座の開催数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	生涯にわたる男女の健康保持のための環境づくり			-	2/1	1/1	1/1	0/1
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	女性の生涯を通じた健康の維持・増進のための施策の推進	【目標値の根拠】	【実績に基づく数値】 新潟県女性財団地域セミナー（アンガーマネジメント）1回					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	生涯にわたり女性が自ら健康管理できるよう、思春期からの健康教育等の活動に取り組みます。							
50	予算事業名	男女共同参画事業							
事業概要	女性の健康教育		男女共同参画推進委員からのご意見						
男女共同参画での視点	女性の健康教育								
推進課 (室)	企画政策課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等)・増減等の理由
2017年度	・生涯にわたる健康保持を目指し、医療機関と連携した市民向けの健康教育講座を開催します。	報償費	57	メンタルヘルス 日 時 10月18日(水) 18時～19時30分 テーマ ストレスをためない生き方・働き方 会 場 魚沼市立小出病院 講 師 朝日由香 氏 参加者 66人(男性24人、女性42人) 職 種 主に看護師、介護士の医療福祉関係 一般参加者 9人	28	・今年度から (公財)新潟県女性財団からも主催者に加わっていただき、(一財)魚沼市医療公社市民向け講座「楽語い講座」と共催することで、参加者の拡大を図ることができました。
				更年期・性教育 日 時 3月25日(日)①10時～②13時30分～ テーマ ①カラダのミカタ～更年期～ ②親から子どもに伝えたい性教育 会 場 広神コミュニティセンター 講 師 小島利恵 氏 参加者 ①30人(男性3人、女性27人) ②17人(男性2人、女性15人) 職 種 ①幅広い年代層 ②未就学児～小学生低学年の母親		今後の対策・取組の方向等 ・次年度も女性財団、医療絵公社と協力し、一般参加者だけでなく、医療・福祉分野の関係者に対する普及啓発を図ります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も引き続き、女性財団と医療機関と連携した市民向けの健康教育講座を開催します。10月1回 	報償費	65	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県女性財団地域セミナー 日 時 10月3日(水)18時～19時30分 テーマ アンガーマネジメント 「怒りと上手くつきあう自分になろう」 会 場 魚沼市立小出病院 講 師 立松修 氏 参加者 80人(男性28人、女性52人) 職 種 主に看護師、介護士の医療福祉関係 一般参加者 13人 	16	<ul style="list-style-type: none"> 参加者数は、回数が減ったことにより113人から80人に減少しましたが、アンケート結果は「とても参考になった」「関心を持つことができた」の割合が93%と高い値となりました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> (一財) 魚沼市医療公社市民向け講座「楽語り講座」の一般参加者が増えていることから、次年度は、一般参加者も理解が深められるようなテーマを検討します。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる男女の健康の維持・増進を支援するため、女性財団や医療機関等の関連団体と連携して、市民向けの健康教育講座を開催します。 	報償費	64	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県女性財団地域セミナー 日 時 10月16日(水)18時～19時30分 テーマ 『職場』でも『家庭』でも使えるコミュニケーション教室 会 場 魚沼市立小出病院 講 師 菊野 麻子 氏 参加者 87人(男性26人、女性61人) 職 種 主に看護師、介護士の医療福祉関係 一般参加者 24人 	8	<ul style="list-style-type: none"> 参加者数は、前年度の80人から87人に増加しました。また、アンケート結果は「とても参考になった」「参考になった」の割合が100%と高い値となりました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 一般参加者が増えていることから、次年度も男女共同参画を推進する関係団体と連携して、より一般参加者の理解が深められるようなテーマを検討します。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 県内で男女共同参画を推進する関係団体と連携して、一般参加者も理解が深められるような、地域の課題やニーズに応じた地域セミナー共催事業を開催します（年1回以上開催）。 	報償費	64	<ul style="list-style-type: none"> 地域セミナーを予定していた時期に新型コロナウイルス感染症が再拡大したため、中止しました。 <予定していた内容> 新潟県女性財団地域セミナー 日 時 令和2年10月14日(水) テーマ 仕事と介護の両立について 講 師 朝日 由香 氏 会 場 小出ボランティアセンター 多目的室 	0	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域セミナーを自粛せざるを得ませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症予防対策を考慮した地域セミナーの開催を検討します。 男女共同参画を推進する関係団体と連携し、市民に幅広く啓発していきます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	①乳がん検診受診率 ②子宮がん検診受診率	%	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	生涯にわたる男女の健康保持のための環境づくり			①62.0/54.0 ② 51.1/51	①61.4/54.2 ② 50.1/52	①59.1/54.6 ② 48.7/53	①54.8/54.8 ② 41.2/54	①50.7/55 ②40.3/55
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	女性の生涯を通じた健康の維持・増進のための施策の推進			【第2次魚沼市健康づくり計画の目標値】 ①乳がん検診受診率 H17 21.1%、H26 53.6% ②子宮がん検診受診率 H17 13.4%、H26 50.4%				
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	各種健康診査や検診を受けやすい体制整備を促進し、女性の健康づくりを支援します。			【目標値の根拠】 ・検診受診率については国の算出方法を参考に第2次魚沼市健康づくり計画見直しに合わせて目標値を修正します。 ※この二つの検診は、2年に一度の受診としているため、受診率が変動する性質があります。				
51	予算事業名	がんの検診事業			【目標値の根拠】 ・検診受診率については国の算出方法を参考に第2次魚沼市健康づくり計画見直しに合わせて目標値を修正します。 ※この二つの検診は、2年に一度の受診としているため、受診率が変動する性質があります。				
	事業概要	がんの早期発見、早期治療による疾病の予防			男女共同参画推進委員からのご意見				
	男女共同参画での視点	女性向けのがん検診の実施（レディースデイの継続、乳がん・子宮頸がん検診同時実施の継続）							
	推進課（室）	健康増進課							

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 （千円）	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 （千円）	評価（成果等）・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> がんの早期発見、早期治療とがんに関する正しい知識の普及啓発を行います。 また、検診の周知方法を工夫しながら、受診率の向上を目指します。 <実施時期> 5月～12月 <実施回数> レディースデイ13回、 乳がん・子宮頸がん検診29回 <周知方法> 市報・ホームページ、申込み者には個別通知	がん検診事業 *全てのがん検診の予算	51,299	<受診率> 子宮頸がん 50.1% (H28 51.1%) 乳がん 61.4% (H28 62.0%) ・がんの早期発見、早期治療のため、がんに関する正しい知識の普及啓発を行うとともに、女性限定や休日の受診日を設けました。	42,900	<ul style="list-style-type: none"> 受診率は概ね横ばいです。 今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> H30からレディースデイの対象年齢を5歳拡大し69歳までとすることで、受診率の向上を目指します。 また、検診の周知方法を工夫しながら、若い世代等の未受診者への働きかけを行い、受診率の向上を目指します。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> がんの早期発見、早期治療とがんに関する正しい知識の普及啓発を行います。 また、検診の周知方法を工夫しながら、受診率の向上を目指します。 	がん検診事業 *全てのがん検診の予算	52,989	<p><受診率></p> 子宮頸がん 48.7% (H29 50.1%) 乳がん 59.1% (H29 61.4%)	45,957	・受診率は概ね横ばいです。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、レディースデイの実施や休日検診を設け、受診しやすい環境づくりを行い、受診率の向上を目指します。 検診の周知方法を工夫しながら、若い世代等の未受診者に対し働きかけを行うことで、受診率の向上を目指します。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> がんの早期発見、早期治療とがんに関する正しい知識の普及啓発を行います。 また、検診の周知方法を工夫しながら、受診率の向上を目指します。 	がん検診事業 *全てのがん検診の予算	58,194	<p><受診率></p> 子宮頸がん 41.2% (H30 48.7%) 乳がん 54.8% (H30 59.1%)	44,501	レディースデイの実施や休日検診、節目年齢の無料検診など、受診しやすい環境整備を実施しました。受診率はやや減少しました。2年に1度の検診であることから、前年度と対象者が異なるため、単純に前年度と数値を比較することはできません。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今後も、レディースデイ検診の実施や休日検診を設け、受診しやすい環境づくりを行い、受診率の向上を目指します。 若い世代からも受診をしてもらえよう、引き続き乳幼児健診等で受診勧奨を実施します。また、医療機関等で行う個別検診の必要性も検討していきます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> がんの早期発見、早期治療とがんに関する正しい知識の普及啓発を行います。 また、検診の周知方法を工夫しながら、受診率の向上を目指します。 	がん検診事業 *全てのがん検診の予算	59,853	<p><受診率></p> 子宮頸がん 40.3% (R1 41.2%) 乳がん 50.7% (R1 54.8%)	38,348	・受診率は、減少しました。新型コロナウイルス感染症による受診控えが影響していると考えられます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 市報、ホームページ及び受診勧奨通知において、感染症対策を行った上で検診を実施していることや継続して検診を受けることの重要性を周知し、受診率を維持、向上するよう取り組みます。 若い世代が受診しやすいよう、ニーズを整理し、子宮頸がん検診の個別検診化について、必要性を検討していきます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	思春期教育のための用具貸出件数	回	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	生涯にわたる男女の健康保持のための環境づくり			-	52/-	42/-	40/-	5/-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	性と生殖に関する健康と権利 (リプロダクティブ・ヘルス/ライツ) についての知識の普及	【目標値の根拠】	【実績に基づく数値】 貸出内訳 沐浴人形 14回 妊娠シミュレーター 28回 (H30年度実績) 市が所有するババママ準備教室用の教材を学校での思春期教育に転用するため、用具の貸し出しをH29から開始しました。今後状況を確認しながら目標値の設定を検討します。					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	生涯にわたって自分の健康を主体的に決定できるよう、性と生殖に関する健康と権利についての健康教育等の活動に取り組みます。							
52	予算事業名	【再掲】母子健康相談・教育事業 (事業No49と同じ)							
事業概要	妊娠・出産・子育て期における相談体制の充実と正しい知識の普及								
男女共同参画での視点	思春期の健康教育		男女共同参画推進委員からのご意見						
推進課 (室)	子ども課、健康増進課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校、病院、保健所等関係機関との連絡会の開催とネットワークの強化 思春期講演会 (保護者向け) を開催 学校での赤ちゃんふれあい事業の実施 沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸出 (命の大切さや自己肯定感を育む) 	講演会開催費	317	<ul style="list-style-type: none"> 学校養護教諭との連絡会では、市、保健所、学校での取組内容について情報共有し、各学校では思春期教室を相互に見学等できる体制にしました。 連絡会で養護教諭が生徒からの相談に適切な対応ができていないことに悩んでいたため、対応策として産婦人科医による性についての講義を行い、養護教諭の対応力強化に努めました。中学・高校養護教諭 計8人 児童・生徒への教育だけでは十分な効果が発揮できないことから、思春期講演会 (保護者向け) を開催 (1回) しました。参加者: 47人 (うち男性11人) 赤ちゃんふれあい事業を中学校 (1校) で実施し、沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸し出しを、52回行いました。 	310	・養護教諭への講義、保護者への思春期講演会や生徒への赤ちゃんふれあい事業を実施することで情報提供を行い、意識の向上につながりました。
						今後の対策・取組の方向等
						・内容の充実を図り継続して実施していきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校、病院、保健所等関係機関との連絡会の開催とネットワークの向上 思春期講演会（保護者向け）の開催 学校での赤ちゃんふれあい事業の実施 沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸出（命の大切さや自己肯定感を育む） 	講演会開催費	280	<ul style="list-style-type: none"> 学校養護教諭との連絡会で、市、保健所及び学校での取組内容について情報共有しました。 児童・生徒への教育だけでは十分な効果が発揮できないことから、思春期講演会（保護者向け）を開催（1回）しました。 参加者：45人（うち男性10人） 赤ちゃんふれあい事業を中学校（1校）で実施し、沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸し出しを42回行いました。 	214	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への思春期講演会、赤ちゃんふれあい事業及び連絡会を通じて、性教育の体制の充実を図りました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 継続して実施していきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校、病院、保健所等関係機関との連絡会の開催 学校での赤ちゃんふれあい事業の実施 沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸出（命の大切さや自己肯定感を育む） 思春期講演会（保護者向け）は他の事業と共催実施 	あかちゃんふれあい事業、思春期連絡会事業費	121	<ul style="list-style-type: none"> ○思春期保健関係者情報交換会 <ul style="list-style-type: none"> ・県、学校、小出病院、市の取組内容について情報共有し、個別支援における連携について検討しました。 ○思春期講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・中学生向け講演会（生徒194人参加） ・思春期保健支援者向け情報交換会（思春期教育に関わる職員25人参加） ・保護者向け講演会（54人参加） ○赤ちゃんふれあい事業（中学校3校） ○沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸し出し（40回） 	75	<ul style="list-style-type: none"> 思春期に関する情報交換会や講演会を実施することにより、女性の健康に関する意識の向上を図ることができました。 赤ちゃんふれあい事業では、男女で育児に協力していくことの大切さを実感した等の感想が聞かれました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して実施し、女性の健康に関する意識の向上、命の大切さ、自己肯定感を育む取組を実施していきます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携しながら、命の大切さや自己肯定感を育めるよう実施します。 ○健康増進課 <ul style="list-style-type: none"> ・学校、病院、保健所等関係機関との連絡会の開催 ・思春期講演会（保護者向け）の実施 ○子ども課 <ul style="list-style-type: none"> ・学校での赤ちゃんふれあい事業の実施 ・沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸出 	あかちゃんふれあい事業費	114	<ul style="list-style-type: none"> ○赤ちゃんふれあい事業はコロナウイルス感染症のため開催できませんでした。 ○沐浴人形や妊娠シミュレーターの貸し出しもコロナウイルス感染症のため、学校の希望が少なくなりました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルス感染症のため、密着密接する赤ちゃんとのふれあい事業や物品の貸し出し事業は例年のように実施できませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルス感染症の状況を見ながら、実施していきます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	H30～道徳授業及び性指導等における「男女平等・男女共同参画」に関する授業回数	回	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	生涯にわたる男女の健康保持のための環境づくり			-	-	小学校 107/36 中学校 68/34	小学校 112/36 中学校 159/31	小学校 146/36 中学校 203/31
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	性と生殖に関する健康と権利 (リプロダクティブ・ヘルス/ライツ) についての知識の普及	男女平等教育の授業実施 学校数	校	実態把握	15/15	-	-	-
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	生涯にわたって自分の健康を主体的に決定できるよう、性と生殖に関する健康と権利についての健康教育等の活動に取り組みます。							
53	予算事業名	【再掲】各学校教育振興事業 (事業No10と同じ)		【実績に基づく数値】 ・道徳授業等における男女平等・性差別に関する授業回数 (小学校4年生以上) とする。					
	事業概要	小中学校の性指導等において「男女平等・男女共同参画」に関係した授業を実施		【目標値の根拠】					
	男女共同参画での視点	学習指導要領に基づいた男女平等教育の実施		男女共同参画推進 委員からのご意見					
	推進課 (室)	学校教育課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	学習指導要領に基づいた男女平等教育の実施	各学校予算範囲内 で実施	-	<ul style="list-style-type: none"> 性に関する学校別・学年別の指導計画を策定し、計画に沿った性教育、指導を実施しました。男女の性差や体のしくみについての正しい理解を進めるとともに、子どもたちが性別に関係なく自分の将来の展望を具体的に考えることができるように支援しました。 生活科、家庭科、体育等各教科の授業や養護教諭を講師としての授業を全児童生徒を対象に行いました。 外部講師を招いての授業を中学3年生を対象に行いました。 	-	・各学校が性指導等を行なう中で男女平等教育を実施しました。
						今後の対策・取組の方向等
						・学校養護教諭が市、保健所と情報共有し、問題点を話し合える機会を持つことで、個別の学校では対応できなかったことにも取り組めるよう、関係機関との連携体制を強化していきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由		
2018年度	・性に関する学校別・学年別の指導計画を策定し、計画に沿った性教育、指導を実施する中で男女平等社会について学習を進め、子どもたちが家庭や社会の一員として適切な判断や意思決定ができる能力や態度を育てます。	各学校予算範囲内で実施		男女平等教育等に関係した授業実施時間数（小学校4年生以上）	-	<ul style="list-style-type: none"> ・総時間数から算定した実施率は、小学校2.89時間/学級、中学校2.34時間/学級であった。 ・授業は、道徳授業の他にも保健・社会科・総合学習の授業においても関係した学習が実施されました。 		
				小学校9校（学級数37）			道徳55時間 性指導36時間 総合学習16時間	今後の対策・取組の方向等
				中学校6校（学級数29）			道徳33時間 性指導16時間 総合学習19時間	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学校教育において、男女平等の意識づくりをするための学習を行います。
2019年度	・小中学校の道徳授業において「男女平等・性差別」に関係した授業を実施します。また、授業実施回数（小学校4年生以上）調査を実施します。	各学校予算範囲内で実施		男女平等教育等に関係した授業実施時間数（小学校4年生以上）	-	<ul style="list-style-type: none"> ・総時間数から算定した実施率は、小学校3.61時間/学級、中学校5.80時間/学級であった。 ・授業は、道徳授業の他にも保健・社会科・総合学習の授業においても関係した学習が実施しました。 		
				小学校9校（学級数36）			道徳38時間 性指導34時間 総合学習40時間	今後の対策・取組の方向等
				中学校6校（学級数31）			道徳44時間 性指導42時間 総合学習73時間	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学校教育において、男女平等の意識づくりをするための学習を行います。
2020年度	・小中学校の道徳授業において「男女平等・性差別」に関係した授業を実施します。また、授業実施回数（小学校4年生以上）調査を実施します。	各学校予算範囲内で実施		男女平等教育等に関係した授業実施時間数（小学校4年生以上）	-	<ul style="list-style-type: none"> ・総時間数から算定した実施率は、小学校4.97時間/学級、中学校8.37時間/学級であった。 ・授業は、道徳授業の他にも保健・社会科・家庭科・人権教育などの授業においても関係した学習を実施しました。 		
				小学校9校（学級数37）			道徳 42時間 性指導 43時間 総合学習 61時間 その他 38時間	今後の対策・取組の方向等
				中学校6校（学級数27）			道徳 39時間 性指導 29時間 総合学習 135時間 その他 23時間	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学校教育において、男女平等の意識づくりをするための学習を行います。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	延べ参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	1	生涯にわたる男女の健康保持のための環境づくり			16,896 /16,500	17,772 /16,600	17,742 /17,500	16,592 /17,500	15,279 /17,500
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	高齢者等が安心して暮らせる環境づくり	【目標値の根拠】	男女共同参画推進委員からのご意見	【第3次計画の目標】 H17調査時 13,324人 H26調査時 15,525人 H32目標 16,300人				
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	高齢者の自立を支援するため、介護予防を地域で実施します。			・H29の実績見込み数がH32目標値を超えたため、H30～の目標値を変更しました。会場の収容数もあり、3ヶ年は定数としています。				
54	予算事業名	普及啓発型筋力向上トレーニング事業							
事業概要	転倒による骨折、加齢に伴う運動機能低下の防止								
男女共同参画での視点	高齢者の健康維持を図る運動教室の開催								
推進課 (室)	介護福祉課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進み、介護給付費、医療費の増加が懸念される。転倒による骨折、加齢に伴う運動機能の低下を防止するため、元気な時からの運動習慣の定着、普及が必要です。 65歳以上の高齢者を対象に、毎週1回または2回トレーニング機器を使用した運動教室を開催し、運動知識の普及、運動習慣の定着と介護予防を図ります。 	運動教室 運営委託 経費	23,000	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の高齢者を対象に、毎週1回または2回、トレーニング機器を使用し、転倒骨折の防止、運動機能低下防止のため、運動教室を開催しました。 実施会場数 7会場15コース 延べ実施回数 1,052回 延べ参加者数 17,772人 実参加者数405人 (男性42人、女性363人) 	22,389	<ul style="list-style-type: none"> 年間延べ参加者数は目標値を超え、市内全域を対象とした介護予防として大きな意義がありました。 参加者の体力測定の結果は全国平均と比べてかなり良好であるという成果が出ており、最適な事業と考えます。
						今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> 地域ごとに参加者数のばらつきがあります。さらに参加者を増加させるためにはコースの増設や変更が必要です。 また、男女の参加比率の均等化を目指すとともに、委託先と協議をし、質の高いサービスを目指します。 男性の参加者の割合が少ないことから、男性への参加の呼びかけや、参加しやすい環境づくりについて検討します。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、65歳以上の高齢者を対象に、毎週1回または2回トレーニング機器を使用した運動教室を開催し、運動知識の普及、運動習慣の定着と介護予防を図ります。 参加者を増加させるためにはコースの増設や変更が必要ですが、今年度は、まずは、地域ごとにある参加者数のばらつきや男女の参加比率の均等化を目指して委託先と協議をしながら進めます。 	運動教室 運営委託 経費	23,100	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の高齢者を対象に、毎週1回または2回、トレーニング機器を使用し、転倒骨折の防止、運動機能低下防止のため、運動教室を開催しました。 実施会場数 7会場15コース 延べ実施回数 1,074回 延べ参加者数 17,742人 実参加者数409人（男性47人、女性362人） 	22,928	<ul style="list-style-type: none"> 年間延べ参加者数は目標値を超え、事業の周知や定着も図られていると考えます。また、市内全域を対象とした介護予防として大きな意義がありました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 利用者の増加を図るためには、コースの追加や変更を検討する必要があります。委託先と協議をしながら、質の高いサービス、参加しやすい環境づくりについて検討します。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の高齢者を対象に、毎週1回または2回トレーニング機器を使用した運動教室を開催し、運動知識の普及、運動習慣の定着と介護予防を図ります。 参加者を増加させるためにはコースの増設や変更が必要ですが、地域ごとにある参加者のばらつきや男女の参加比率の均等化を目指して委託先と協議をしながら進めます。 	運動教室 運営委託 経費	23,400	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の高齢者を対象に、毎週1回または2回、トレーニング機器を使用し、転倒骨折の防止、運動機能低下防止のため、運動教室を開催しました。 実施会場数 7会場15コース 延べ実施回数 1,000回 延べ参加者数 16,592人 実参加者数416人（男性47人、女性369人） 	21,344	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス対策のため実施回数が減少し年間延べ参加者数は目標値に達しませんでした。利用者が減少しているわけではなく、事業の周知や定着は前年度と同様に図られていると考えます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 利用者は増加しているが地域によりばらつきがあるため、コースの追加や変更を検討する必要があります。委託先と協議をしながら、質の高いサービス、参加しやすい環境づくりについて検討します。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の高齢者を対象に、毎週1回または2回トレーニング機器を使用した運動教室を開催し、運動知識の普及、運動習慣の定着と介護予防を図ります。 参加者を増加させるためにはコースの増設や変更が必要ですが、地域ごとにある参加者のばらつきや男女の参加比率の均等化を目指して委託先と協議をしながら進めます。 	運動教室 運営委託 経費	23,600	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の高齢者を対象に、転倒骨折の防止、運動機能低下を防止するため、毎週1回または2回、トレーニング機器を使用した運動教室を開催しました。 実施会場数 7会場15コース 延べ実施回数 906回 延べ参加者数 15,279人 実参加者数390人（男性38人、女性352人） 	20,325	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス対策のため実施回数が減少し年間延べ参加者数は目標値に達しませんでした。また感染を懸念し、不参加とする登録者が複数名おり、実参加者数も減少しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 利用者の増加のため、コース追加や時間変更を検討する必要があります。委託先と協議をしながら、質の高いサービスや、感染症対策を徹底した参加しやすい環境づくりを検討します。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	助成延べ件数 (実人数)	件 (人)	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための 重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			60/- (41)	153/- (103)	159/- (119)	221/- (136)	1,667/- (263)
施策の方針 (上記達成のための 活動の方向づけ)	1	妊娠・出産における経済的負担の軽減と支援体制の充実			予算額	2,346千円	2,973千円	2,632千円	3,592千円
施策の展開 (上記達成のための 取組み)	(1)	不妊治療や不育症治療の費用に対し、経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。	【目標値の根拠】 妊娠届出件数推移 H25 235件、H26 217件、H27 228件、H28 232件、 H29 214件、H30 209件、R1 187件、R2 191件 ※扶助費のため、目標 設定はしません。 ・H16年制度開始：妊娠の継続及び安全な出産のための入院費について 助成 ・H28.4月：通院（外来）についても助成対象に拡大。 ・H29.4月：妊娠、出産に関わるもの以外の診療についても助成対象に 拡大。（歯科、皮ふ科、眼科等） ・R2.5月：現物給付制度を開始						
55	予算事業名	妊産婦医療費助成事業	男女共同参画推進 委員からのご意見						
	事業概要	妊産婦への医療費用の助成							
	男女共同参画での視点	妊娠・出産に係る経済的負担の軽減							
	推進課（室）	子ども課							

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠の届出日から出産した月の翌月末までに受けた保険診療の一部負担金について助成します。（保険外診療、高額療養費分、付加給費分以外の費用全額助成） 今年度から診療科の制限を撤廃します。 	扶助費	7,000	助成件数 153件（実人数103人） 助成額 2,973千円	2,973	<ul style="list-style-type: none"> 診療科の撤廃により助成件数・助成額ともに増加し、制度利用者が増加していることがうかがえました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 必要な人が利用できるよう制度の周知を行っていきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠の届出日から出産した月の翌月末までに受けた保険診療の一部負担金について助成します。（保険外診療、高額療養費分、付加給費分以外の費用全額助成、診療科目制限無） 	扶助費	7,000	助成件数 159件（実人数119人） 助成額 2,632千円	2,632	<ul style="list-style-type: none"> 利用人数は増加しており、制度周知の効果だと考えられます。医療費については個人差があるため、減少しておりますが、利便性等の問題ではないと考えられます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 誰にでも利便性のいい申請方法に変更をしていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠の届出日から出産した月の翌月末までに受けた保険診療の一部負担金について助成します。（保険外診療、高額療養費分、付加給費分以外の費用全額助成、診療科目制限無） 今年度利便性を高めるために現物給付制度に移行に向けた取り組みを行います。 	扶助費	4,000	助成件数 延べ221件（実人数136人） 助成額 3,592千円	3,592	<ul style="list-style-type: none"> 利用件数、実人員及び助成額は増加しており、制度が浸透した結果ととらえています。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 利便性を高めるために現物給付制度への移行を進めていきます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠の届出日から出産した月の翌月末までに受けた保険診療の一部負担金について助成します。（保険外診療、高額療養費分、付加給費分以外の費用全額助成、診療科目制限無） 今年度利便性を高めるために現物給付制度を新たに開始します。 	扶助費	4,456	助成件数 延べ1,667件（実人数263人） 助成額 8,832千円	8,931	<ul style="list-style-type: none"> 現物給付制度を開始したことにより、助成実人数は前年度と比較してほぼ倍になりました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き制度の周知に努めていきます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値					
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	助成延べ件数 (実人数)	件 (人)	H28	H29	H30	2019	2020	
重点目標 (上記達成のための 重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			24/ (18)	35/ (27)	29/ (23)	32/ (26)	40/ (29)	
施策の方針 (上記達成のための 活動の方向づけ)	1	妊娠・出産における経済的負担の軽減と支援体制の充実		予算額	1,846千円	2,454千円	2,038千円	2,654千円	2,574千円	
施策の展開 (上記達成のための 取組み)	(1)	不妊治療や不育症治療の費用に対し、経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。	【目標値の根拠】	<ul style="list-style-type: none"> ・H18年制度開始 ・H22.4月：助成回数を2回から5回へ改正 ・H27.4月：助成対象を「一般」と「特定」に区分し、特定治療への助成額と回数を規定 ・体外受精・顕微授精の特定治療 150,000円上限(6回まで) ・その他の一般治療 50,000円を上限 ※扶助費のため、目標設定はしません。 ・H31.4月 不育症治療費助成開始 						
56	予算事業名	不妊治療費助成事業		男女共同参画推進 委員会からのご意見						
	事業概要	不妊治療を行う夫婦への治療に係る費用の助成								
	男女共同参画での視点	不妊治療に係る経済的負担の軽減								
	推進課(室)	子ども課								

年度	事業計画(男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果(男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価(成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的に負担の大きい不妊治療費の助成を行うことで、子どもを望む夫婦が治療に取り組めるようサポートします。 特定不妊治療(体外受精及び顕微授精) 1回の治療につき15万円を上限 通算6回まで 一般不妊治療(上記以外の不妊治療) 1年度1回 5万円を上限 通算5年度まで ※特定不妊治療、一般の両方助成を受けることができます。 	扶助費	3,500	助成件数 35件(実人数27人) 助成額 2,454千円	2,454	・助成件数・助成額ともに増加し、制度利用者が増加していることがうかがえます。
						今後の対策・取組の方向等
						・必要な人が利用できるよう制度の周知を行っていきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的に負担の大きい不妊治療費の助成を行うことで、子どもを望む夫婦が治療に取り組めるようサポートします。（前年と同じ） 特定不妊治療（体外受精及び顕微授精） 1回の治療につき15万円を上限 通算6回まで 一般不妊治療（上記以外の不妊治療） 1年度1回 5万円を上限 通算5年度まで ※特定不妊治療、一般の両方助成を受けることができます。	扶助費	7,000	助成件数 29件（実人数26人） 助成額 2,038千円	2,038	<ul style="list-style-type: none"> ・助成件数・助成額ともに減少していますが、相談も多く、制度の周知が広く行っていることがうかがえます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・必要な人が利用できるよう制度の周知をさらに行っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的に負担の大きい不妊治療費の助成を行うことで、子どもを望む夫婦が治療に取り組めるようサポートします。 ・今年度から不妊治療に加えて不育症治療費の助成も行い、さらに妊娠出産が行いやすい環境づくりに取り組みます。 ※特定不妊治療（体外受精及び顕微授精） 1回の治療につき15万円を上限 6回まで 一般不妊治療（上記以外の不妊治療） 1年度1回 5万円を上限 5年度まで ※特定不妊治療、一般の両方助成を受けることができます。	扶助費	4,000	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療費助成 助成件数32件（実人数26人） 助成額2,654千円 ・不育症治療費助成 実績なし 	2,654	<ul style="list-style-type: none"> ・助成件数、助成額ともに増えており、制度の周知が広く行っていることがうかがえます。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・制度の周知をさらに行っていきます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的に負担の大きい不妊治療費の助成を行うことで、子どもを望む夫婦が治療に取り組めるようサポートします。 ・不妊治療に加えて不育症治療費の助成も行い、さらに妊娠出産が行いやすい環境づくりに取り組みます。 ※特定不妊治療（体外受精及び顕微授精） 1回の治療につき15万円を上限 6回まで 一般不妊治療（上記以外の不妊治療） 1年度1回 5万円を上限 5年度まで ※特定不妊治療、一般の両方助成を受けることができます。	扶助費	3,450	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療費助成 助成件数40件（実人数29人） 助成額2,574千円 ・不育症治療費助成 実績なし 	2,574	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療費助成については、助成件数及び助成実人数が過去最高数となりました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・不育症治療費助成制度の周知に努めます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	利用者負担額 (保育料) 軽減実績	件	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための 重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			504/-	650/-	681/-	938/-	904/-
施策の方針 (上記達成のための 活動の方向づけ)	2	公的支援制度や施設、保育施設等の整備・充実		軽減 総額	179,338 千円	225,392 千円	236,122 千円	163,587 千円	82,761 千円
施策の展開 (上記達成のための 取組み)	(1)	子育て中の保護者の経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。	軽減対象となる方全員に対して行っていることから実績数値のみとしました。						
57	予算事業名	保育園管理事業	【目標値の根拠】						
	事業概要	各公立保育園の運営の管理							
	男女共同参画での視点	保護者への保育料の負担軽減	男女共同参画推進 委員からのご意見						
	推進課 (室)	子ども課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育を必要とする方への負担軽減策として、年齢制限を廃止し第2子以降の保育料を無料とします。(きょうだい順は支給認定保護者と生計を一にする子を含めて判定) ・制度改正により、年収約360万円未満相当のひとり親世帯等において、第1子の保育料を軽減します。 	[歳入] 保育施設 等利用者 負担金	196,815	軽減実施件数・・・650件	225,392	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の改正に伴い、実績件数・軽減総額とも増加しています。 ・県内の他自治体と比較しても軽減率は高くなっています。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・国ではH31年10月から幼児教育の無償化が検討されています。 ・ひとり親世帯等の軽減については、漏れなく適用するよう把握に努めます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の制度改正に伴い、引き続き、第2子以降の保育料の無料化とひとり親世帯等における、第1子の保育料の軽減をします。 	[歳入] 保育施設 等利用者 負担金	225,392	軽減実施件数・・・681件	236,122	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の他自治体と比較しても軽減率は高くなっています。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・国では令和元年10月から幼児教育の無償化を予定しています。 ・引き続き、子育て中の保護者の経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第2子以降の保育料の無料化とひとり親世帯等における、第1子の保育料の軽減をします。 ・10月から3～5歳児及び住民税非課税世帯の0～2歳児を対象に保育料の無償化を実施します。 	[歳入] 保育施設 等利用者 負担金	236,000	<ul style="list-style-type: none"> ・第2子以降無償化及びひとり親世帯等の軽減 669件 ・3～5歳児（第2子以降は含まない）及び住民税非課税世帯の無償化 269件 	163,587	10月から3～5歳児及び住民税非課税世帯の0～2歳児を対象に保育料の無償化を実施しました。無償化に伴い実費負担となった副食費についても、国の徴収免除範囲を拡充し、3～5歳児全員を徴収免除としました。
						今後の対策・取組の方向等
						引き続き、子育て中の保護者の経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第2子以降の保育料の無料化と、ひとり親世帯等における、第1子の保育料の軽減をします。 ・令和元10月から3～5歳児及び住民税非課税世帯の0～2歳児を対象に保育料の無償化を実施しています。 	[歳入] 保育施設 等利用者 負担金	60,000	【0～2歳児】 第2子以降無償化及びひとり親世帯等の軽減 257件 ※参考 【3歳児～5歳児】 保育料・副食費無償化 647件	82,761	幼児教育・保育無償化により、3歳児以上は保育料無償のため、0～2歳児で第2子以降無償及びひとり親世帯等の軽減を実施しました。
						今後の対策・取組の方向等
						引き続き、子育て中の保護者の経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	対象世帯を減免した児童数(実人員)及び軽減総額	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			187/-	194/-	198/-	180/-	173/-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	公的支援制度や施設、保育施設等の整備・充実			軽減総額	4,568千円	4,590千円	4,532千円	3,828千円
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	子育て中の保護者の経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。	【目標値の根拠】	軽減対象となる方全員に対して行っていることから実績数値のみとしました。					
58	予算事業名	学童保育管理事業							
事業概要		各放課後児童クラブの運営の管理							
男女共同参画での視点		保護者への放課後児童クラブ利用料の負担軽減			男女共同参画推進委員会からのご意見				
推進課 (室)		子ども課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な予算項目	予算額(千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額(千円)	評価 (成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育を必要とする方を対象に、世帯の状況に応じて負担軽減を図ります。(同一世帯で2人以上の児童が利用する世帯、ひとり親世帯、非課税世帯、生活保護世帯) 【利用料】 <ul style="list-style-type: none"> 基本額 月額 7,000円 ひとり親世帯 月額 3,500円 非課税世帯 月額 2,000円 生活保護世帯 無料 ※同一世帯で2人以上の児童が利用する場合は、2人目は上記の1/2の額、3人目以降は1/10の額とします。 ※月10日以下の場合は、1日400円×利用日数とします。 	[歳入]学童保育運営費保護者負担金	16,120	実施場所 放課後児童クラブ 11カ所 (市営10カ所 民間1カ所) 利用者数 <ul style="list-style-type: none"> 入所 (通年利用) 365人 長期休み利用 174人 (春・夏・冬休み) 一時利用 39人 減免対象者 <ul style="list-style-type: none"> 一般世帯 2人目103人、3人目以降7人 ひとり親世帯 1人目31人、2人目 7人、3人目以降0人 非課税世帯 1人目38人、2人目 7人、3人目以降1人 生活保護世帯 1人 	18,190	<ul style="list-style-type: none"> 学童利用を希望する児童全てを受け入れることができました。 今後の対策・取組の方向等 今後も保護者の負担軽減に努めていきます。 女性のひとり親世帯については、経済力が低いことから、利用料に対する負担の状況について注視していきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	・前年度に引き続き、学童保育を必要とする方を対象に、世帯の状況に応じて負担軽減を図ります。	〔歳入〕 学童保育 運営費保 護者負担 金	16,540	実施場所 放課後児童クラブ 11ヵ所 （市営10ヵ所 民間1ヵ所） 利用者数 ・入所（通年利用）364人 ・長期休み利用 182人（春・夏・冬休み） ・一時利用 38人 減免対象者 ・一般世帯 2人目104人、3人目以降3人 ・ひとり親世帯 1人目39人、2人目 9人、3人目以降1人 ・非課税世帯 1人目33人、2人目 8人、3人目以降1人 ・生活保護世帯 0人	18,575	・学童利用を希望する児童全てを受け入れることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						・今後も保護者の負担軽減に努めていきます。 ・女性のひとり親世帯については、経済力が低いことから、利用料に対する負担の状況について引き続き注視していきます。
2019年度	・前年度に引き続き、学童保育を必要とする方を対象に、世帯の状況に応じて負担軽減を図ります。	〔歳入〕 学童保育 運営費保 護者負担 金	17,530	実施場所 放課後児童クラブ 11ヵ所 （市営10ヵ所 民間1ヵ所） 利用者数 ・入所（通年利用）357人 ・長期休み利用 165人（春・夏・冬休み） ・一時利用 35人 減免対象者 ・一般世帯 2人目95人、3人目以降0人 ・ひとり親世帯 1人目34人、2人目 7人、3人目以降0人 ・非課税世帯 1人目37人、2人目 5人、3人目以降2人 ・生活保護世帯 0人	17,320	・学童利用を希望する児童全てを受け入れることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						・今後も保護者の負担軽減に努めていきます。 ・女性のひとり親世帯については、経済力が低いことから、利用料に対する負担の状況について引き続き注視していきます。
2020年度	・前年度に引き続き、学童保育を必要とする方を対象に、世帯の状況に応じて負担軽減を図ります。	〔歳入〕 学童保育 運営費保 護者負担 金	17,640	実施場所 放課後児童クラブ 11ヵ所 （市営10ヵ所 民間1ヵ所） 利用者数 ・入所（通年利用）364人 ・長期休み利用 146人（春・夏・冬休み） ・一時利用 34人 減免対象者 ・一般世帯 2人目97人、3人目以降2人 ・ひとり親世帯 1人目26人、2人目 8人、3人目以降0人 ・非課税世帯 1人目36人、2人目 3人、3人目以降1人 ・生活保護世帯 0人	17,181	・学童利用を希望する児童全てを受け入れることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						・今後も保護者の負担軽減に努めていきます。 ・女性のひとり親世帯については、経済力が低いことから、利用料に対する負担の状況について引き続き注視していきます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	補助対象児童件数	件	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			38/-	47/-	43/-	95/-	61/-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	公的支援制度や施設、保育施設等の整備・充実		軽減総額	4,813千円	10,635千円	9,748千円	6,987千円	2,774千円
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	子育て中の保護者の経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。	【目標値の根拠】	軽減対象となる方全員に対して行っていることから実績数値のみとしました。					
59	予算事業名	私立幼稚園教育支援事業							
事業概要		私立幼稚園運営費補助							
男女共同参画での視点		保護者への授業料の負担軽減							
推進課 (室)		子ども課	男女共同参画推進委員からのご意見						

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の経済的負担の軽減と公立、私立間の負担格差の是正を図るため、就園奨励事業を実施する私立幼稚園に対して補助金を交付します。 第2子以降の授業料等については、年齢制限を廃止し、全額補助に改正します。 	事業費補助金	14,118	補助対象件数・・・47件	10,635	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の改正に伴い、実績件数・軽減総額とも増加しています。県内の他自治体と比較しても軽減率は高くなっています。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> H31年10月から幼児教育の無償化が検討されています。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の制度改正に伴い、引き続き、年齢制限を廃止し、第2子以降の入園料・授業料については全額補助とします。 	事業費補助金	11,529	補助対象件数等…43件	9,748	<ul style="list-style-type: none"> 国の制度から対象を拡充しているため、県内の他自治体と比較しても軽減率は高くなっています。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 2019年度10月から幼児教育の無償化を実施する予定です。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 第2子以降の入園料・授業料については全額補助を実施します。 10月からは幼児教育の無償化を実施します。 国の就園奨励費補助金制度から子育てのための施設等利用給付制度へ変更されます。 子育てのための施設等利用制度では、給付限度額があるため、第2子以降の保育料等の全額との差を補助します。 	事業費補助金	5,673	就園奨励費補助金 補助対象件数等…44件 副食費徴収に係る補足給付補助金 補助金対象件数等…51件	6,987	<ul style="list-style-type: none"> 国の無償化制度により、10月以降は、子育てのための施設等利用給付制度に変わりました。 また、無償化に伴い副食費徴収に係る補足給付では、国の制度の免除範囲を拡充し、全員に対して補助を行いました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子育て中の保護者の経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 幼児教育の無償化（子育てのための施設等利用給付費）と第2子以降の保育料等の全額との差の補助を実施します。 ※無償化対象分は子育てのための施設等利用給付事業で実施 	事業費補助金	865	就園奨励費補助金 補助対象件数等…8件 副食費徴収に係る補足給付補助金 補助金対象件数…53件	2,774	これまでの第2子以降保育料無償を維持するため、幼児教育の無償化の対象外部分について補助を行いました。 また、副食費徴収に係る補足給付では、国の制度の免除範囲を拡充し、全員に対して補助を行いました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子育て中の保護者の経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	助成者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			3,956/-	4547/-	4691/-	4475/-	4,347/-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	公的支援制度や施設、保育施設等の整備・充実		助成額	69,226千円	76,821千円	75,326千円	74,293千円	61,377千円
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	子育て中の保護者の経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。	【目標値の根拠】	対象者全員に対して助成を行っていることから実績数値のみとします。					
60	予算事業名	子ども医療費助成事業		男女共同参画推進委員からのご意見					
事業概要		保護者への子どもの医療費用の助成							
男女共同参画での視点		保護者への医療費の負担軽減							
推進課 (室)		子ども課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> H29.4月から対象者の拡充予定。(15歳→18歳) 市内に在住の児童に対して、18歳に達する日以降の最初の3月31日まで保険診療にかかる自己負担金のうち、一部負担金を除いた額を助成。 【一部負担金】 <ul style="list-style-type: none"> 通院 1回530円 (同一診療科4回まで、5回目以降無料) 入院 無料 (H27.4月～市の独自助成) 助成対象数 4,600人(前年度4,000人) 	扶助費	82,200	<ul style="list-style-type: none"> H29.4月より対象者を拡充しました。(15歳→18歳) H29の改正に伴い、実績件数・軽減総額とも増加しています。 県内の他自治体と比較しても軽減率は高くなっています。 年齢を既に拡充した自治体は、30中18 受給者証交付人数 4,547人(前年3,956人) 助成件数 43,878件(前年42,437件) 	76,821	<ul style="list-style-type: none"> 対象が拡充したことにより助成件数・軽減総額とも増加しました。 県内の他自治体と比較しても軽減率は高くなっています。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請漏れのないように、出生届・転入届受付時に、パンフレット配布等により制度の周知を図ることにより、引き続き適正な助成に努める必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き医療費助成を行います。助成対象数 4,400人 申請漏れを防ぐため、市報やホームページへの掲載、パンフレット等の窓口設置など、制度の周知を図るため工夫に努めます。 県外で受診した際の立替え払い分についても申請漏れがないように周知を図ります。 	扶助費	81,300	<ul style="list-style-type: none"> 受給者証交付人数 4,691人(前年4,547人) 助成件数 44,875件(前年43,878件) 	75,326	<ul style="list-style-type: none"> 県内の他自治体と比較しても軽減率は高くなっています。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 申請漏れのないように、出生届・転入届受付時に、パンフレット配布等により制度の周知を図ることにより、引き続き適正な助成に努める必要があります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き医療費助成を行います。助成対象数 4,300人 申請漏れを防ぐため、市報やホームページへの掲載、パンフレット等の窓口設置など、制度の周知を図るため工夫に努めます。 県外で受診した際の立替え払いについても申請漏れがないように周知を図ります。 	扶助費	81,420	<ul style="list-style-type: none"> 受給者証交付人数 4,475人(前年4,691人) 助成件数 43,860件(前年44,875件) 	74,293	<ul style="list-style-type: none"> 対象者が減少していることから、助成額も減少しています。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 出生届、転入届受付時に制度周知を図り、引き続き適正な助成に努める必要があります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き医療費助成を行います。助成対象数 4,200人 出生、転入時の申請漏れを防ぐために、窓口での確認、制度周知をはかります。 県外での受診、補装具等の購入で償還払いの対象の申請漏れのないように周知を図ります。 	扶助費	80,760	<ul style="list-style-type: none"> 受給者証交付人数 4,347人(前年4,475人) 助成件数 32,648件(前年43,860件) 	61,377	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年1月から保険適用分自己負担額の全額を助成しました。 コロナウイルス感染症の影響で受診件数が減少し、助成額も減少しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 各種届出の際に申請漏れ等のないように、他課との連携を図り、適正な助成を行うよう努める必要があります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	助成者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			8/-	5/-	8/-	7/-	8/-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	公的支援制度や施設、保育施設等の整備・充実		助成額	2,689 千円	1,106 千円	1,021 千円	2,020 千円	1,342 千円
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	子育て中の保護者の経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。	【目標値の根拠】	対象者全員に対して助成を行っていることから実績数値のみとします。					
61	予算事業名	養育医療費助成事業		男女共同参画推進 委員会からのご意見					
	事業概要	保護者への未熟児の養育医療費の助成							
	男女共同参画での視点	保護者への医療費の負担軽減							
	推進課 (室)	子ども課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 生まれた時の体重が2,000g以下であるか、又は2,000gを超えていても医師の診断により生活力薄弱であって一定の症状を有している乳児に対し、養育医療指定期間において入院養育を必要と認めた場合に医療費の一部を助成します。 助成対象者数 5人(前年8人) 	扶助費	1,460	<ul style="list-style-type: none"> 受給者証交付人数 5人(前年8人) 助成件数 11件(前年11件) 	1,106	<ul style="list-style-type: none"> 助成対象者が減少した理由は、養育医療(未熟児)の対象となる方が少なかったためです。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、他課と連携を図り申請漏れのないように努める必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き医療費助成を行います。助成対象数 5人 申請漏れを防ぐため、他課と連携を図りながら対象者への情報提供を図ります。 	扶助費	1,400	<ul style="list-style-type: none"> 受給者証交付人数 8人(前年5人) 助成件数 4件(前年11件) 	1,021	<ul style="list-style-type: none"> 医師の診断により入院養育が必要と認められた方に対して、医療費の一部を助成しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き他課との連携を図り申請手続きを迅速に行うように努める必要があります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き医療費助成を行います。助成対象数 5人 市報やホームページへの掲載、子育て情報メールの配信等により制度周知を図ります。 	扶助費	1,440	<ul style="list-style-type: none"> 受給者証交付人数 7人(前年 8人) 助成件数 10件(前年11件) 	2,020	<ul style="list-style-type: none"> 医師の診断により入院養育が必要と認められた方に対して、医療費の一部を助成しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 申請手続きを迅速に行うように努める必要があります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き医療費助成を行います。助成対象数 5人 関係各所と連絡を密にし、対象者への制度周知、情報提供を図ります。 	扶助費	1,440	<ul style="list-style-type: none"> 受給者証交付人数 8人(前年 7人) 助成件数 9件(前年10件) 	1,342	<ul style="list-style-type: none"> 医師の診断により入院療養が必要と認められた方に対して、医療費の一部を助成しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 申請手続きを迅速に行い、受給者証を交付することが必要であります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	助成者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			845/-	797/-	790/-	768/-	724/-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	公的支援制度や施設、保育施設等の整備・充実			助成額	16,366千円	14,775千円	14,876千円	15,272千円
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	子育て中の保護者の経済的負担を軽減する制度の充実を図ります。	【目標値の根拠】	対象者全員に対して助成を行っていることから実績数値のみとします。					
62	予算事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業		男女共同参画推進委員からのご意見					
事業概要		ひとり親家庭等への医療費の助成							
男女共同参画での視点		保護者への医療費の負担軽減							
推進課 (室)		子ども課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の父、母、又は養育者及び児童の医療費に対し助成しました。 子ども医療費助成事業の対象者の拡充に伴い、H29.4月から同様に拡充予定。(15歳→18歳) 市内に在住の児童に対して、18歳に達する日以降の最初の3月31日まで保険診療にかかる自己負担金のうち、一部負担金を除いた額を助成。 【一部負担金】 通院 1回530円 (同一診療科4回まで、5回目以降無料) 入院 無料 (H27.4月～市の独自助成) 助成対象数 810人(前年度820人) 	扶助費	17,340	<ul style="list-style-type: none"> H29.4月より児童入院無料化を拡充しました。(15歳→18歳) 受給者証交付人数 776人(前年845人) 助成件数 6,746件(前年7,702件) 	14,775	<ul style="list-style-type: none"> 助成対象者が減少した理由は、少子化により対象児童が少ないためです。
						今後の対策・取組の方向等 <ul style="list-style-type: none"> 申請漏れのないように、市報やホームページへの掲載、パンフレット等の窓口設置など、より一層の制度周知を図る必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き医療費助成を行います。助成対象数 740人 申請漏れを防ぐため、市報やホームページへの掲載、パンフレット等の窓口設置など、制度の周知を図るため工夫に努めます。 県外で受診した際の立替え払い分についても申請漏れがないように周知を図ります。 	扶助費	16,560	<ul style="list-style-type: none"> 受給者証交付人数 790人（前年776人） 助成件数 6,347件（前年6,746件） 	14,876	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親となられる方が増加したことにより、助成対象者も増加となりました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 申請漏れのないように、市報やホームページへの掲載、パンフレット等の窓口設置など、より一層の制度周知を図る必要があります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き医療費助成を行います。助成対象数 780人 申請漏れを防ぐため、市報やホームページへの掲載、パンフレット等の窓口設置など、制度の周知を図るため工夫に努めます。 県外で受診した際の立替え払い分についても申請漏れがないように周知を図ります。 	扶助費	16,560	<ul style="list-style-type: none"> 受給者証交付人数 768人（前年度790人） 助成件数 7,084件（前年度6,347件） 	15,272	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親の対象者は減少しましたが、受診件数が増えたことから助成金額も増加しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 窓口と連携して、対象となる方へ制度周知を図り、申請漏れのないように努める必要があります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き医療費助成を行います。助成対象者 750人 対象となる方の申請漏れを防ぐために関係各所と連携を図り、制度周知を図ります。 県外での受診、補装具等の購入で償還払いの対象の申請漏れのないように周知を図ります。 	扶助費	16,236	<ul style="list-style-type: none"> 受給者証交付人数 724人（前年度768人） 助成件数 5,957件（前年度7,084件） 	14,506	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年1月から児童の保険適用分自己負担額の全額を助成しました。 コロナウイルス感染症の影響で受診件数が減少し、助成額も減少しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 他課との連携を図り、対象となる方への制度周知を行い申請漏れのないように努める必要があります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	工事の進捗率	%	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			100/100	-	-	-	-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	公的支援制度や施設、保育施設等の整備・充実	【目標値の根拠】		・すもんこども園の建設に伴い、守門保育園及び守門幼稚園の解体作業を行いました。(平成28年度工事完了)				
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	安心して利用でき、多様なニーズに対応した保育施設等の環境整備をすすめます。							
63	予算事業名	公立保育園等整備事業							
事業概要	保育施設の整備		男女共同参画推進委員からのご意見						
男女共同参画での視点	安心して利用でき、多様なニーズに対応した環境整備								
推進課 (室)	子ども課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	・今年度の整備事業予定はありません。	-	0		0	
						今後の対策・取組の方向等

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	・今年度の整備事業予定はありません。	-	0			
						今後の対策・取組の方向等
2019年度	・今年度の整備事業予定はありません。					
						今後の対策・取組の方向等
2020年度	・今年度の整備事業予定はありません。					
						今後の対策・取組の方向等

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	利用者延べ人数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			1,085	1,041	1,010	1,070	975
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	2	公的支援制度や施設、保育施設等の整備・充実	【目標値の根拠】	未就学児(0~5歳児)数 H28 1,358人 H29 1,357人 H30 1,358人 H31 1,290人 R2 1,267人					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	安心して利用でき、多様なニーズに対応した保育施設等の環境整備をすすめます。							
64	予算事業名	保育園管理事業							
事業概要		各公立保育園の運営の管理							
男女共同参画での視点		保育施設の受入れ体制の充実(3歳未満児受入れの拡大、休日保育、一時保育)							
推進課(室)		子ども課							
		男女共同参画推進委員会からのご意見							

年度	事業計画(男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果(男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価(成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 両親の就労や病気等により保育を必要とする就学前の児童の受入れを行います。 3歳児未満受入 全保育園(見込372人) 休日保育 私立保1箇所のみ(見込60人) 一時保育 全保育園(見込609人) ※H28から市立小出病院で行っている病児・病後児保育についても普及促進を図ります。	公立園： 保育園管理事業 私立園： 私立保育園運営助成事業	公立： 1,008,573 私立： 267,246	希望する児童のすべてを受け入れました。 3歳児未満受入(実績367人) 休日保育(実績57人) 一時預かり(実績567人)	公立： 844,106 私立： 240,654	<ul style="list-style-type: none"> 未就学児の人口総数は減少しており、入園割合がほぼ100%の3歳以上の入園児童数は減っています。 3歳未満児においては、対象年齢の総数に対する入園児童の割合が増加しているため、入園児童数は増えています。 そのため、保育スペースを整理するなどして入所受け入れに対応しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 未就学児保育の希望は増加傾向にあるため、保育スペースをさらに整理し入所数を確保する必要があります。 次年度より、一時預かりの料金の軽減を図ります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年同様、両親の就労や病気等により保育を必要とする就学前の児童の受入れを行います。 3歳児未満受入 全保育園(見込391人) 休日保育 私立保1箇所のみ(見込60人) 一時保育 全保育園(見込559人) ※H30より一時預かりの保育料を改正し、主に未満児の利用軽減を図ります。 主に未満児の利用で軽減をはかります。 【例】 <ul style="list-style-type: none"> 8時30分～16時30分の間に1時間預けた場合 0歳は800円、1・2歳は450円が200円に軽減 8時30分～16時30分に8時間預けた場合 0歳は6,200円、1・2歳は3,600円が1,500円に軽減 	公立： 保育園管 理事業 私立： 私立保育 園運営助 成事業	公立： 1,015,610 私立： 304,974	希望する児童のすべてを受け入れました。 3歳児未満受入（実績 379人） 休日保育（実績 71人） 一時預かり（実績 741人）	公立： 960,126 私立： 291,141	<ul style="list-style-type: none"> 未就学児の人口総数は減少しており、入園割合がほぼ100%の3歳以上の入園児童数は減っています。 3歳未満児においては、対象年齢の総数に対する入園児童の割合が増加しているため、入園児童数は増えています。 そのため、職員を確保して対応しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 未満児保育の希望は増加傾向にあるため、入園するための環境を整える必要があります。 今年度より、一時預かりの料金の軽減を図りました。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年同様、両親の就労や病気等により保育を必要とする就学前の児童の受入れを行います。 3歳児未満受入 全保育園(見込380人) 休日保育 私立保1箇所のみ(見込65人) 一時保育 全保育園(見込650人) 	公立： 保育園管 理事業 私立： 私立保育 園運営助 成事業	公立： 1,037,741 私立： 315,236	希望する児童のすべてを受け入れました。 3歳児未満受入（実績410人） 休日保育（実績82人） 一時預かり（実績544人）	公立： 960,488 私立： 304,001	<ul style="list-style-type: none"> 未就学児の人口総数は減少しており、入園割合がほぼ100%の3歳以上の入園児童数及び一時預かりの実績は減っています。 3歳未満児においては、対象年齢の総数に対する入園児童の割合が増加しています。そのため、職員を確保して対応しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 未満児保育の希望は増加傾向にあるため、入園するための環境を整える必要があります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 両親の就労や病気等により保育を必要とする就学前の児童の受入れを行います。 3歳児未満受入 全保育園(見込400人) 休日保育 私立保1箇所のみ(見込75人) 一時保育 全保育園(見込750人) 	公立： 保育園管 理事業 私立： 私立保育 園運営助 成事業	公立： 1,066,424 私立： 322,735	希望する児童のすべてを受け入れました。 3歳児未満受入（実績398人） 休日保育（実績67人） 一時預かり（実績416人）	公立： 990,888 私立： 294,815	<ul style="list-style-type: none"> 未就学児の人口総数は減少しており、入園割合がほぼ100%の3歳以上の入園児童数及び一時預かりの実績は減っています。 3歳未満児においては、対象年齢の総数に対する入園児童の割合が増加しています。そのため、職員を確保して対応しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 未満児保育の希望は増加傾向にあるため、入園するための環境を整える必要があります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	すくすく広場(出張広場)・サークル交流会延べ参加者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			107/380	131/120	105/150	38/120	33/120
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	地域における子育て環境の整備・充実	【実績に基づく数値】 H28実績内訳 サークル交流会 25人、入広瀬地域 82人 H29実績内訳 サークル交流会 29人、入広瀬地域 102人 H30実績内訳 サークル交流会 29人、入広瀬地域 76人 R1実績内訳 サークル交流会 12人、入広瀬地域 26人 R2実績内訳 サークル交流会 12人、サポーター研修会 21人 ・すもんこども園の開園に伴い、守門地域のすくすく広場(出張広場)を「保育園親子ふれあい広場」として、すもんこども園に移行して実施H29年度の参加者増加に伴い、H30目標を上方修正しました。しかし、子どもの減少や保育園への入園に伴い、H30は減少しているため、2019は下方修正しました。						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	育て中の保護者同士が交流、情報交換を行うサークルなどの活動を支援します。							
65	予算事業名	親子ふれあい支援事業	【目標値の根拠】						
事業概要	子育て中の養育者の孤立防止と育児情報・交流の場の提供		男女共同参画推進委員からのご意見						
男女共同参画での視点	就園前の子どもや保護者への情報交換等の場の提供								
推進課(室)	子ども課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な予算項目	予算額(千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額(千円)	評価(成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ・守門と広神の子育てサークルを支援するため、市に登録するサークルサポーターを派遣しており、サークルの支援を行っています。 ・サポーターとサークルの代表や役員との交流を図るため、年2回交流会を開催します。 ・子育て支援センターに来場しづらい遠隔地の入広瀬地域でも親子で楽しめる子育ての場を提供するため、出張広場を年10回開催します。 ・子育て支援センターでは、子育て中の親子の交流を通して、子育ての孤立感や負担感を解消するため、親子教室を随時開催します。昨年度より実施回数増加を目指します。(H28:2回→H29:7回) 	賃金 報償費 消耗品費	591	<ul style="list-style-type: none"> ・サークルサポーター交流会 日程 2回開催(4/21, 2/16)、 人数 延べ29人(子ども含む) 会場 子育て支援センター ・入広瀬地域の出張広場 日程 10回開催(毎月第2金曜日、1月2月休) 人数 延べ102人 会場 入広瀬保健センター ・親子教室 ①親子運動教室 4回(6/16, 7/6, 9/15, 11/11) ②ベビーマッサージ教室 2回(6/22, 10/19) ③音楽広場 1回(12/12) 人数 延べ279人 会場: 子育て支援センター 	54	<ul style="list-style-type: none"> ・親子教室について、昨年度より201人、参加人数を増やすことができました。 ・人数が増えた理由としては、実施回数を5回増やしたことによるもので、参加機会を増やしました。 ・出張広場について、参加促進のための声かけや遊び内容の工夫をしたことにより、実績が伸びました。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数が減少しているため、一定の参加数に達成できるよう取組を行います。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き子育てサポーターの交流会を年2回開催します。 ・入広瀬地域の出張広場については、通年で開催できるように、年12回に開催数を増やします。 ・親子教室については、昨年度より更に実施回数の増加を目指します。 (H29:7回→H30:9回) 	賃金 報償費 消耗品費	647	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポーター交流会 日程 2回開催(4/20, 2/15) 人数 延べ29人（子ども含む） 会場：子育て支援センター ・入広瀬地域の出張広場 日程 12回開催(毎月第2金曜日) 人数 延べ76人 会場：入広瀬保健センター 守門健康センター ・親子教室 ①親子運動教室3回(6/15, 7/19, 9/21) ②ベビーマッサージ教室2回(7/12, 10/18) ③親子ヨガ教室2回(8/3, 12/6) ④英語であそぼう1回(10/29) ⑤音楽広場1回(12/6) 人数 延べ334人 会場：子育て支援センター 	511	<ul style="list-style-type: none"> ・親子教室については講座を増やし、参加人数も増加しました。 ・出張広場については、保育園入園者の増加により在宅児が減少したことが、参加人数の減少に繋がったものと考えられます。
						今後の対策・取組の方向等
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポーターとサークル代表者との交流会を年2回開催し活動の支援に繋がります。 ・親子教室については、講座の充実を図り実施回数と参加者の増加を目指します。 (H30:9回→H31:10回) 	賃金 報償費 消耗品費	699	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポーター交流会 日程 1回開催(4/25) 人数 延べ12人（子ども含む） 会場：子育て支援センター ・入広瀬地域の出張広場 日程 10回開催(毎月第2金曜日) 人数 延べ26人 会場：入広瀬保健センター 守門健康センター ・親子教室 ①親子運動教室4回(6/7, 7/19, 9/20, 11/9) ②ベビーマッサージ教室2回(6/26, 10/10) ③親子ヨガ教室2回(7/6, 10/26) ④英語であそぼう1回(12/6) 人数 延べ333人 会場：子育て支援センター 	524	<ul style="list-style-type: none"> ・親子教室については、開催回数・参加者人数とも昨年並みとなりました。 ・出張広場については、少子化や保育園未就学児の減少により参加人数の大幅な減少になりました。
						今後の対策・取組の方向等
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親子の交流を実施し、子育ての孤立感、負担感の解消を図るとともに地域の子育てサークルの活動を支援します。 ・子育てサポーターとサークル代表者との交流会を年2回開催します。 ・親子教室については、講座の充実を図り、参加者の増加を目指します。 	賃金 報償費 消耗品費	615	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポーター交流会 日程 2回開催(9/9・2/17) 人数 延べ12人（子ども含む） 会場：子育て支援センター ・子育てサポーター研修会 日程 3回開催(9/23・10/29・11/18) 人数 延べ21人 会場：子育て支援センター ・親子教室 ①親子運動教室2回(9/4・11/6) ②英語であそぼう2回(10/31×2) 人数 延べ90人 会場：子育て支援センター 	341	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポーターについては、交流会に加え研修会を実施し、内容の充実を図りました。 ・親子教室については、コロナウイルス感染症の影響で開催回数・参加者人数とも減となりました。 ・入広瀬地区で実施していた出張広場については、参加者の減少により休止となりました。
						今後の対策・取組の方向等

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	広場開放の延べ利用者数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			15,306 /16,000	15,107 /15,500	15,185 /16,000	12,251 /16,000	11,064 /16,000
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	地域における子育て環境の整備・充実	【実績に基づく数値】 H28 15,306人 (うち相談件数139件) H29 15,107人 (うち相談件数99件) H30 15,185人 (うち相談件数103件) R1 12,251人 (うち相談件数76件) R2 11,064人 (うち相談件数40件) 【目標値の根拠】 ・H28に堀之内子育て支援センター廃止に伴い、これまでの取組を「保育園親子ふれあい広場」として堀之内なかよし保育園に移行して行うこととしたため、本事業としての目標値を、H29年度より下げています。(H29 保育園親子ふれあい広場述べ利用者数3,432人)						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	子育て関連の情報提供と育児相談等を実施し、子育ての孤立感、負担感の解消を図ります。							
66	予算事業名	子育て支援センター管理運営事業	男女共同参画推進委員会からのご意見						
	事業概要	子育て中の養育者の孤立防止と育児情報・交流の場の提供							
	男女共同参画での視点	子育てに関する情報の提供や育児相談の実施							
	推進課 (室)	子ども課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する情報の提供や育児相談の実施するため、子育て支援センターの広場を自由開放します。(平日9時～16時30分・土曜日9時～11時30分) 	賃金	2,709	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターの広場を自由開放しました。(平日9時～16時30分・土曜日9時～11時30分) 広報等により周知し利用者の増加を目指しました。 延べ利用者数15,107人 (うち相談件数99件) 主な相談内容は次のとおり 言語相談 4件 育児相談 26件 栄養相談 66件 その他 3件	2,343	<ul style="list-style-type: none"> 広場で気軽に相談を受けることにより、親が一人で抱えている育児等の悩みを軽減することができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 広報等により周知し利用者の増加を目指します。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、子育てに関する情報の提供や育児相談の実施するため、子育て支援センターの広場を自由開放します。（平日9時～16時・土曜日9時～11時30分） 	賃金	2,724	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターの広場を自由開放しました。（平日9時～16時・土曜日9時～11時30分） ・広報等により周知し利用者の増加を目指しています。 延べ利用者数15,185人（うち相談件数103件） 主な相談内容は次のとおり 障害相談 2件 育児相談 22件 栄養相談 78件 その他 1件	2,332	<ul style="list-style-type: none"> ・広場での相談事業が保護者の子育ての悩みの軽減だけでなく、療育担当や母子保健との連携により療育教室参加に繋がりました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する情報の提供や育児相談の実施について、広報等により周知し利用者の増加を目指します。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、子育てに関する情報の提供や育児相談の実施するため、子育て支援センターの広場を自由開放します。（平日9時～16時・土曜日9時～11時30分） 	賃金	2,836	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターの広場を自由開放しました。（平日9時～16時・土曜日9時～11時30分） ・広報等により周知し利用者の増加を目指しています。 延べ利用者数12,251人（うち相談件数76件） 主な相談内容は次のとおり 育児相談 39件 栄養相談 37件	2,317	<ul style="list-style-type: none"> ・広場での保護者同士、子ども同士が交流することにより、親子のリフレッシュや孤立防止の場づくりにつながりました。また、子育て情報の提供や育児相談の実施により子育て支援に貢献しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に設置した「子育て世代包括支援センター」との連携により、子育て情報の提供を強化し、利用者の増加を目指すとともに相談体制の充実を図ります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども課母子保健係と連携し、子育て支援センターのPRを図り、周知に努めます。 ・子育てに関する情報の提供や育児相談の実施するため、子育て支援センターの広場を自由開放します。（平日9時～16時・土曜日9時～11時30分） 	賃金	2,640	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターの広場を自由開放しました。（平日9時～16時・土曜日9時～11時30分） ・広報等により周知し利用者の増加を目指しています。 延べ利用者数11,064人（うち相談件数40件） 主な相談内容は次のとおり 育児相談 18件 栄養相談 22件	2,443	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターを活用することにより、親子の交流等による保護者の子育てを支援し、育児相談など育児不安の軽減、解消を図るよう努めました。 ・新型コロナウイルス感染症対策で5月6日まで休館し、利用者数及び相談件数は、前年度に比べ減となりました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・切れ目のない子育て支援を進めていくために、子育て世代包括支援センターなどの関係機関と連携し、子育て情報の発信や相談体制の充実を図ります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり			H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり							
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	3	地域における子育て環境の整備・充実	【目標値の根拠】		目標値がない理由 作成した冊子は、未就学児をはじめとした子育て世帯や、関係各機関・団体・公共施設に毎年配布しています。 必要と思われるところに配布している現状から、目標を数値で表すことはなじまないため、目標値を設定していません。				
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	子育て関連の情報提供と育児相談等を実施し、子育ての孤立感、負担感の解消を図ります。							
67	予算事業名	次世代育成支援対策事業							
	事業概要	子育てに関する様々なサービス支援							
	男女共同参画での視点	子育て支援に関する情報の周知			男女共同参画推進委員からのご意見				
	推進課 (室)	子ども課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等)・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 「魚沼市子育て便利帳」の平成29年度版を発行します。(H29と同数の2,500部を予定) 庁内及び関係機関等と連携して情報を共有し、各分野毎に読みやすさを工夫して編集していきます。 未就学児の保護者や関係部署等への配布をはじめ、気軽に読める場所への配置やホームページの活用等により、子育てに関する情報を発信していきます。 	印刷製本費	800	<ul style="list-style-type: none"> 「魚沼市子育て便利帳」を2,500部発行し、未就学児の保護者や関係部署等への配布、気軽に読める場所へ配置しました。主な配布先の内訳は次のとおりです。 未就学児童の保護者 各庁舎窓口 子育ての駅かたつきり 各関係機関 他 庁内及び関係機関等と連携して情報を共有し、各分野毎に読みやすさを工夫して編集しました。 ホームページでも電子版を公開し、子育てに関する情報を発信しました。 	736	子育て情報を1冊にまとめており、各所で有効に活用されています。
						今後の対策・取組の方向等
						子育てに関する情報発信のため、庁内、関係機関と引き続き連携して情報を共有し、内容の充実に努めながら子育て便利帳を発行していきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、「魚沼市子育て便利帳」の平成30年度版を発行します。（H29と同数の2,500部を予定） 庁内及び関係機関等と連携して情報を共有し、各分野毎に読みやすさを工夫して編集していきます。 前年度からの変更点や更新内容について適切に改訂するとともに、必要な情報は追加するよう検討を行います。 	印刷製本費	854	<ul style="list-style-type: none"> 前年度同様に「魚沼市子育て便利帳」を2,500冊発行しました。主な配布先の内訳は次のとおりです。 未就学児童の保護者 各庁舎窓口 子育ての駅かたつきり 各関係機関 他 利便性を高めるため、掲載内容を追加し、ページ数を48から50に増やしました。主な追加内容は、おたふくかぜ、インフルエンザ予防接種の助成等です。 	753	子育てに関する各制度等を1冊にまとめており、既存の制度等の確認、修正とともに新規事業等も掲載して内容の充実を図り、子育て世帯への情報発信手段として有効に活用されています。
						今後の対策・取組の方向等
						子育てに関する情報発信のため、庁内、関係機関と引き続き連携して情報を共有し、内容の充実を努めながら子育て便利帳を発行し、有効活用が図れるように子育て世帯や関係各所への配布、市のホームページへの掲載など周知を図っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、「魚沼市子育て便利帳」の令和元年度版を発行します。（H30と同数の2,500部を予定） 庁内及び関係機関等と連携して情報を共有し、各分野毎に読みやすさを工夫して編集していきます。 前年度からの変更点や更新内容について適切に改訂するとともに、必要な情報は追加するよう検討を行います。 	印刷製本費	854	<ul style="list-style-type: none"> 前年度同様に「魚沼市子育て便利帳」を2,500冊発行しました。主な配布先の内訳は次のとおりです。 未就学児童の保護者 各庁舎窓口 子育ての駅かたつきり 各関係機関 他 庁内及び関係機関等と連携して情報を共有し、各分野毎に読みやすさを工夫して編集しました。 ホームページに電子版を公開し、子育てに関する情報を発信しました。 	780	子育てに関する各制度等を1冊にまとめており、情報の更新と新規事業等も掲載して内容の充実を図り、子育て世帯への情報発信手段として有効に活用されています。
						今後の対策・取組の方向等
						子育て便利帳を有効に使っていただけるように、庁内、関係機関と連携して情報を共有し、使いやすい内容と情報発信に努めています。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、「魚沼市子育て便利帳」の令和2年度版を発行します。（R元と同数の2,500部を予定） 庁内及び関係機関等と連携して情報を共有し、各分野毎に読みやすさを工夫して編集していきます。 前年度からの変更点や更新内容について適切に改訂するとともに、必要な情報は追加するよう検討を行います。 各事業、制度の周知等に有効に活用されるよう子育て世帯や関係各所への配布をはじめ、ホームページについても見やすさを努めながら掲載していきます。 	印刷製本費	875	<ul style="list-style-type: none"> 前年度同様に「魚沼市子育て便利帳」を2,500冊発行しました。主な配布先の内訳は次のとおりです。 未就学児童の保護者 子育ての駅かたつきり 魚沼市社会福祉協議会 各医療機関等の関係機関 他 庁内及び関係機関等と連携して情報を共有し、各分野毎に読みやすさを工夫して編集しました。 ホームページに電子版を公開し、子育てに関する情報を発信しました。 	814	子育てに関する各制度や問い合わせ先等を1冊にまとめており、情報の更新と新規事業等も掲載して内容の充実を図り、子育て世帯への情報発信手段として有効に活用されています。
						今後の対策・取組の方向等
						子育て便利帳を有効に使っていただけるように、各種制度の最新の情報を毎年度更新し、情報発信に努めています。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	申請者人数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			0/1	0/1	0/1	2/1	0/1
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	4	ひとり親家庭への支援体制の充実	【目標値の根拠】		対象者の就業、生活の安定のために資格取得は大きく貢献すると考えられます。 そのため、これまで申請の実績はありませんが、制度の周知に努め、1人以上の申請があるよう目標値を設定したものです。				
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	ひとり親家庭を支援するため、就業支援、相談等の施策の充実を図ります。							
68	予算事業名	次世代育成支援対策事業							
事業概要	子育てに関する様々なサービス支援		男女共同参画推進委員からのご意見						
男女共同参画での視点	ひとり親家庭への教育訓練講座の受講費用の助成（自立支援教育訓練給付金の給付）								
推進課（室）	子ども課								

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な予算項目	予算額（千円）	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額（千円）	評価（成果等）・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の父または母が、就業に結びつくと考えられる教育訓練講座を受講し修了した場合に受講費の一部を助成します。 平成29年4月に要綱改正により制度の拡充をしており、制度の周知を図ります。 給付金額 200千円/人 	負担金補助及び交付金	200	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等を対象に制度の周知を図っていますが、申請はありませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 申請がなかったため、実績はありません。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 実績はありませんが、30年3月に制度内容について相談がありました。 受講希望があった際に支援できるように継続し、制度の周知を図ります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、ひとり親家庭の父または母が、就業に結びつくと考えられる教育訓練講座を受講し修了した場合に受講費の一部を助成します。 給付金額 200千円/人 平成30年度も目標値は1人を見込み、引き続き対象者に情報が届けられるよう、制度の周知を図っていきます。 	負担金補助及び交付金	200	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等を対象に制度の周知を図っていますが、申請はありませんでした。ただし、31年度予算での執行となりますが、対象講座指定申請が31年2月にありました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 給付した実績はありませんが、31年度に向けた対象講座指定申請があり、これまでの周知による成果が現れつつあります。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今年度は給付が見込めます。受講希望があった際に支援できるように継続し、今後も制度の周知を図ります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、ひとり親家庭の父または母が、就業に結びつくと考えられる教育訓練講座を受講し修了した場合に受講費の一部を助成します。 給付金額 200千円/人 令和元年度も目標値は1人を見込み、引き続き対象者に情報が届けられるよう、制度の周知を図っていきます。 国の要綱改正に合わせて市の交付要綱も改正し、交付限度額の増額等による制度の拡充を図ります。 	負担金補助及び交付金	200	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の実績は次のとおりです。 対象講座の受講費用について、受講費の一部を支給しました。 <p>自立支援教育訓練給付金</p> <p>自動車(普通二種) 121千円 1人</p> <p>介護職員初任者研修 34千円 1人</p>	155	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は2人が制度を利用し、目標値を達成しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の自立に向けた支援のため、今後も継続して取り組みを行うとともに、制度の周知を図っていきます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、ひとり親家庭の父または母が、就業に結びつくと考えられる教育訓練講座を受講し修了した場合に受講費の一部を助成します。なお、令和元年度に国の要綱改正により、給付金の上限額が引き上げられました。 給付金額 800千円/人 令和2年度も目標値は1人を見込み、引き続き対象者に情報が届けられるよう、制度の周知を図っていきます。 	負担金補助及び交付金	800	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等を対象に、制度のパンフレットを送付し周知を図りましたが、申請はありませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 申請がなかったため、実績はありません。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の自立に向けて効果があると考えられるため、受講希望があった際に支援できるように継続し、今後も引き続き制度の周知を図ります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値					
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	申請者人数	人	H28	H29	H30	2019	2020	
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			2	3	3/3	2/3	2/3	
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	4	ひとり親家庭への支援体制の充実		予算 決算	2,046 2,046	2,096 1,978	2,332 1,742	3,364 1,692	3,844 2,197	
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	ひとり親家庭を支援するため、就業支援、相談等の施策の充実を図ります。	【目標値の根拠】	本事業は、ひとり親世帯等の自立に大きく貢献すると考えられます。そのため、継続的に対象者に対して制度の周知に努め、申請を促すため、平成30年度より前年度実績を基に、3人の目標設定を行ったもの。 【実績値】 高等等職業訓練促進費等給付金 2人						
69	予算事業名	次世代育成支援対策事業		男女共同参画推進 委員からのご意見						
	事業概要	子育てに関する様々なサービス支援								
	男女共同参画での視点	ひとり親家庭への資格取得にかかる修業期間の生活費用の助成								
	推進課 (室)	子ども課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の父または母が、資格取得のため養成機関で修業した際に修業期間の生活費を支給します。(所得制限あります) また、修業を修了した時に、修了支援給付金を支給します。 高等職業訓練促進費等給付金 100千円/月(非課税世帯) 1人 70.5千円/月(課税世帯) 1人 修了支援給付金 50千円 1人	負担金補助及び交付金	2,096	<ul style="list-style-type: none"> 3人(男性0人、女性3人)が、看護師資格等の取得に向けて、生活費及び修了支援給付金の支給を受けました。 高等職業訓練促進費等給付金 100千円/月(非課税世帯) 1人 70.5千円/月(課税世帯) 1人 修了支援給付金 50千円 1人	1,978	前年度より1名増え、3人から申請があり、目標を達成しました。 今後の対策・取組の方向等 対象世帯の自立に向けて効果は高いと考えられるため、今後も継続して取り組みを行うとともに、制度の周知を図っていきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、修業期間に係る生活費及び、修了した際の修了支援給付金の支給を行います。 高等職業訓練促進費等給付金 100千円/月(非課税世帯) 2人 70.5千円/月(課税世帯) 1人 修了支援給付金 50千円 1人 平成30度は、前年度と同様の支給を見込み制度の周知を図っていきます。 	負担金補助及び交付金	2,332	<ul style="list-style-type: none"> 30年度の実績は次のとおりです。看護師資格等の取得に向けて、生活費及び修了支援給付金の支給を受けました。 高等職業訓練促進費等給付金 70.5千円/月(課税世帯) 2人 修了支援給付金 50千円 1人 	1,742	前年度同様、3人から申請があり、目標を達成しました。
						今後の対策・取組の方向等
						対象世帯の自立に向けて効果は高いと考えられるため、今後も継続して取り組みを行うとともに、制度の周知を図っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、修業期間に係る生活費及び、修了した際の修了支援給付金の支給を行います。 高等職業訓練促進費等給付金 100千円/月(非課税世帯) 1人 70.5千円/月(課税世帯) 2人 修了支援給付金 50千円 1人 令和元年度も目標値は3人を見込み、引き続き対象者に情報が届けられるよう、制度の周知を図っていきます。 国の要綱改正に合わせて市の交付要綱も改正し、支給期間の延長と交付額の増額等による制度の拡充を図ります。 	負担金補助及び交付金	3,364	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の実績は次のとおりです。看護師資格等の取得に向けて、生活費及び修了支援給付金の支給を受けました。 高等職業訓練促進費等給付金 70.5千円/月(課税世帯) 2人 	1,692	昨年度から引き続き、2人の申請がありました。今年度は修了支援給付金の対象者がいませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						対象世帯の自立に向けて効果は高いと考えられるため、今後も継続して取り組みを行うとともに、制度の周知を図っていきます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、修業期間に係る生活費及び、修了した際の修了支援給付金の支給を行います。 なお、令和元年度に国の要綱改正により、最終年度の給付金額が引き上げられました。 高等職業訓練促進費等給付金 100千円/月(非課税世帯) 1人 70.5千円/月(課税世帯) 1人 110.5千円/月(課税世帯の内最終年度の者) 1人 令和2年度も目標値は3人を見込み、引き続き対象者に情報が届けられるよう、制度の周知を図っていきます。 	負担金補助及び交付金	3,844	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の実績は次のとおりです。看護師資格等の取得に向けて、生活費及び修了支援給付金の支給を受けました。 高等職業訓練促進費等給付金 70.5千円/月(課税世帯) 1人 110.5千円/月(課税世帯・最終年度) 1人 修了支援給付金 25千円 1人 	2,197	昨年度から引き続き、2人の申請がありました。
						今後の対策・取組の方向等
						ひとり親家庭の自立に向けて効果は高いと考えられるため、今後も継続して取組を行うとともに、制度の周知をより一層図っていきます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり			H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	2	子どもを安心して産み育てることのできる環境づくり			-	-	-	-	-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	4	ひとり親家庭への支援体制の充実	【目標値の根拠】						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	ひとり親家庭を支援するため、就業支援、相談等の施策の充実を図ります。							
70	予算事業名	雇用対策事業							
事業概要	就職支援に関する啓発活動、情報提供		男女共同参画推進委員からのご意見						
男女共同参画での視点	ひとり親家庭に対する就職支援に関する啓発活動、情報提供								
推進課 (室)	商工課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	・ハローワーク主催の再就職セミナーや個別求人相談会を市ホームページ及びFMうおぬまで周知し就職支援をします。		0	・ハローワーク主催の再就職セミナーや個別求人相談会の情報について、市役所窓口で周知し就職支援をしました。	0	・市役所各庁舎にチラシ等配置し、情報提供を行いました。ひとり親家庭に対して情報を伝えられたか確認することはできませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭に対する就職支援に関する啓発活動は必要なことから、今後もハローワーク等と連携し、情報提供を行っていきます。 また、関係する部署と連携し、ハローワークからの情報を、相談窓口や書類の郵送時に合わせる等、直接対象者に伝えられる方法を検討していきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 他機関が行う就職支援や相談の機会を市報等で周知します。 ハローワークが主催する個別求人相談会について、市ホームページの掲載やチラシ等を窓口に配置し、就職支援を行います。 関係部署と連携して情報を伝えられるような取組を行います。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> ハローワーク主催の再就職セミナーや個別求人相談会の情報について、市役所窓口で周知しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 市役所各庁舎にチラシ等を配置し、情報提供を行うだけにとどまりました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭に対する就職支援に関する啓発活動は必要性が高いことから、今後もハローワーク等と連携し、情報提供を行っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 他機関が行う就職支援や相談の機会を市報等で周知します。 ハローワークが主催する個別求人相談会について、市ホームページの掲載やチラシ等を窓口に配置し、就職支援を行います。 関係部署と連携して情報を伝えられるような取組を行います。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭に対して、ハローワーク主催の再就職セミナーや個別求人相談会の情報を周知できるよう、市役所の児童扶養手当窓口担当等の窓口と連携して取組を行いました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 市役所各庁舎にチラシ等を配置し、情報提供を行うだけにとどまりましたが、より対象者に情報が届きやすいよう児童扶養手当等の窓口付近に配置し、目に留まりやすいようにしました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭に対する就職支援に関する啓発活動の必要性は高いですが、ハローワークが中心に支援施策を展開していることから、市としては、ハローワーク事業の利用度を高められるよう連携し、情報提供を今後も行っていきます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 他機関が行う就職支援や相談の機会を市報等で周知します。 ハローワークが主催する個別求人相談会について、市ホームページの掲載やチラシ等を窓口に配置し、就職支援を行います。 関係部署と連携して情報を伝えられるような取組を行います。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ等を通じハローワークの求職者支援情報等を周知するに留まり、関係部署と連携した活動ができませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ホームページ等の周知以外、直接的な啓発活動などを行うことができませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭に対する就職支援から就職後の相談まで幅広い支援が重要となっています。ハローワーク等関係機関との連携はもとより、まずは支援を受けてもらう、相談をしてもらえる環境づくりにも注力していきます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	認知症の人と家族のための魚沼市のつどい参加延べ人数	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	3	生涯支え合う環境づくり			145/145	122/150	72/180	36/220	0/230
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	高齢者が安心して暮らせる介護体制の整備	【目標値の根拠】 ・第7期介護保険事業計画 (H30~32) を策定した際に、会場増加予定に伴い参加延べ人数の計画を変更したため、H30年~3ヶ年の目標値を設定し直しました。	【第7期介護保険事業計画 (H30~32)】 1回あたり12人×12月=144に追加した会場分の人数を加算 H30 144人+ (6回×6人) =180人 H31 144人+ (12回×6人) =220人 H32 144人+ (12回×7人) =230人					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	高齢者を介護している家族等在宅での介護負担を軽減するサービスを充実させます。							
71	予算事業名	家族介護支援事業							
事業概要		在宅介護者の精神的負担軽減と人材の育成							
男女共同参画での視点		認知症の人と家族のつどい			男女共同参画推進委員からのご意見				
推進課 (室)		介護福祉課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 介護者のストレス発散、情報交換の場として、「認知症の人と家族のための魚沼市のつどい」を開催します。月1回、年12回 つどいの場で話せないことの相談のために、月1回、個別相談日を設定し、介護負担の軽減を図ります。 	参考図書、リーフレット購入等消耗品費	30	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人と家族のための魚沼市のつどい 会場：ボランティアセンター 延べ122人(うち男性35人) 4月4日(火) 参加者数：16人(うち男性6人) 5月9日(火) 参加者数：12人(うち男性2人) 6月6日(火) 参加者数：10人(うち男性3人) 7月4日(火) 参加者数：6人(うち男性3人) 8月1日(火) 参加者数：12人(うち男性4人) 9月5日(火) 参加者数：12人(うち男性2人) 10月3日(火) 参加者数：9人(うち男性3人) 11月7日(火) 参加者数：11人(うち男性3人) 12月5日(火) 参加者数：10人(うち男性4人) 1月9日(火) 参加者数：7人(うち男性1人) 2月6日(火) 参加者数：7人(うち男性2人) 3月6日(火) 参加者数：10人(うち男性2人) 個別相談 相談者の実人数8人 	20	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に比べ、延べ参加者数は減少しましたが、参加者同士でお互いの悩みを傾聴しています。 ストレスの発散や情報交換の場としての目的に合致した場となっており、参加者の満足度は高いです。 参加者からは、開催の継続の希望があります。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者からの継続開催の希望もあり、事業を継続します。 情報交換することで、女性だけでなく男性からも介護に参加してもらうよう、男性への参加を呼び掛けていく必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、介護者のストレス発散、情報交換の場として、「認知症の人と家族のための魚沼市のつどい」を開催します。月1回、年12回 つどいの場で話せないことの相談のために、月1回、個別相談日を設定し、介護負担の軽減を図ります。 	参考図書、リーフレット購入等消耗品費	30	認知症の人と家族のための魚沼市のつどい 会場：ボランティアセンター 延べ72人（うち男性30人） 4月3日（火）参加者数：11人（うち男性3人） 5月8日（火）参加者数：8人（うち男性3人） 6月5日（火）参加者数：9人（うち男性4人） 7月3日（火）参加者数：4人（うち男性2人） 8月7日（火）参加者数：6人（うち男性3人） 9月4日（火）参加者数：3人（うち男性1人） 10月2日（火）参加者数：6人（うち男性4人） 11月6日（火）参加者数：2人（うち男性1人） 12月4日（火）参加者数：4人（うち男性2人） 1月8日（火）参加者数：7人（うち男性2人） 2月5日（火）参加者数：5人（うち男性2人） 3月5日（火）参加者数：7人（うち男性3人） ・個別相談 相談者の実人数3人	8	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に比べ、延べ参加者数は減少しましたが、延べ参加数に占める男性の割合は増加しました。（H29年度28.7%、H30年度41.7%） ストレスの発散や情報交換の場としての目的に合致した場となっています。9月以降個別相談の希望はなく、他の参加者との情報交換等でストレス発散ができていました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 参加者からは、開催の継続の希望があり継続実施します。 認知症総合支援事業でも認知症関連の事業を実施していますので、2019年度は当事業と認知症総合支援事業（認知症カフェ事業）の役割分担を検討します。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 介護者のストレス発散、情報交換の場として、「認知症の人と家族のための魚沼市のつどい」を開催します。月1回、年12回 	参考図書、リーフレット購入等消耗品費	30	認知症の人と家族のための魚沼市のつどい 会場：ボランティアセンター 延べ36人（うち男性15人） 4月2日（火）参加者数：6人（うち男性2人） 5月7日（火）参加者数：2人（うち男性0人） 6月4日（火）参加者数：8人（うち男性2人） 7月2日（火）参加者数：7人（うち男性4人） 8月6日（火）参加者数：4人（うち男性3人） 9月3日（火）参加者数：4人（うち男性1人） 10月1日（火）参加者数：2人（うち男性1人） 11月5日（火）参加者数：0人（うち男性0人） 12月3日（火）参加者数：0人（うち男性0人） 1月7日（火）参加者数：2人（うち男性1人） 2月4日（火）参加者数：1人（うち男性1人） 3月は新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止	5	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に比べ、延べ参加者数は減少しましたが、延べ参加数に占める男性の割合は平成30年度と同様でした。（H29年度28.7%、H30年度41.7%、令和元年度41.7%）
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 地域支援事業の「包括的支援事業・任意事業」の認知症総合支援事業の「認知症地域支援・ケア向上事業」で実施する認知症の人と家族を地域で支える取組み（認知症カフェ事業等）に統合し、本事業枠での実施は終了します。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 地域支援事業の「包括的支援事業・任意事業」の認知症総合支援事業の「認知症地域支援・ケア向上事業」で実施する認知症の人と家族を地域で支える取組みに統合するため、本事業枠での実施はありません。 	参考図書、リーフレット購入等消耗品費	0	実施なし	0	今後の対策・取組の方向等

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	リーフレットを配布した事業所数	社	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	3	生涯支え合う環境づくり			5/5	8/7	0/10	46/12	50/15
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	高齢者が安心して暮らせる介護体制の整備	【実績に基づく数値】 H28年度 5社 H29年度 8社 H30年度 0社 R01年度 46社 R02年度 50社	【目標値の根拠】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	介護休業制度の定着と男女を問わず取得しやすい就業環境づくりを推進します。							
72	予算事業名	【再掲】企業人材確保・育成支援事業 (事業No18と同じ) ※旧 中小企業人材育成支援事業							
事業概要	企業の新たな人材の確保と社員の能力開発・育成支援								
男女共同参画での視点	介護休業制度に関する情報提供の実施		男女共同参画推進 委員からのご意見						
推進課 (室)	商工課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 育児・介護休業制度に関する情報等の提供については、市内事業所を中心に訪問し、直接、啓発資料を渡しながらか周知啓発を行います。 訪問企業については、業界団体の協力を得て実施するハッピーパートナー企業登録意向調査に基づいて選定する予定です。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 育児・介護休業制度に関する資料を、各庁舎へ配布するとともに、ハッピー・パートナー登録意向調査で関心を示した企業のうち7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問し、国の「平成29年10月1日から改正育児・介護休業法がスタートします」のチラシを配布しました。 市内企業の総数は、2,342社で、今年度は63社に意向調査を実施しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットをただ配布するだけでなく直接企業に説明することにより、より効果的な啓発を行うことができましたが、具体的なアクションを起こすところまでは至りませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						今後、ハローワークと連携しながら制度の周知を図ります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 市内事業所を訪問し、育児・介護休業制度の周知を図ります。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 当初、新潟県と合同して制度説明のための企業訪問を実施する予定でしたが、日程調整不足により企業訪問を実施することができませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問を行うことができなかったため啓発を行うことができませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、企画政策課と連携し企業訪問を行い啓発活動を行っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。正会員46社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、商工課単独での取組の実施となったため、次年度は、企画政策課と連携し、更に詳しい内容を取組を深めて行きます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 前年度実施した魚沼ものづくり振興協議会に対する啓発活動を継続的に実施し、前年度よりもさらに一歩踏み込んだ啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。正会員46社・賛助会員4社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 現状、チラシ等の配布に留まっていますが、より効果的で、市内広範囲の事業所に対しての啓発活動を行えるよう検討を進めます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	ハッピー・パートナー企業登録数	事業所	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	3	生涯支え合う環境づくり			8/9	10/10	10/11	12/12	12/13
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	高齢者が安心して暮らせる介護体制の整備	【第3次計画の目標】 H17調査時 0社 H27調査時 8社 H32目標 13社						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	介護休業制度の定着と男女を問わず取得しやすい就業環境づくりを推進します。							
73	予算事業名	【再掲】男女共同参画事業 (事業No28と同じ)			【目標値の根拠】				
事業概要		介護休業制度を取得しやすい意識啓発			男女共同参画推進委員からのご意見				
男女共同参画での視点		介護休業制度を取得しやすい意識啓発							
推進課 (室)		企画政策課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> 介護休業制度を取得しやすい就業環境づくりを行うため、新潟県が行うハッピーパートナー企業への登録の勧奨を通して、意識啓発を図ります。 勧奨に当たっては、業種を選定し、企業に対する意向調査を行ったうえで、登録に対する意向にあわせて企業訪問を行います。 今年度の対象企業は、人材不足が緊急の課題となっている、製造業と建設業とします。 意向調査 5～6月 企業訪問 6～7月 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業の総数は、2,342社で、今年度は63社に意向調査を実施し、関心を示した10社を訪問し、介護休業制度を取得しやすい就業環境づくりを行っていただくよう意識啓発を行いました。 (商工振興室は10社のうち医療法人を除く7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問) ハッピー・パートナー企業への未登録企業に対して取組事例を紹介し、介護休業制度を取得しやすい就業環境づくりへの意識啓発を行うとともに、ハッピー・パートナー企業への登録を呼びかけました。 <p>意向調査 5月 63社 (ものづくり振興協議会、建設業協会) 企業訪問 7月 10社 新規登録 2社</p>	0	<ul style="list-style-type: none"> 県男女平等推進課の職員2名と企業訪問したことで、直接、登録のメリット等が先方に伝えられ、新規登録につながったものと考えられます。 意向調査により、登録に前向きな企業に対して働きかけたことも効果があったものと思われます。 <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回、意向を示したが、登録に至らなかった企業等を中心に、登録に至らなかった状況を確認しながら働きかけを行う必要があります。 登録した企業に対しては、今後、次の段階として、県と協力しながら、企業が制度の趣旨に沿った取組を進められるよう企業と関わっていく必要があります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の取組を踏まえて、意向調査を行った企業のうち、「興味があるが、現在は検討していない」といった、多少なりとも関心を持つ企業に対して積極的な働きかけを行います。 また、商工振興室と連携し、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 企業訪問 1～3月 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 市の広報やホームページを活用してハッピー・パートナー企業への登録を呼びかけました。 当初、新潟県と合同して制度説明のための企業訪問を実施する予定でしたが、日程調整不足により企業訪問を実施することができませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> ハッピーパートナー企業の登録については、事業所訪問等による制度周知が少なかったため、指標どおりの成果には至りませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 今後は、商工観光課や県と連携して企業訪問を実施する等、取組の重要性について周知する必要があります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 介護休業制度を取得しやすい就業環境づくりを行うため、ハッピーパートナー企業への登録を推進します。 広報誌等への周知記事の掲載、資料等の配布、登録制度の説明を実施する等、商工観光課や県と連携した取り組みを行います。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 市内公共施設に介護休業制度に関するリーフレットを設置しました。 商工課と連携して、ものづくり振興協議会の会員企業にハッピー・パートナー企業の登録制度に関するリーフレットを配布しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 介護休業制度に関する意識啓発活動を実施したほか、ハッピー・パートナー企業の登録制度を市内事業所に周知しました。ハッピーパートナー企業の登録社数は増加しました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 新潟県や関係団体と連携を深め、介護休業制度に関する取組を周知する必要があります。 市内企業等に啓発資料を送付し、ハッピーパートナー企業の制度を企業等に説明します。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 介護休業制度の定着と男女を問わず取得しやすい就業環境づくりを推進できるよう、ハッピーパートナー企業への登録の推進や意識啓発活動を実施します。 ハッピーパートナー企業の登録は、引き続き事業所等に対して制度周知を図ります。 意識啓発活動については、関係団体や新潟県と連携した取り組みを実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所を訪問するなどの活動を自粛せざるを得ませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、介護休業制度に関する取組を周知する必要があります。 関係団体や新潟県と連携し、ハッピー・パートナー企業の登録を増やせるよう企業訪問等を行います。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	市内事業所訪問数	社	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	4	女性の人権を守る環境づくり			5/5	8/7	0/10	46/12	50/15
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	暴力等による被害者の相談・支援体制の充実	【目標値の根拠】	【実績に基づく数値】 H28年度 5社 H29年度 8社 H30年度 0社 R01年度 46社 R02年度 50社					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(1)	職場におけるセクシャル・ハラスメント等の防止に向け、企業等に対する周知啓発を行います。							
74	予算事業名	【再掲】企業人材確保・育成支援事業 (事業No18と同じ) ※旧 中小企業人材育成支援事業							
事業概要	企業の新たな人材の確保と社員の能力開発・育成支援								
男女共同参画での視点	セクシャル・ハラスメント等の防止に関する啓発活動の実施		男女共同参画推進 委員からのご意見						
推進課 (室)	商工課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> セクシャル・ハラスメント等の防止に関する情報等の提供については、市内事業所を中心に訪問し、直接、啓発資料を渡しながらか周知啓発を行います。 訪問企業については、業界団体の協力を得て実施するハッピーパートナー企業登録意向調査に基づいて選定する予定です。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 職場におけるセクシャル・ハラスメント等に関する資料を、各庁舎へ配布するとともに、ハッピー・パートナー登録意向調査で関心を示した企業のうち7社と独自に選定した企業1社の計8社を訪問し、国が発行しているハラスメントに関する「職場でつらい思っていますか？」(A4:P8)のリーフレットを配布しました。 市内企業の総数は、2,342社で、今年度は63社に意向調査を実施しました。 	0	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットをただ配布するだけでなく直接企業に説明することにより、より効果的な啓発を行うことができましたが、具体的なアクションを起こすところまでは至りませんでした。 <p style="text-align: center;">今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業におけるセクハラ防止の意識を醸成していくには、継続した啓発活動が必要なことから、引き続きリーフレット等の配布とともに、市内企業への訪問により周知啓発を行っていきます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、新たに昨年と異なる企業団体に対してハッピーパートナー企業登録意向調査を実施し、意向調査の結果にあわせて、訪問企業を選定し、啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 当初、新潟県と合同して制度説明のための企業訪問を実施する予定でしたが、日程調整不足により企業訪問を実施することができませんでした。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問を行うことができなかったため啓発を行うことができませんでした。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、企画政策課と連携し企業訪問を行い啓発活動を行っていきます。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。 正会員46社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、商工課単独での取組の実施となったため、次年度は、企画政策課と連携し、更に詳しい内容を取組を深めて行きます。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> 企画政策課と連携し、企業訪問等を通じ、啓発活動を実施します。 前年度実施した魚沼ものづくり振興協議会に対する啓発活動を継続的に実施し、前年度よりもさらに一歩踏み込んだ啓発活動を実施します。 	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心として構成される業界団体「一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会（U-big）」の会議等の中で、チラシ等の啓発物資を使って各企業での対策に取組んでもらうよう啓発活動を実施しました。 正会員46社・賛助会員4社。 	0	<ul style="list-style-type: none"> 団体を通して啓発活動を行うことで、企業訪問を行う以上に効果を上げることができました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> 現状、チラシ等の配布に留まっていますが、より効果的で、市内広範囲の事業所に対しての啓発活動を行えるよう検討を進めます。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	女性相談専門員の設置	人	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	4	女性の人権を守る環境づくり			-	-	-	-	0/1
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	暴力等による被害者の相談・支援体制の充実	【目標値の根拠】 H17調査時 0人 H26調査時 0人 H32計画 1人	【第3次計画の目標】					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	談窓口を設置し、被害女性の相談や保護・支援を行います。							
75	予算事業名	社会福祉管理事業							
	事業概要	DV対策、障害者虐待防止							
	男女共同参画での視点	配偶者暴力被害者に対する相談・支援	男女共同参画推進委員からのご意見						
	推進課 (室)	福祉支援課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	・配偶者暴力(DV)被害者に対する相談・支援	委託料	125	<ul style="list-style-type: none"> 各種関係機関と連携して、被害者の支援方法について協議し、被害者の意思に添った支援を行いました。 配偶者暴力 3件 <ul style="list-style-type: none"> うち本人から1件 情報提供2件 ※情報提供は、関係機関や家族等本人以外からのもの 障害者 相談件数3件 <ul style="list-style-type: none"> うち養護者によるもの2件(虐待該当せず) 雇用主によるもの1件 	100	・現状では分庁舎方式を採用しており、小出庁舎に市民相談窓口を設置し、湯之谷庁舎でDV関係の相談を受けています。
						今後の対策・取組の方向等 ・市民相談窓口と福祉課が同じ庁舎になることが予定されている平成32年度(新庁舎)に合わせて女性相談専門員を設置できるよう、準備を行います。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	・配偶者暴力被害者に対する相談・支援 ・各種関係機関と連携して、被害者の支援方法について協議し、被害者の意思に添った支援を行います。	委託料	125	・各種関係機関と連携して、被害者の支援方法について協議し、被害者の意思に添った支援を行いました。 配偶者暴力 12件 うち本人から7件 情報提供5件 障害者 相談件数2件 うち養護者によるもの2件(虐待該当せず)	0	・現状では分庁舎方式を採用しており、小出庁舎に市民相談窓口を設置し、湯之谷庁舎でDV関係の相談を受けています。 ・DV被害者対応マニュアルを作成し、対応方法を明確化しました。 今後の対策・取組の方向等 ・市民相談窓口と福祉課が同じ庁舎になることが予定されている2020年度（新庁舎）に合わせて女性相談専門員を設置できるよう、準備を行います。
2019年度	・配偶者暴力被害者に対する相談・支援 ・各種関係機関と連携して、被害者の支援方法について協議し、被害者の意思に添った支援を行います。	委託料	544	・各種関係機関と連携して、被害者の支援方法について協議し、被害者の意思に添った支援を行いました。 配偶者暴力 4件 うち本人から2件 情報提供2件	0	・現状では分庁舎方式を採用しており、小出庁舎に市民相談窓口を設置し、湯之谷庁舎でDV関係の相談を受けています。 今後の対策・取組の方向等 ・令和2年度に新庁舎に移転し、市民課と福祉支援課が同じ庁舎になることから、女性相談員の設置について検討します。
2020年度	・配偶者暴力被害者に対する相談・支援（DVシェルターの確保やDV被害者支援機関へつなぐ等）を行います。	委託料	544	・各種関係機関と連携して、被害者の支援方法について協議し、被害者の意思に添った支援を行いました。 配偶者暴力 延べ13件 うち被害者本人からの相談 7件 情報提供 6件	0	・新庁舎にて、市民相談センターと福祉支援課で連携してDV相談を受けています。相談内容によっては関係課と情報共有して対応しています。 今後の対策・取組の方向等 ・対応できる関係機関が新庁舎に集中していることから、各機関をつなぐ女性相談員の設置について検討しています。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり	DVに関する相談件数	件	H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	4	女性の人権を守る環境づくり			9/-	8/-	11/-	7/-	7/-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	暴力等による被害者の相談・支援体制の充実	【目標値の根拠】 ・目標値の設定をしないため、実績のみ記載しています。						
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(2)	談窓口を設置し、被害女性の相談や保護・支援を行います。							
76	予算事業名	市民相談事業			男女共同参画推進委員からのご意見				
事業概要		市民生活における各種相談							
男女共同参画での視点		暴力等による被害者等への相談・支援							
推進課 (室)		市民課							

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ドメスティック・バイオレンス等に悩む相談者の安全を第一に配慮し、適切に相談対応します。 ・相談者の相談機会を増やすため、夜間相談や、毎月第1日曜日に休日相談も行います。(事前予約制) 	市民相談事業	※3,568	<ul style="list-style-type: none"> ・H29の対応実績は8件です。 ・主な相談内容は、夫や交際相手からの暴力や虐待です。 ・関係機関(警察、福祉課厚生室等)との連携や情報共有を行いました。また、住民票等交付制限支援措置の具体的説明と申請支援についても実施しました。 	3,313	<ul style="list-style-type: none"> ・困難な状況にある人も安心して暮らせるよう支援しました。 ・また、相談内容によっては、弁護士や関係機関を案内するなどの対応を行いました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き広報等を通じて相談窓口の周知を図ります。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ドメスティック・バイオレンス等に悩む相談者の安全を第一に配慮し、適切に相談対応します。 ・相談者の相談機会を増やすため、引き続き、夜間相談や、毎月第1日曜日に休日相談も行います。（事前予約制） 	市民相談事業 ※ 各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体での予算額を記載	※3,687	<ul style="list-style-type: none"> ・H30の相談実績は11件です。 ・主な相談内容は、夫からの暴力です。 ・関係機関（警察、福祉課厚生室等）と連携や情報共有を図りながら、各種手当等の申請支援や相談機関の紹介等の支援を行いました。 	3,495	<ul style="list-style-type: none"> ・困難な状況にある人も安心して暮せるよう支援しました。 ・また、相談内容によっては、弁護士や関係機関を案内するなどの対応を行いました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き広報等を通じて相談窓口の周知を図ります。
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ドメスティック・バイオレンス等に悩む相談者の安全を第一に配慮し、適切に相談対応します。 ・相談者の相談機会を増やすため、引き続き、夜間相談や、毎月第1日曜日に休日相談も行います。（事前予約制） 	市民相談事業 ※ 各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体での予算額を記載	※3,584	<ul style="list-style-type: none"> ・R元年度の相談実績は7件でした。 ・主な相談内容は、夫からの暴力でした。 ・関係機関（警察、福祉支援課生活支援係等）と連携や情報共有を図りながら、各種手当等の申請支援や相談機関の紹介等の支援を行いました。 	2,985	<ul style="list-style-type: none"> ・困難な状況にある人も安心して暮せるよう支援しました。 ・また、相談内容によっては、弁護士や関係機関を案内するなどの対応を行いました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き広報等を通じて相談窓口の周知を図ります。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ドメスティック・バイオレンス等に悩む相談者の安全を第一に配慮し、適切に相談対応します。 ・相談者の相談機会を増やすため、引き続き、夜間相談や、毎月第1日曜日に休日相談も行います。（事前予約制） 	市民相談事業 ※ 各取組内容ごとに予算額を積算してないため、予算事業全体での予算額を記載	※3,499	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度の相談実績は7件でした。 ・主な相談内容は、夫からの暴力、暴言でした。 ・関係機関（警察、福祉支援課生活支援係等）と連携や情報共有を図りながら、各種手当等の申請支援や相談機関の紹介等の支援を行いました。 	2,969	<ul style="list-style-type: none"> ・困難な状況にある人も安心して暮せるよう支援しました。 ・また、相談内容によっては、弁護士や関係機関を案内するなどの対応を行いました。
						今後の対策・取組の方向等
						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き広報等を通じて相談窓口の周知を図ります。

基本理念 男女ともに支え合うまちづくり			指標	単位	実績値/目標値				
基本目標 (目指す姿)	3	男女がともに健やかに暮らせる環境づくり			H28	H29	H30	2019	2020
重点目標 (上記達成のための重点を置く目標)	4	女性の人権を守る環境づくり			-	-	-	-	-
施策の方針 (上記達成のための活動の方向づけ)	1	暴力等による被害者の相談・支援体制の充実	【目標値の根拠】	目標値がない理由 指標設定が難しいため					
施策の展開 (上記達成のための取組み)	(3)	関係機関、近隣市町村等と連携し、被害者支援を充実します。							
77	予算事業名	社会福祉管理事業							
事業概要	DV対策、障害者虐待防止								
男女共同参画での視点	配偶者暴力被害者支援のための関係機関との連携		男女共同参画推進 委員からのご意見						
推進課 (室)	福祉支援課								

年度	事業計画 (男女共同参画関連のみ)	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果 (男女共同参画関連のみ)	決算額 (千円)	評価 (成果等) ・増減等の理由
2017年度	・配偶者暴力被害者への支援	-	0	<ul style="list-style-type: none"> 被害者の支援を行うため、魚沼市相談関係機関ネットワーク会議を開催し、国、県などの機関、各種団体等と協力体制を確立し、情報の共有を図りました。 会議では、それぞれの機関が持つ情報を共有しながら、具体的な対応方法について検討しました。 また、相談内容に合わせた今後の対応方法についても次のとおり検討しました。 <p>①受け付けた部署での対応 ②相談関係機関ネットワーク会議の中から、関係する部署を召集してケース会議開催、情報共有、支援 ③相談内容に応じた適切な機関へ引き継ぐ</p>	0	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携により、それぞれが持つ情報が共有でき、被害者の支援につなげることができました。 <p>今後の対策・取組の方向等</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、国、県などの機関、各種団体等と協力体制を確立し、情報の共有に努めます。

年度	事業計画（男女共同参画関連のみ）	主な 予算項目	予算額 (千円)	実施結果（男女共同参画関連のみ）	決算額 (千円)	評価（成果等）・増減等の理由
2018年度	・配偶者暴力被害者への支援	-	0	<p>・被害者の支援を行うため、魚沼市相談関係機関ネットワーク会議を開催し、国、県などの機関、各種団体等と協力体制を確立し、情報の共有を図りました。</p> <p>・会議では、それぞれの機関が持つ情報を共有しながら、具体的な対応方法について検討しました。</p> <p>・また、相談内容に合わせた今後の対応方法についても次のとおり検討しました。</p> <p>①受け付けた部署での対応 ②相談関係機関ネットワーク会議の中から、関係する部署を召集してケース会議開催、情報共有、支援 ③相談内容に応じた適切な機関へ引き継ぐ</p>	0	<p>・関係機関との連携により、それぞれが持つ情報が共有でき、被害者の支援につなげることができました。</p> <p>・DV被害者対応マニュアルを作成し、関係機関との連携を明確化しました。</p>
						<p>今後の対策・取組の方向等</p>
						<p>・引き続き、国、県などの機関、各種団体等と協力体制を確立し、情報の共有に努めます。</p>
2019年度	・配偶者暴力被害者への支援	-	0	<p>・被害者の支援を行うため、魚沼市相談関係機関ネットワーク会議を開催し、国、県などの機関、各種団体等と協力体制を確立し、情報の共有を図りました。</p> <p>・会議では、それぞれの機関が持つ情報を共有しながら、具体的な対応方法について検討しました。</p> <p>・また、相談内容に合わせた今後の対応方法についても次のとおり検討しました。</p> <p>①受け付けた部署での対応 ②相談関係機関ネットワーク会議の中から、関係する部署を召集してケース会議開催、情報共有、支援 ③相談内容に応じた適切な機関へ引き継ぐ</p>	0	<p>・関係機関との連携により、それぞれが持つ情報が共有でき、被害者の支援につなげることができました。</p>
						<p>今後の対策・取組の方向等</p>
						<p>・引き続き、国、県などの機関、各種団体等と協力体制を確立し、情報の共有に努めます。</p>
2020年度	<p>・配偶者暴力被害者への支援を行います。</p> <p>・各種関係機関と連携して、被害者の支援方法について協議し、被害者の意思に添った支援を行います。</p>	-	0	<p>・被害者の支援を行うため、魚沼市相談関係機関ネットワーク会議を開催し、国、県などの機関、各種団体等と協力体制を確立し、情報の共有を図りました。</p> <p>・会議では、それぞれの機関が持つ情報を共有しながら、具体的な対応方法について検討しました。</p> <p>・また、相談内容に合わせた今後の対応方法についても次のとおり検討しました。</p> <p>①受け付けた部署での対応 ②相談関係機関ネットワーク会議の中から、関係する部署を召集してケース会議開催、情報共有、支援 ③相談内容に応じた適切な機関へ引き継ぐ</p>	0	<p>・関係機関との連携により、それぞれが持つ情報が共有でき、被害者の支援につなげることができました。</p>
						<p>今後の対策・取組の方向等</p>
						<p>・引き続き、国、県などの機関、各種団体等と協力体制を確立し、情報の共有に努めます。</p>